

蒼月の季節

KISETSU

SOUGETSUNO



山文京伝

SANBUN KYODEN



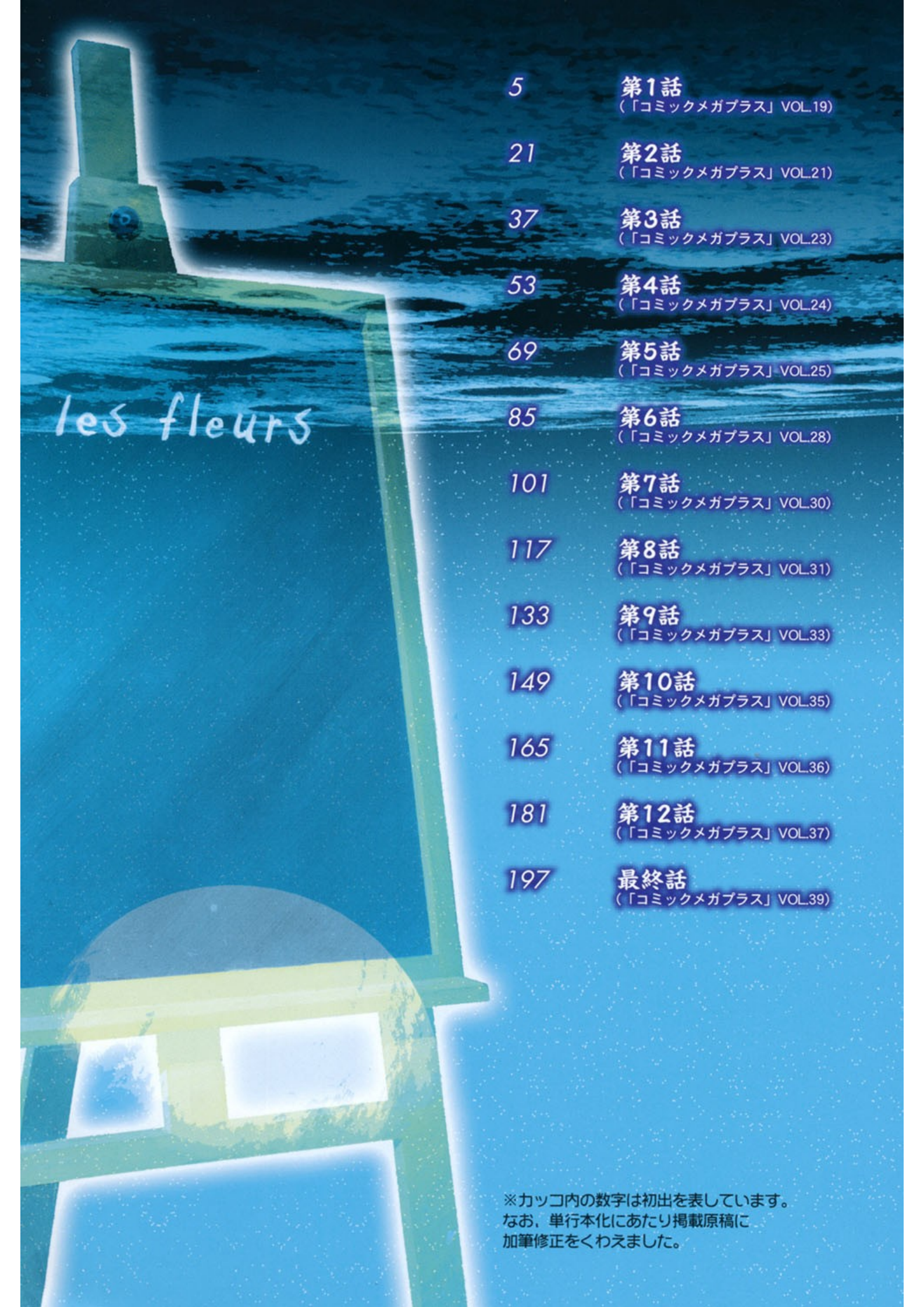
成年
コミック

山文京伝

S O U G E T S U N O
K I S E T S U

蒼月季節

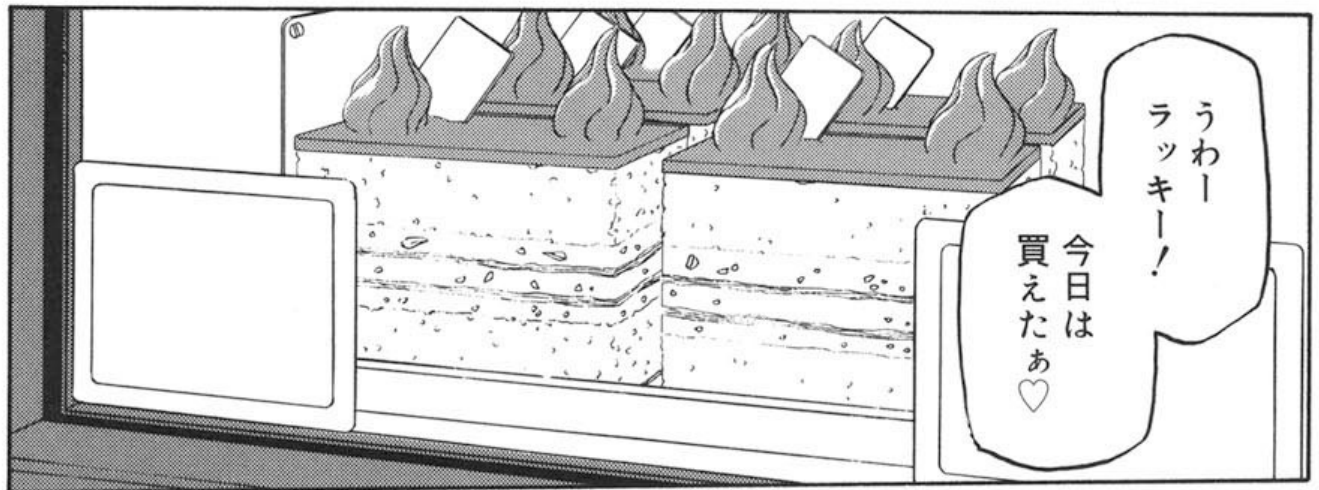




les fleurs

- | | |
|-----|------------------------------------|
| 5 | 第1話
(「コミックメガプラス」VOL.19) |
| 21 | 第2話
(「コミックメガプラス」VOL.21) |
| 37 | 第3話
(「コミックメガプラス」VOL.23) |
| 53 | 第4話
(「コミックメガプラス」VOL.24) |
| 69 | 第5話
(「コミックメガプラス」VOL.25) |
| 85 | 第6話
(「コミックメガプラス」VOL.28) |
| 101 | 第7話
(「コミックメガプラス」VOL.30) |
| 117 | 第8話
(「コミックメガプラス」VOL.31) |
| 133 | 第9話
(「コミックメガプラス」VOL.33) |
| 149 | 第10話
(「コミックメガプラス」VOL.35) |
| 165 | 第11話
(「コミックメガプラス」VOL.36) |
| 181 | 第12話
(「コミックメガプラス」VOL.37) |
| 197 | 最終話
(「コミックメガプラス」VOL.39) |

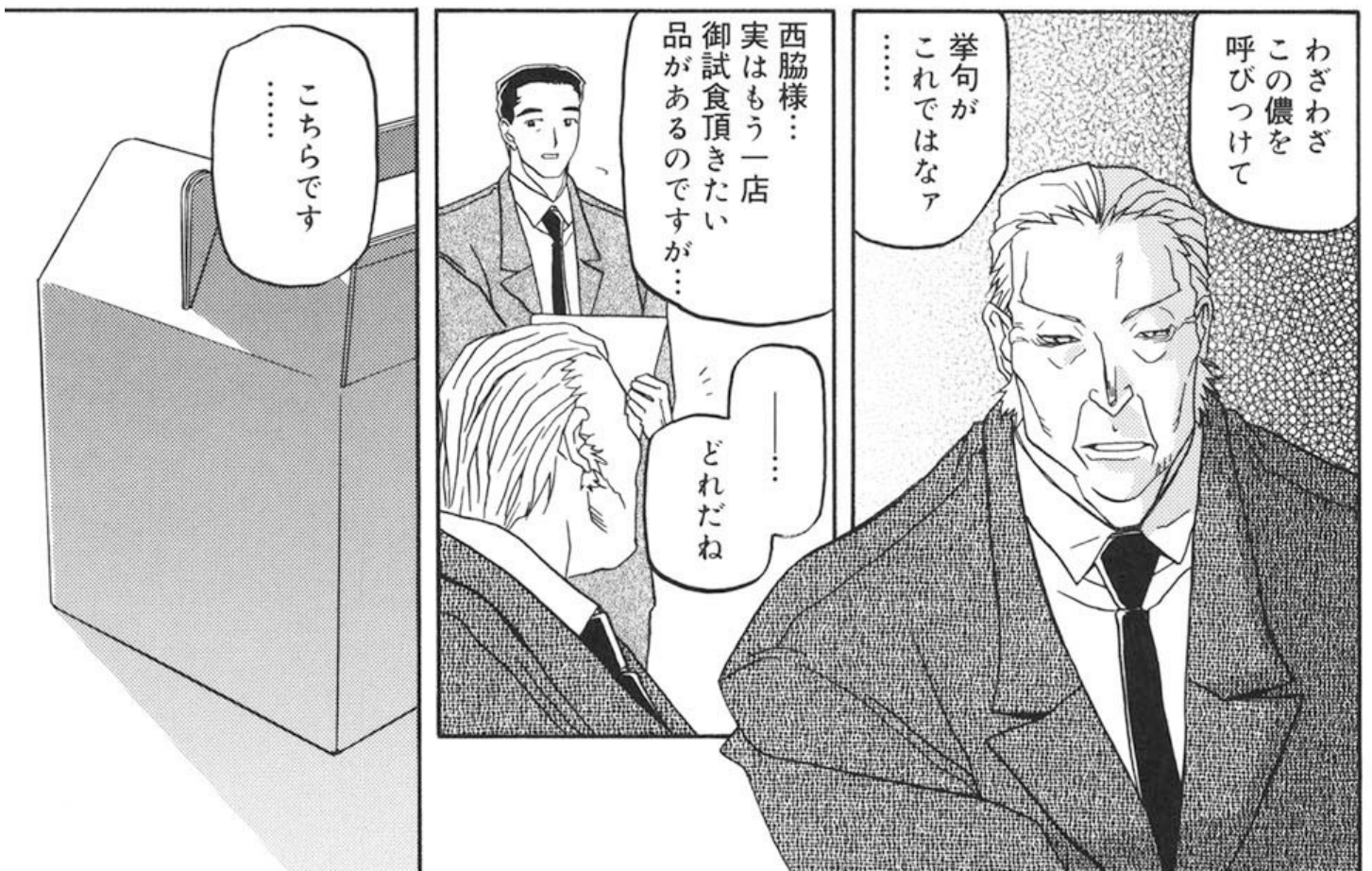
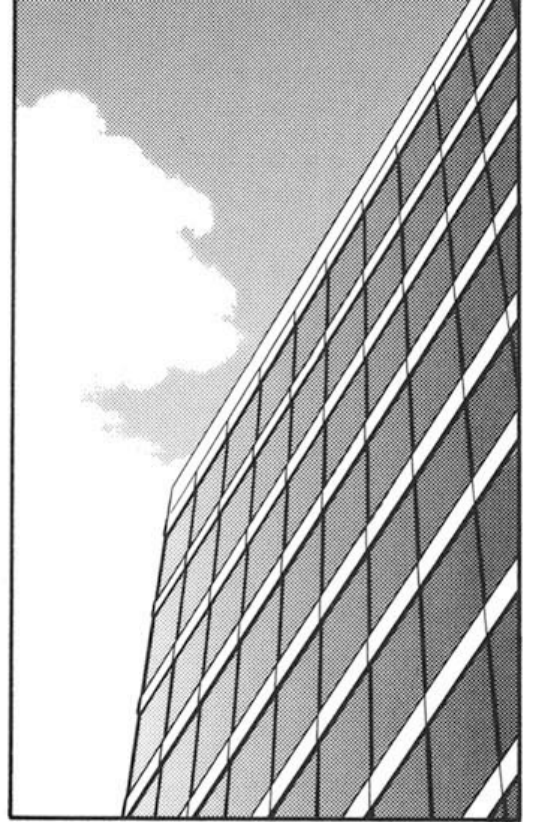
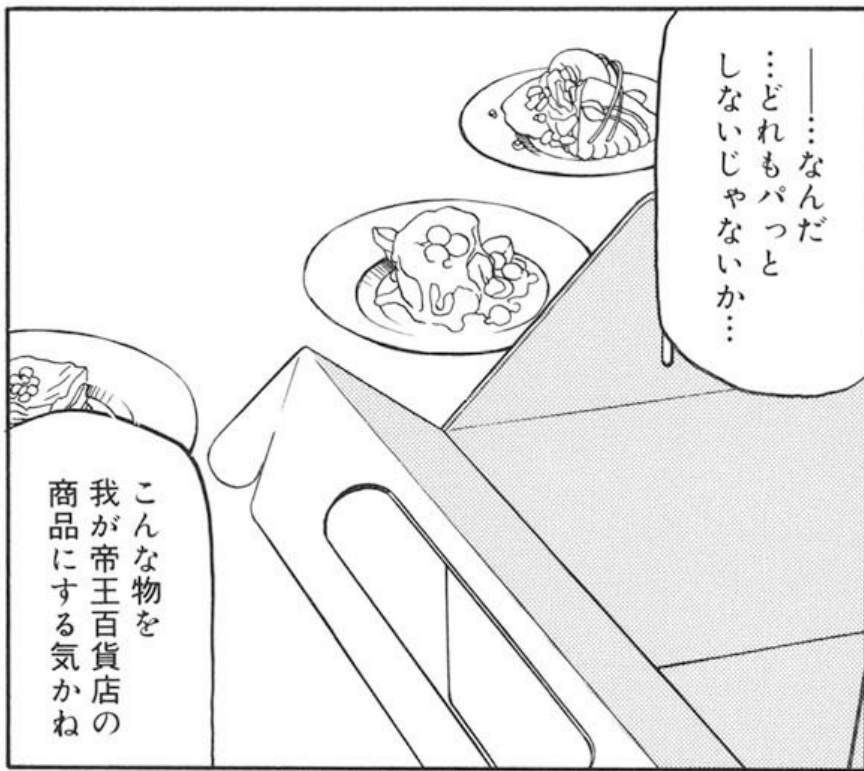
※カッコ内の数字は初出を表しています。
なお、単行本化にあたり掲載原稿に
加筆修正をくわえました。



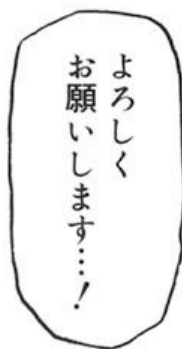


KISETSU
蒼月の季節
SOUGETSUNO

第 1 話









帝王百貨店で
取り扱って
もらってるのね

ハイ
おかげ様で…

すごい
じゃない!

向こうでも
大人気みたい
よ

聞いたわよ
〜っ



そうなると思
いますよ

雅一さん…

ア店長!



それじゃ移動車
でなんてもう
おしまいなんじゃない?
お店持つように
なるのー?

いいえっ
まだそんな

えー
お店ー?



帝王グループの
西脇さんの口利きも
あつてさ…

さすが大手百貨店の
後押しがあると
融資も早い…
まったく夢みたいだ

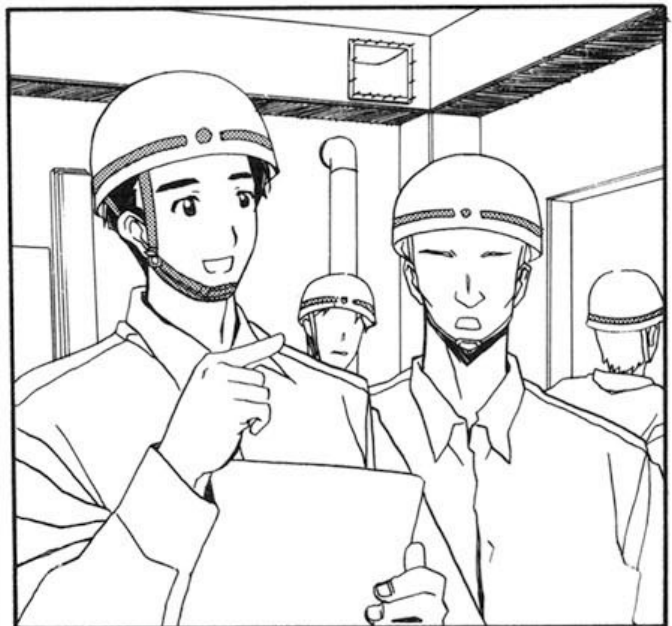


決めてきたよ
理沙…

店が持てる
んだ…

え…







…え？



菓子3つから
金属片が
発見された…

すぐにすべての
商品を店頭から
撤去したよ…

…まったく
困った事を
してくれた
ものだ…

…君には
失望したぞ
真壁君…

金属片なんて
そんな…
そんなハズは…！

そうですっ
ウチのお菓子
は…！

ともかく…
君との取引は
これきりだ

店舗の話も
すべて
なかったものと
思ってくれ

ま…
待って
下さい…っ

そんな…
そんなバカな…！

被害を受けたのは
こちら側だよ
真壁君…

幸いお客様が
手にする前
だったから
良かったようなもの

実際なら
この程度では
済まない所だ

しかし…すでに
店舗設備の
支払いも…

融資の事
だって—!

すべて
白紙だ…

こんな事故を
起こす人間と
契約など
考えられん話だよ



…まあ
君次第では
考え直してみても
いいのだがなア…

!



君のような美人が
一晩でも儂に肢体を
預けるといふのなら
…

ねエ…



…!!



……ククク……
せいぜい
あがいてみる事だ

自分達の手だけで
いったいどれだけの事が
できるのか……



はっきり理解できる
まではな……



帝王百貨店
降りたんでしょ？

これ以上の融資は
出来ませんよ……



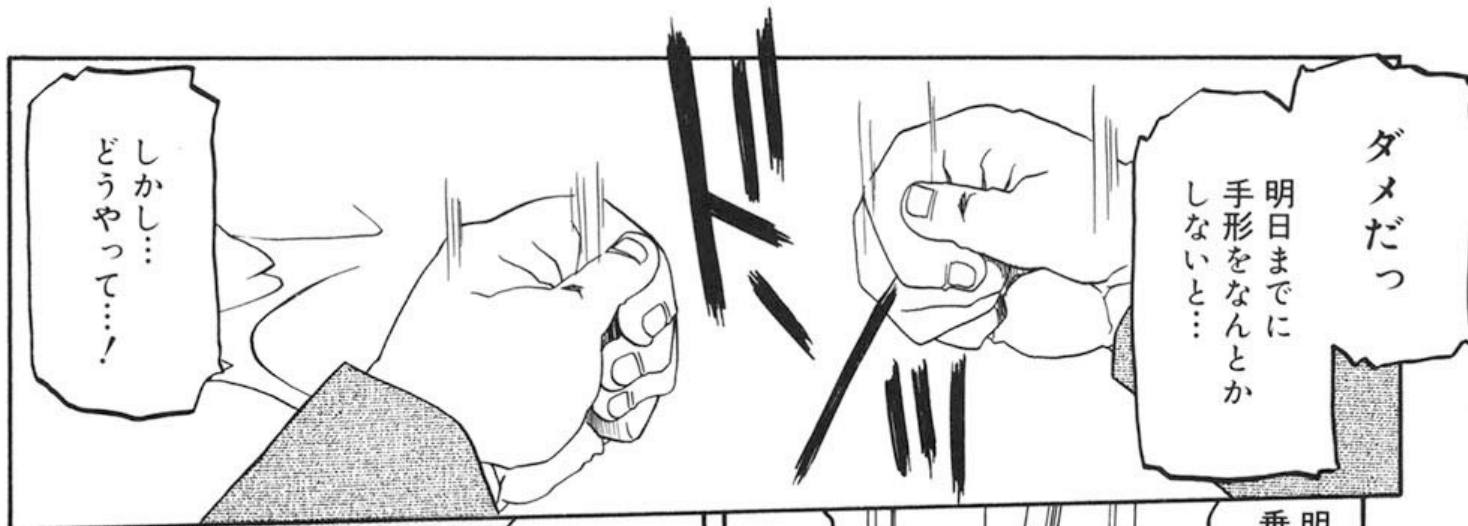
帝王さんとの
トラブルは
聞いてますよ

残念ですが
ウチとしては……



無茶言わないで
下さい！設置も
終わってるんですよ！

支払いの方
しっかり頼みます！



ダメだっ

明日までに
手形をなんとか
しないと…

しかし…
どうやって…!



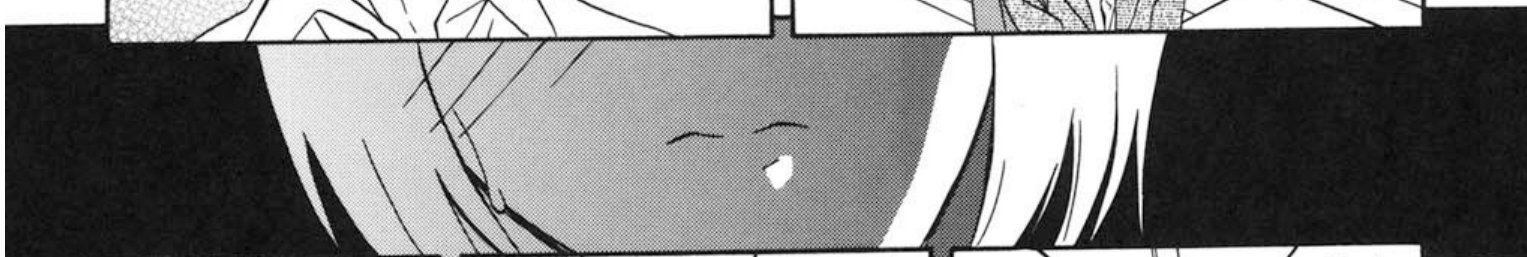
明日の分を
乗り切っても…

キャンセルの
きかない設備の
支払いは…

……



帝王百貨店との
契約さえ
なんとかなれば…



……あなた
ちょっと
行ってくるわ
……

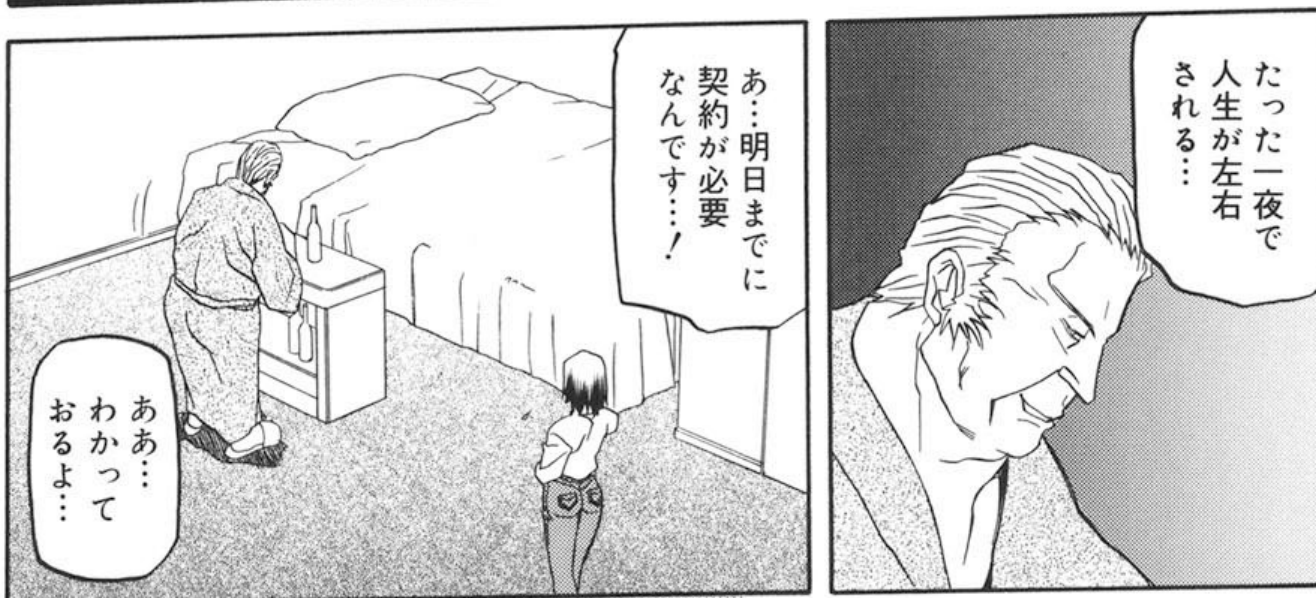
理沙…

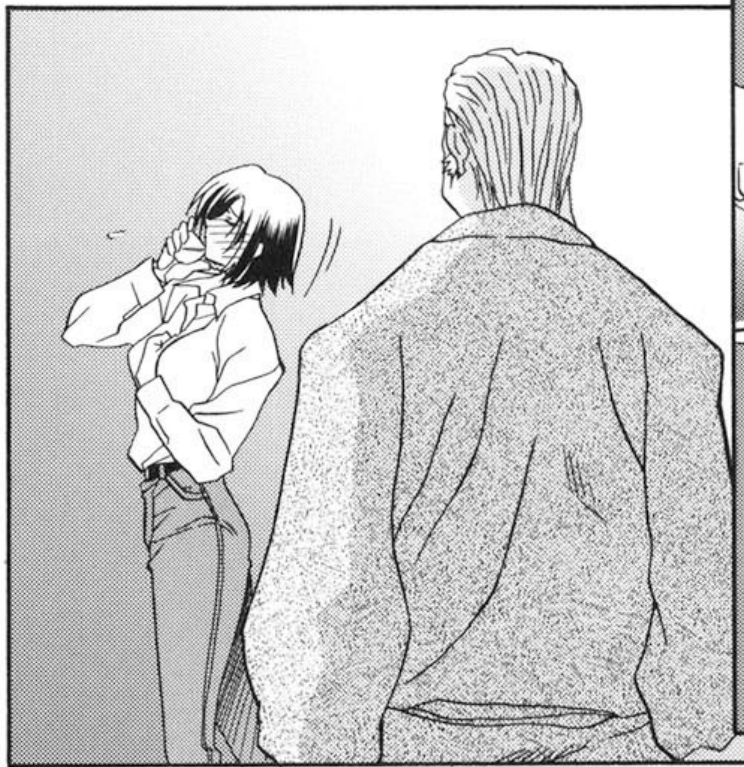


もう一件だけ
あてがあったのを
思い出したの…



待ってて…





この儂が
満足するまで
続けさせて
もらうぞ…

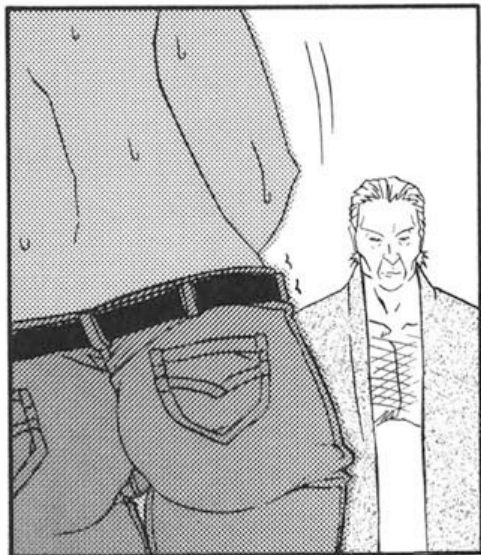


…さあ
はじめようか
…



何もかも
忘れ…

今は身を
委ねるが
いい…

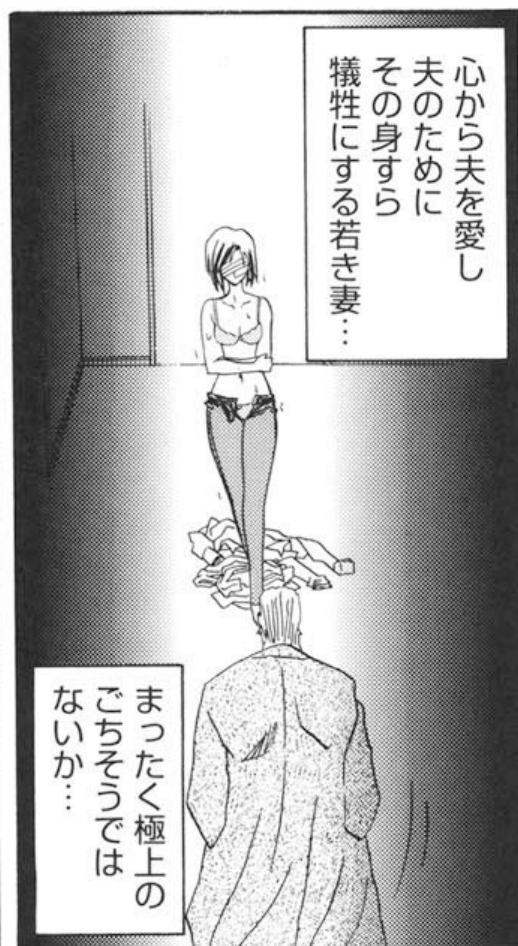


ククク：
まったく気丈な
女じゃわい！



儂を想う女へ
変えてゆく…

その良妻を
じっくりと
夫ではなく



心から夫を愛し
夫のために
その身すら
犠牲にする若き妻…

まったく極上の
ごちそうでは
ないか…



しかし…だからこそ
堕とし甲斐がある
というもの…



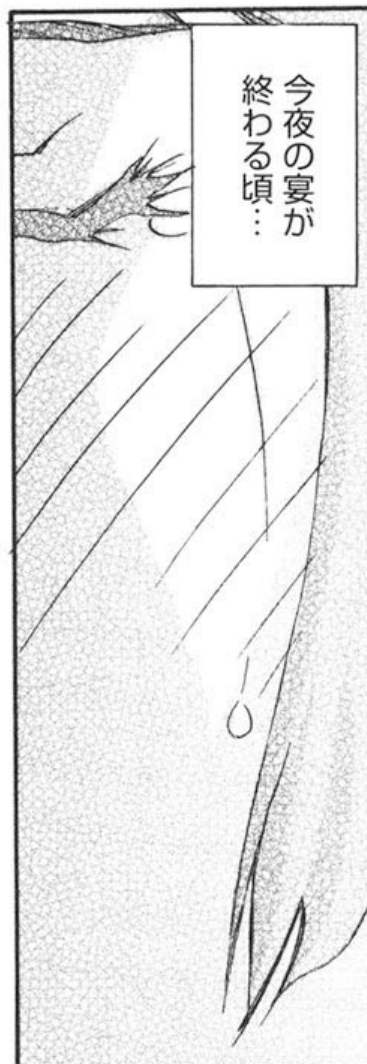
不貞によって
得る快樂の味を
……



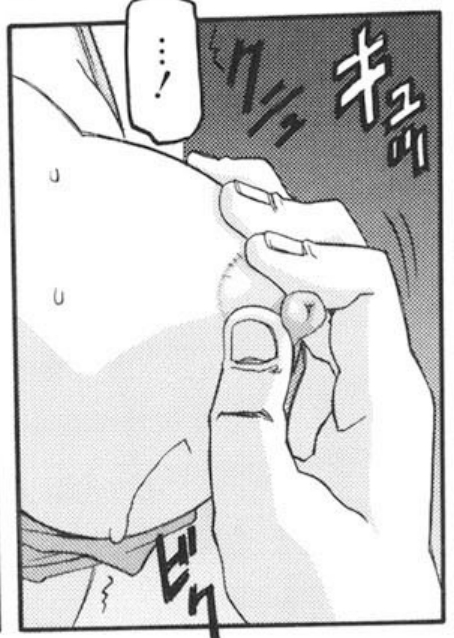
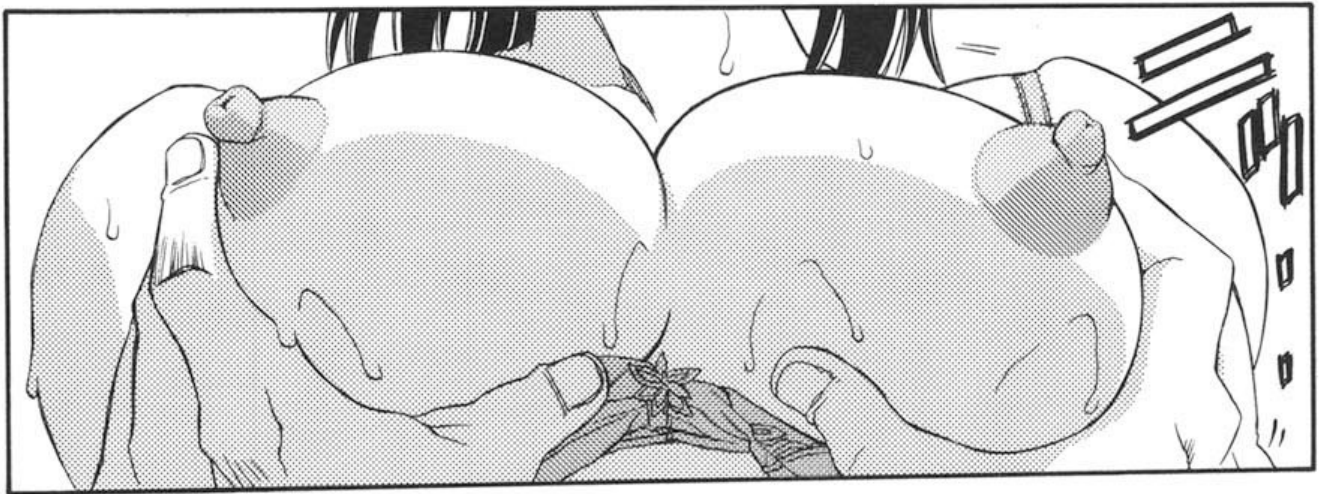
まずは今宵…
その肢体に
しっかりとときざみ
つけてやろう…

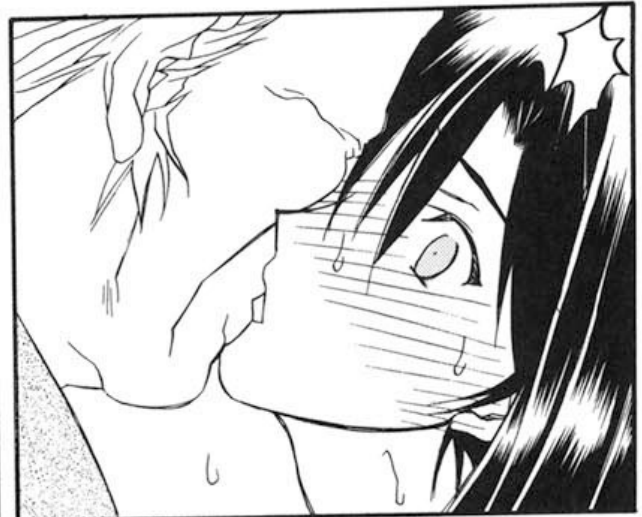


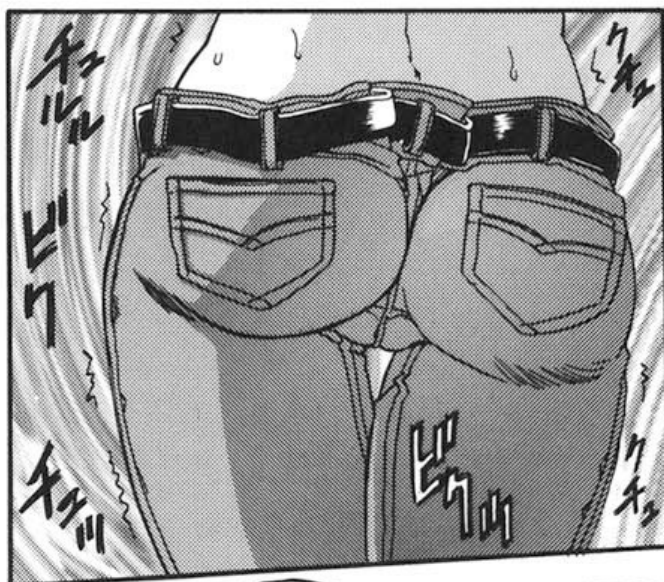
お前はもう
今のお前では
なくなっているのだ…



今夜の宴が
終わる頃…







蒼月の季節

KISETSU
SOUGETSUNO

第 2 話

いい表情だ
……

…今までずっと…
どんな事でも一緒に
乗り切ってきた…

— …
あなた…

夢も…希望も…
喜びも悲しみも
すべて…

大切なあなた
— …

世界中で
誰より大切な
男性…

だから…
私は…

はあ

あ

は…

あっ

ん

スト

— …
まったく…



こ…
こんな…

こんな…み…
淫らな…事…っ



まるで
恋した事すらない
生娘のような
反応だな…

あああ

はー

はー

はー

ブルブル

ガハ
ガハ



楽しむ事
……

それが人の
本性だろう



しかし…
知らぬは損
と云う物だ…

想像だに
しなかったか？

ブルブル

ああ…!?

あ…

は…



ズルリ
ビク



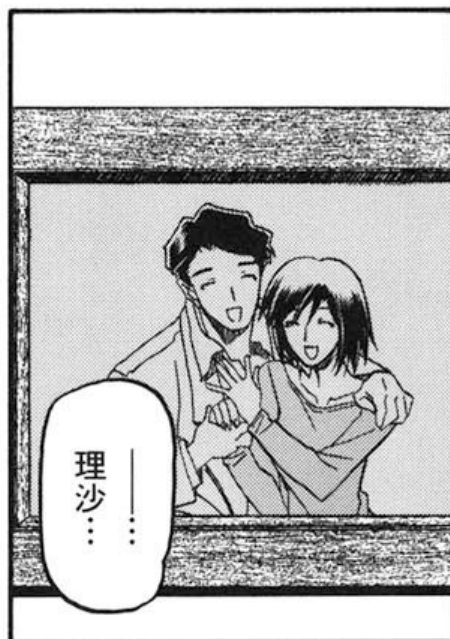




そうやって
正体をなくす程の
悦びを
存分に
教えてやろう
……



もう一件だけ
あてがあつたの
思い出したの……



理沙……



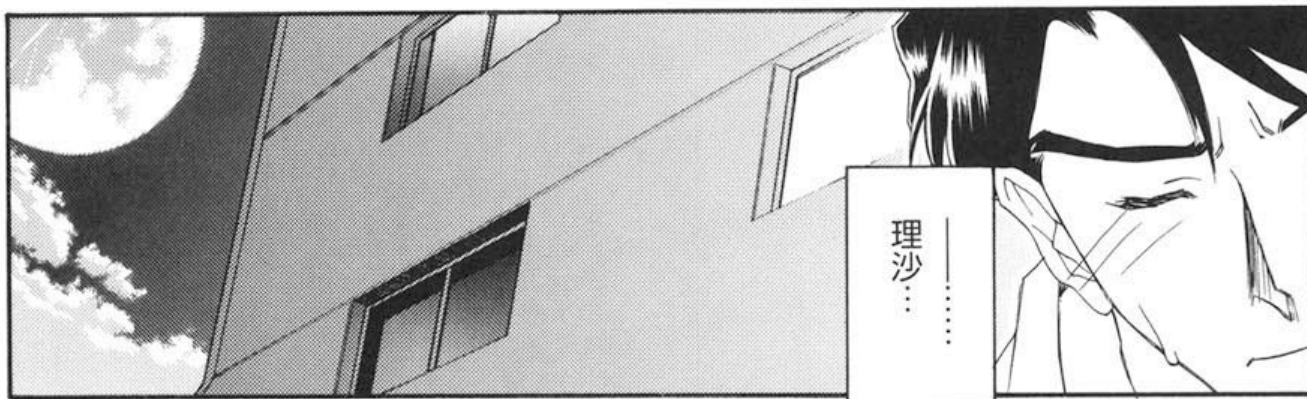
……
それにひきかえ
……俺は……



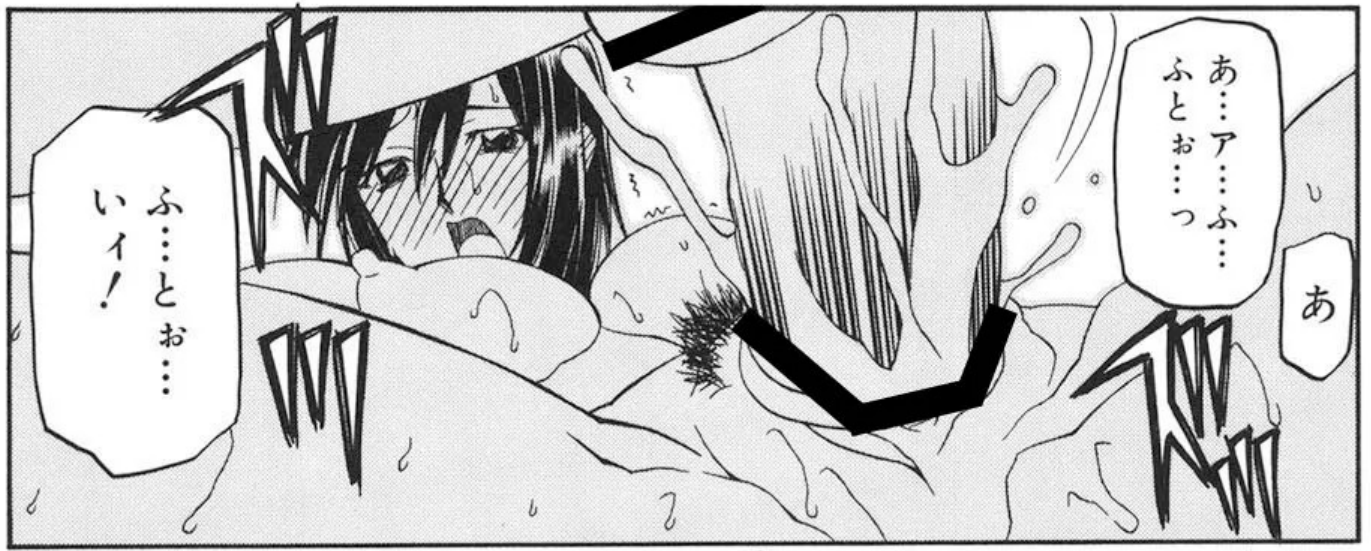
学生時代の
友達か……

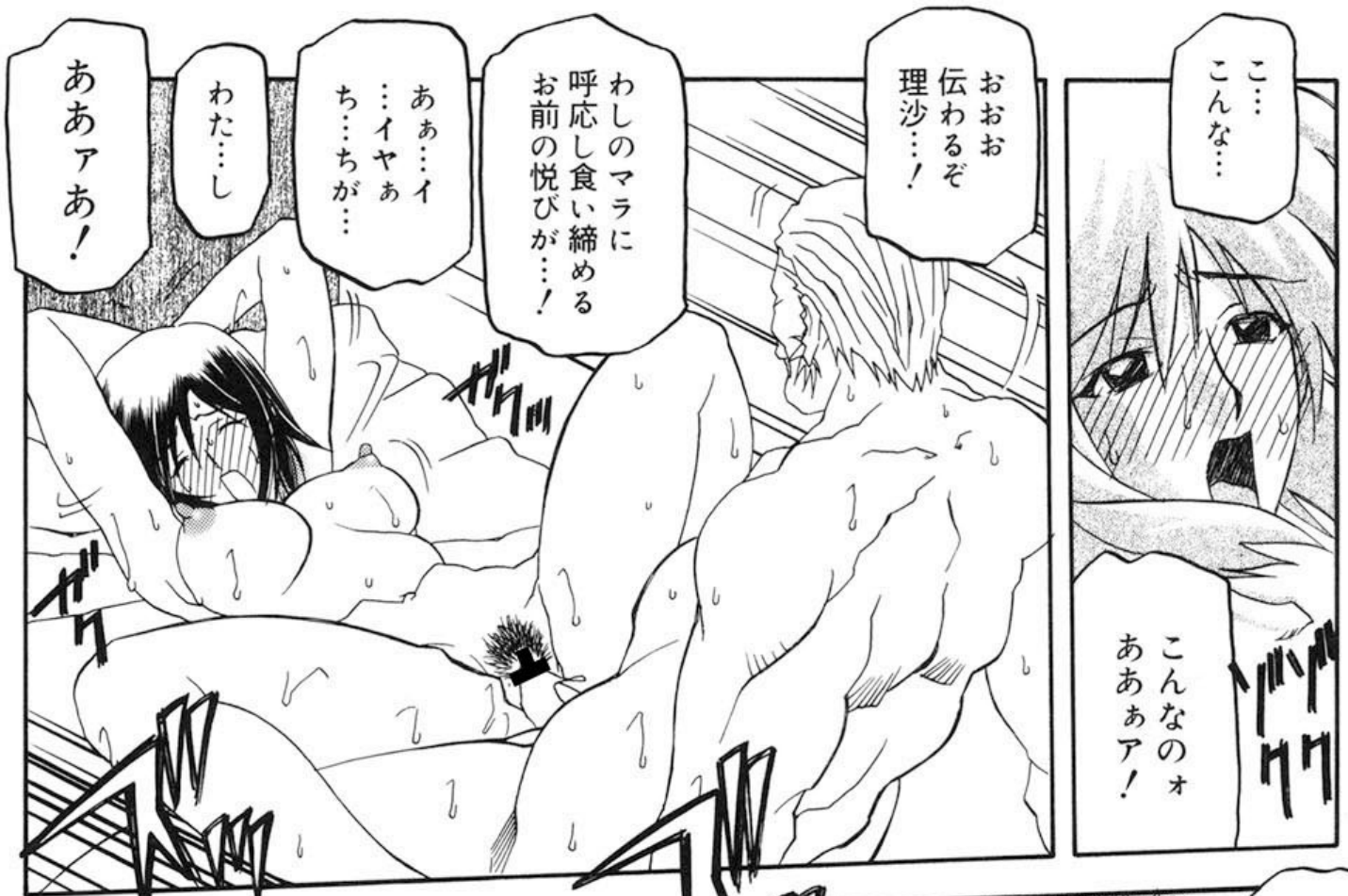
実家……

今頃……走り
まわってるんだ
ろうな……









こ…
こんな…

おおお
伝わるぞ
理沙…!

わしのマラに
呼応し食い締める
お前の悦びが…!

ああ…イ
…イヤあ
ち…ちが…

わた…し

ああアあ!

こんなのオ
ああア!
ガッ
ガッ



あ…あ
…あ?

ああダ
…ダメえ

そ…そんなに
はげしくう!

ああ…
お…

ふ…っ
ふか…いっ

ふかい…の
…オ…お…!



クク…
いいぞ理沙…

お前は
最高だ…!

最高の女
だわい!

はああアあアあ!!



あ
あな…
たあ!

あ

あなたあ!

ははは

亭主殿は今頃
どうしておるかな!

はっ



亭主にも
教えてやるがいい
……!

今お前が何に
夢中になって
おるかをなあ!

あはあ
あああ!



妻であるお前が
今その亭主を離れ

別の男との
まぐわいに
興じている事も
知らずに…



あはああ
もうダメえ!

あ♡

も…
やめてえ!

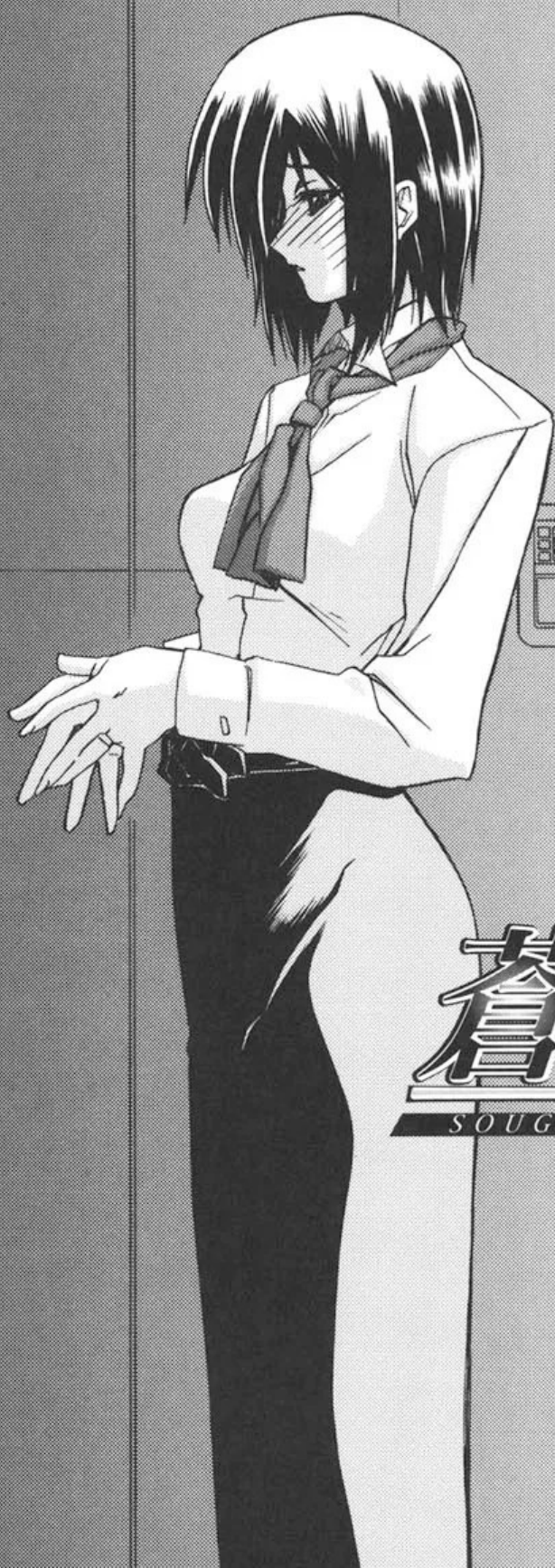
わたしイッ

わたし
またあ…!!









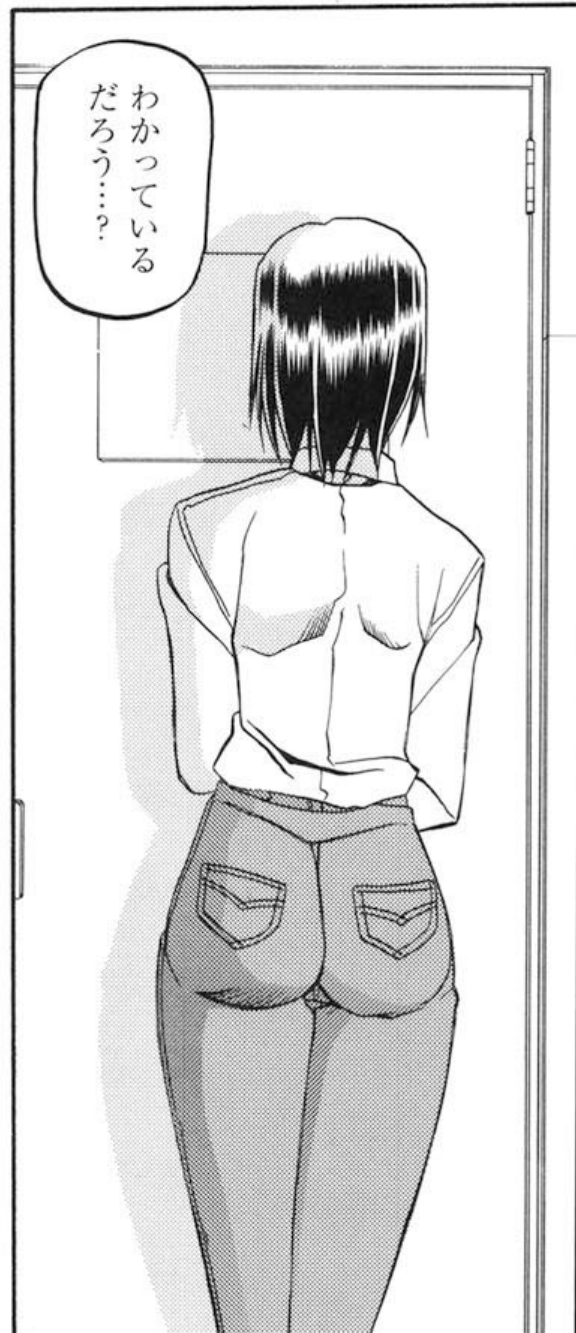
KISETSU

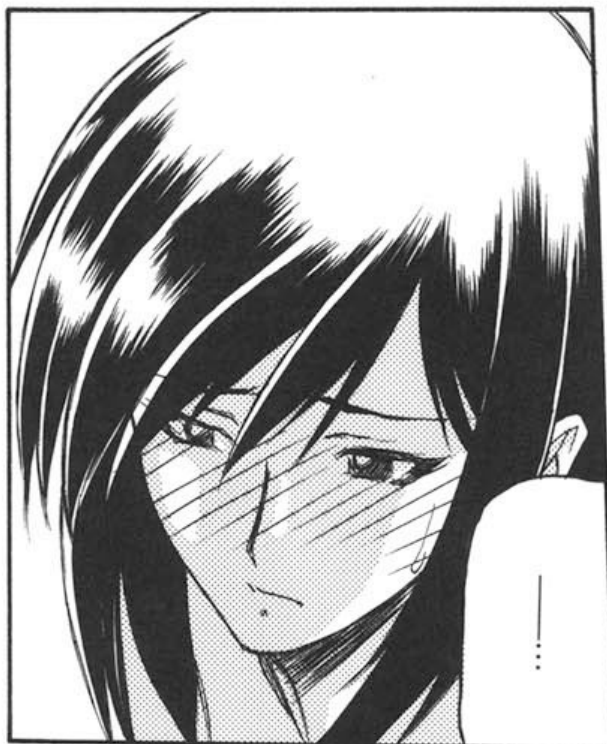
蒼月の季節

SOUGETSUNO

第 3 話

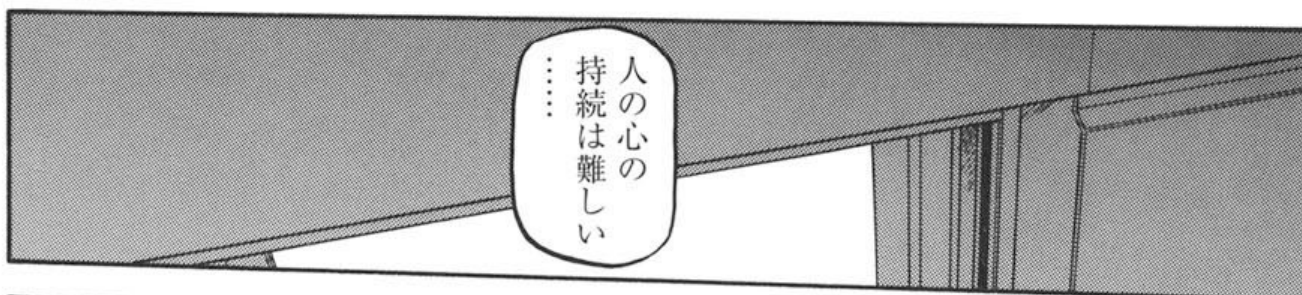






御主人のため
身を犠牲にする
貴女を…

私は尊敬
します…

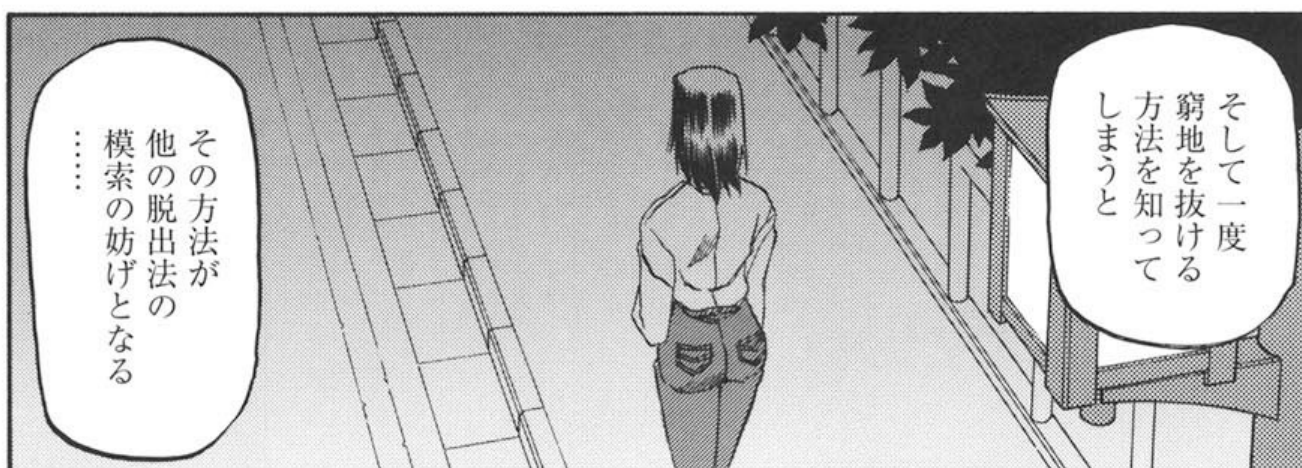


人の心の
持続は難しい
……



……
日々の移ろいの中
次第に決意は
薄れてゆき

切実な「今」だけが
浮き彫りになって
ゆく…



そして一度
窮地を抜ける
方法を知って
しまうと

その方法が
他の脱出法の
模索の妨げとなる
……



人は…

脆いよ…



そう…

抜け道を
知っている事が
仇となるのだ…



まさか…
違うよ…

あんまり
驚かしたんで
気を使ってるん
ですかね…



さすが
帝王百貨…

へえ…
関西方面にも
仕出しですか



彼のためと
言いながら
…私…



—…
あの時…





…また…
あれを…
…



私…

あんな事を
され続けたら
…



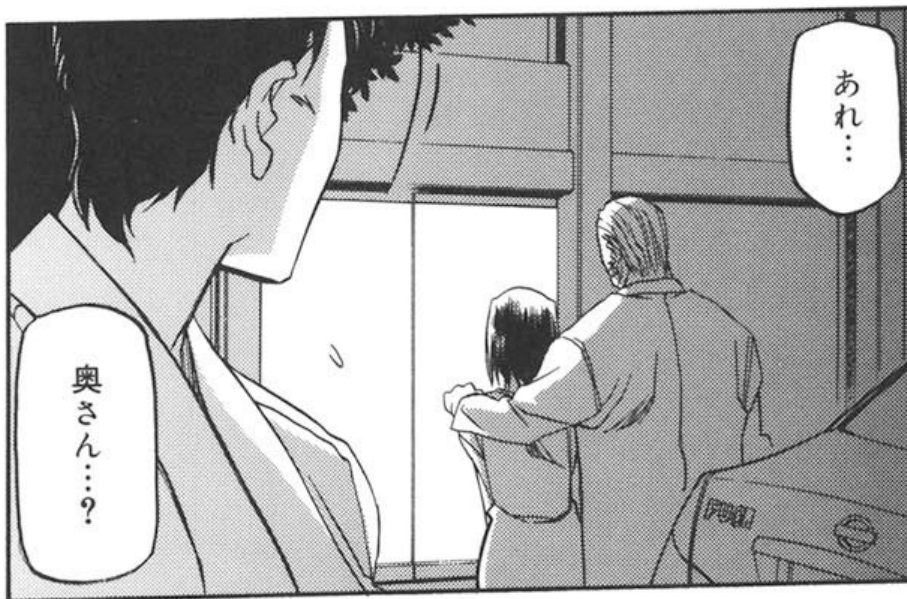
誰よりも
…

…彼を…
愛している…

…だから…
私は…



…
あなた…





……いい
飲みっぷりだ

それでいい……

……

ではそこにある
衣装に
着換えるのだ

こ……
こんな……？

理沙……
これは契約だ

ここで
こうしている間

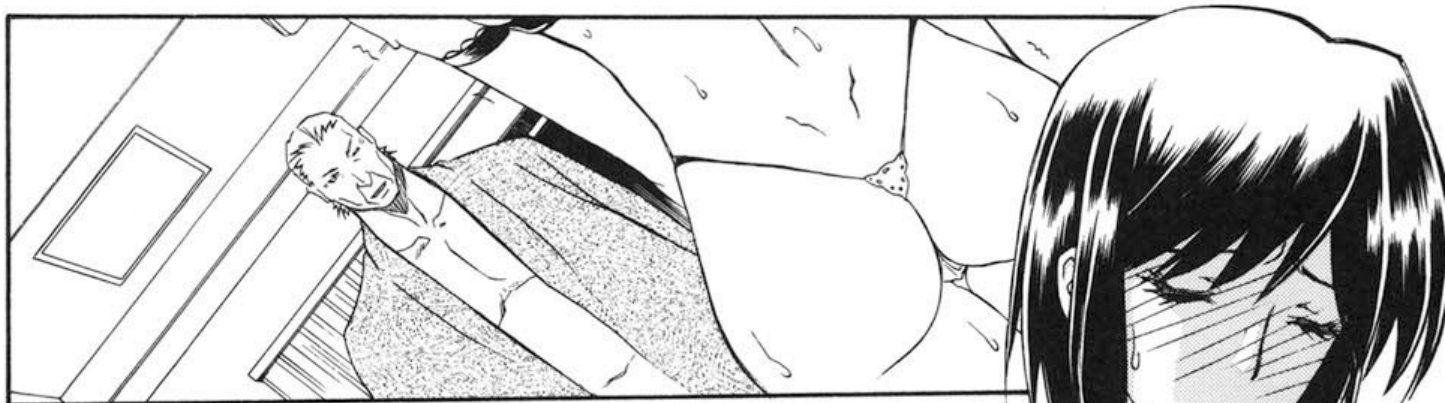
お前は誰のモノ
でもなく僕の女
なのだ……

僕の事
だけを想い

僕を欲ばせ
愉しませる事だけを
考えておればいい

わかるな……

……



ククク

いやらしい
牝奴隷め…



——…スゴイ
格好…

まるで
…私…



ひざまず
跪け…

フッ

そう…
いい娘だ



まずは
しゃぶりついて
みる…

そ…
そんな…

変態みたいなの
事…っ

フェラチオ程度を
変態行為とは
……

亭主にも
した事は
ないのか？

あ…っ
あたり前
です…っ

そんな
事…

今時学生でも
普通にするぞ

これを機に
覚える事
だな…

あ…ア

す…すごい…
二才イ…

さあ…
しゃぶるのだ

あ

…ン

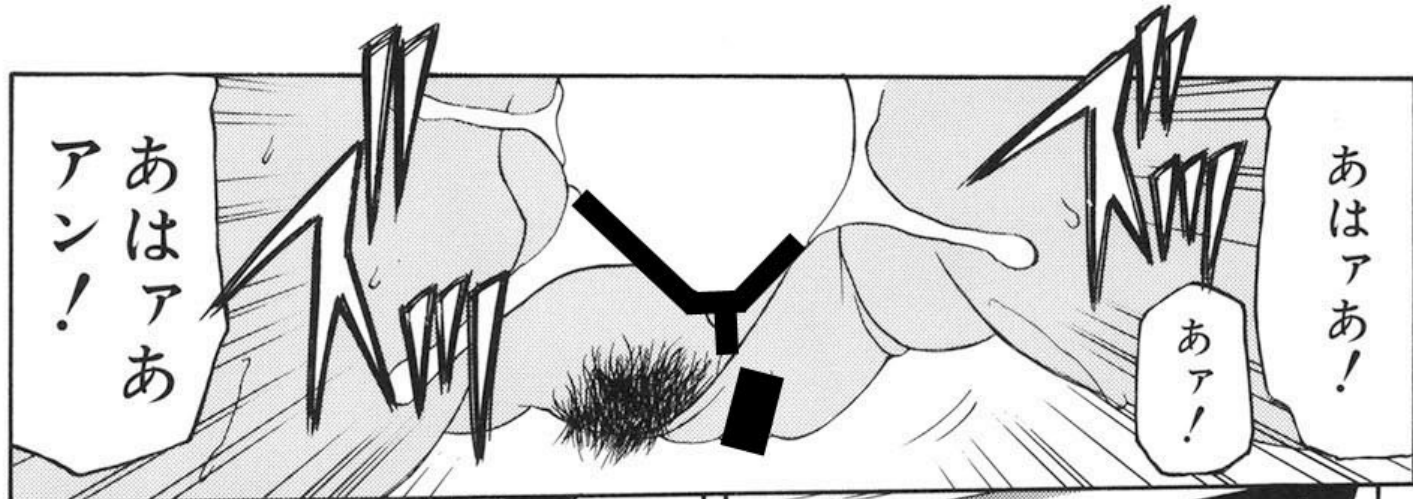
ム…ン

…ン

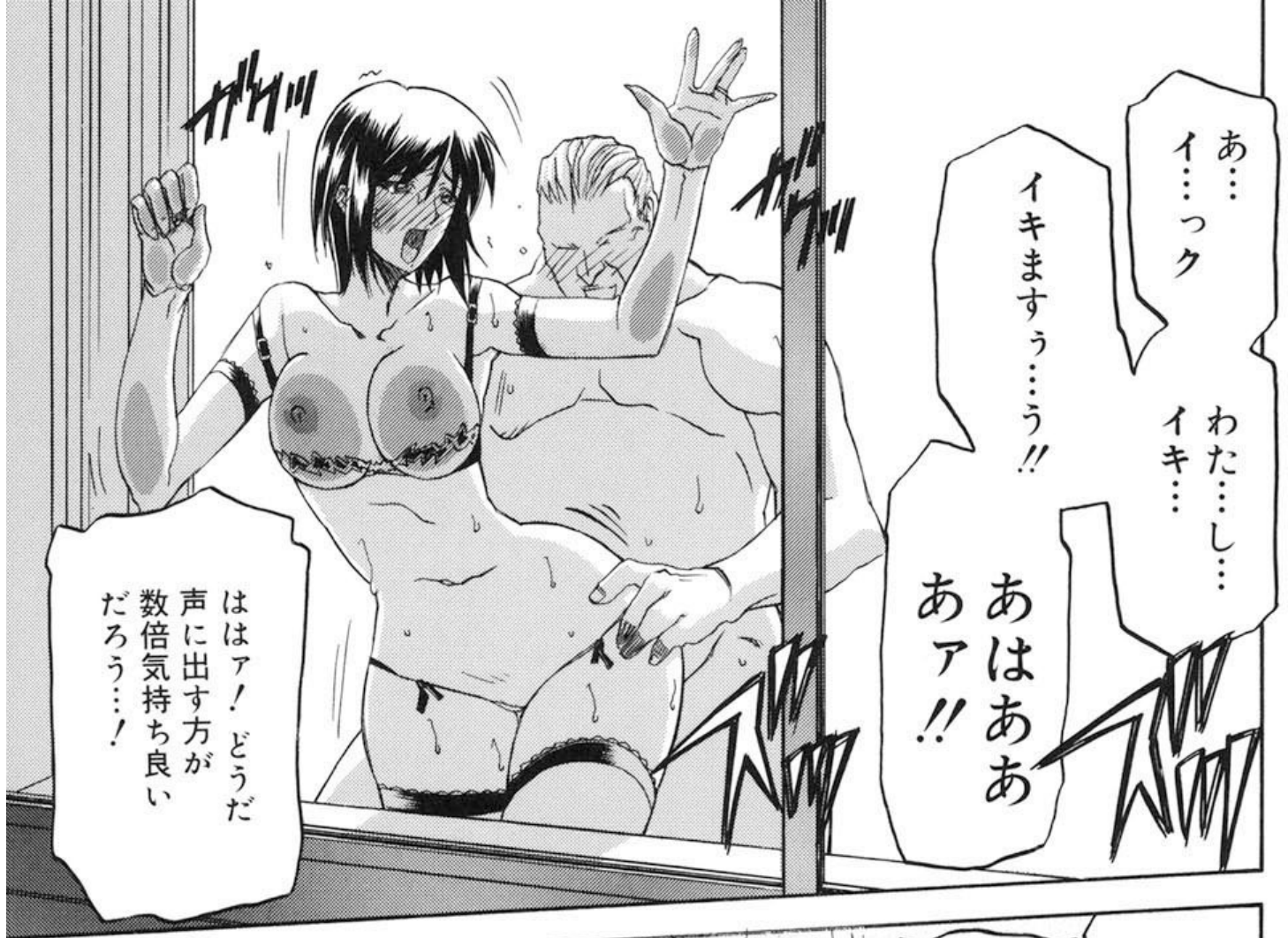
ン

フウ

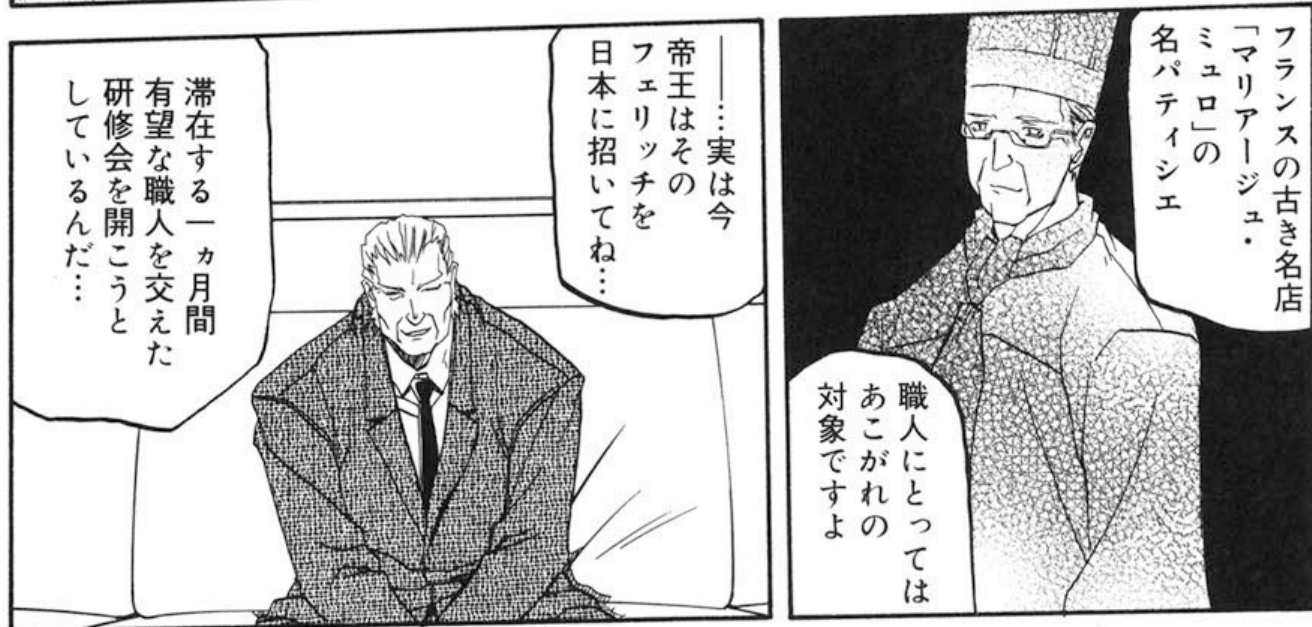
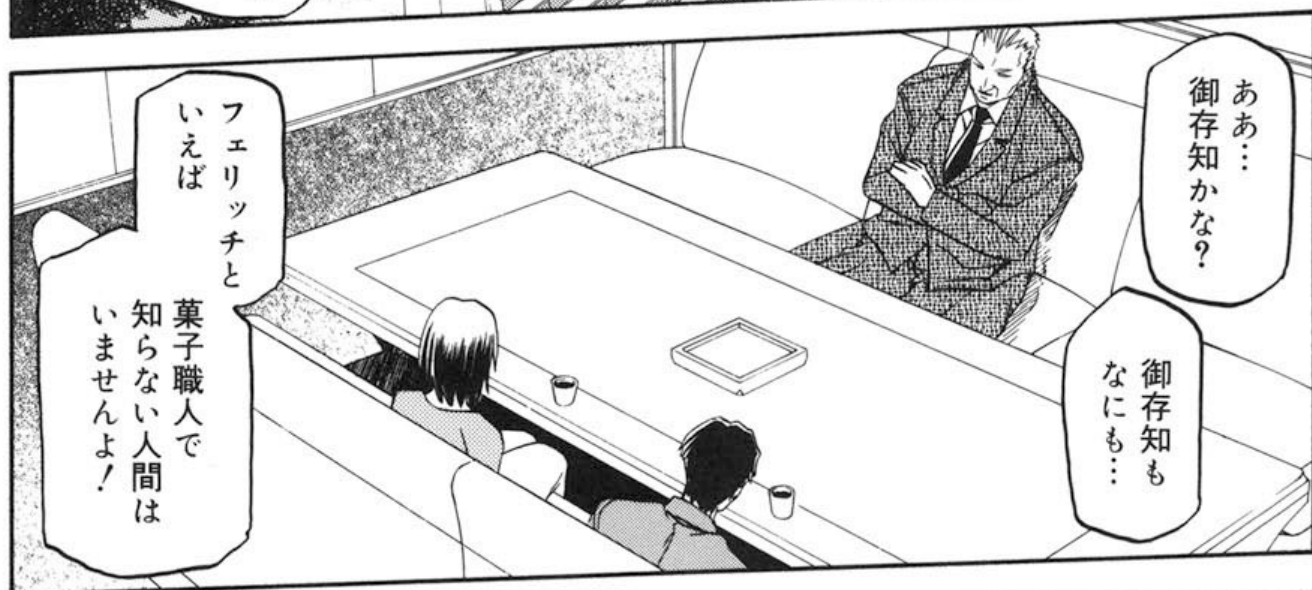
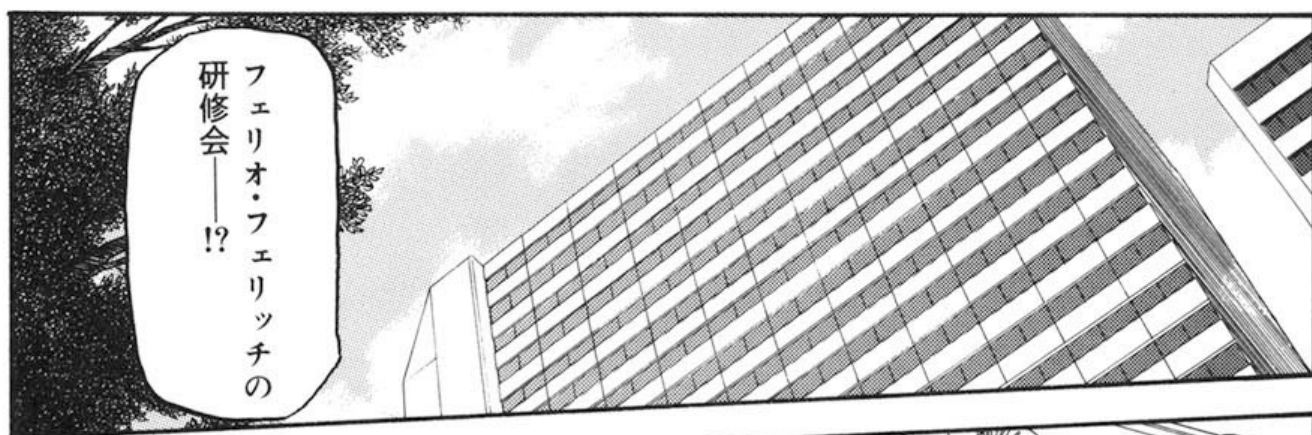
…ンっ







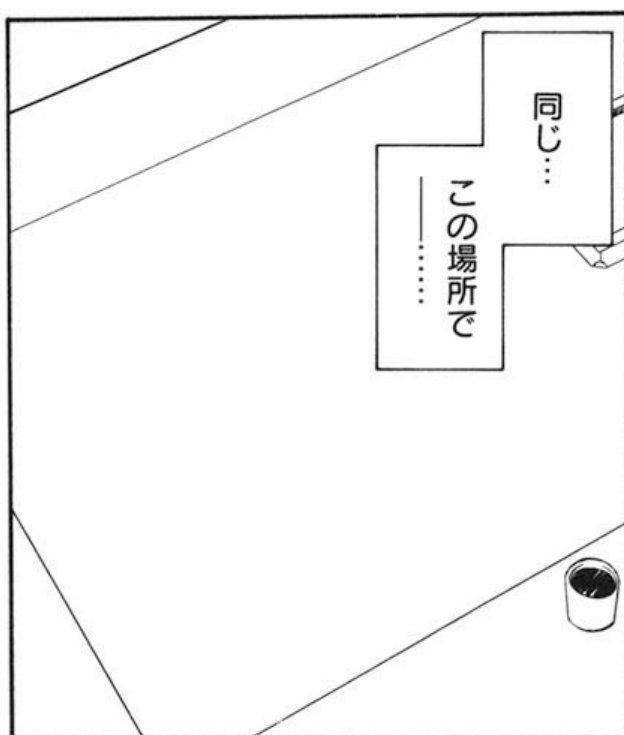


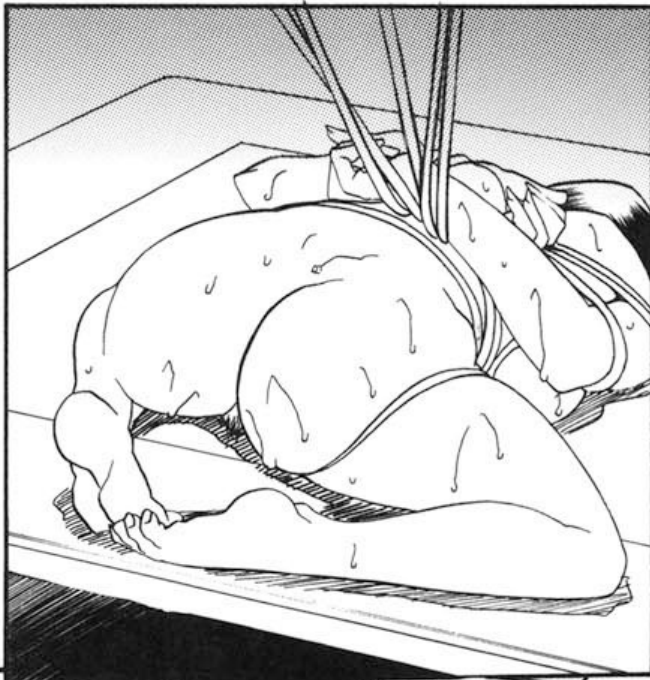


蒼月の季節
KISETSU
SOUGETSUNO

第4話







いや実に
すばらしいよ
真壁君…

ドキ

結構…

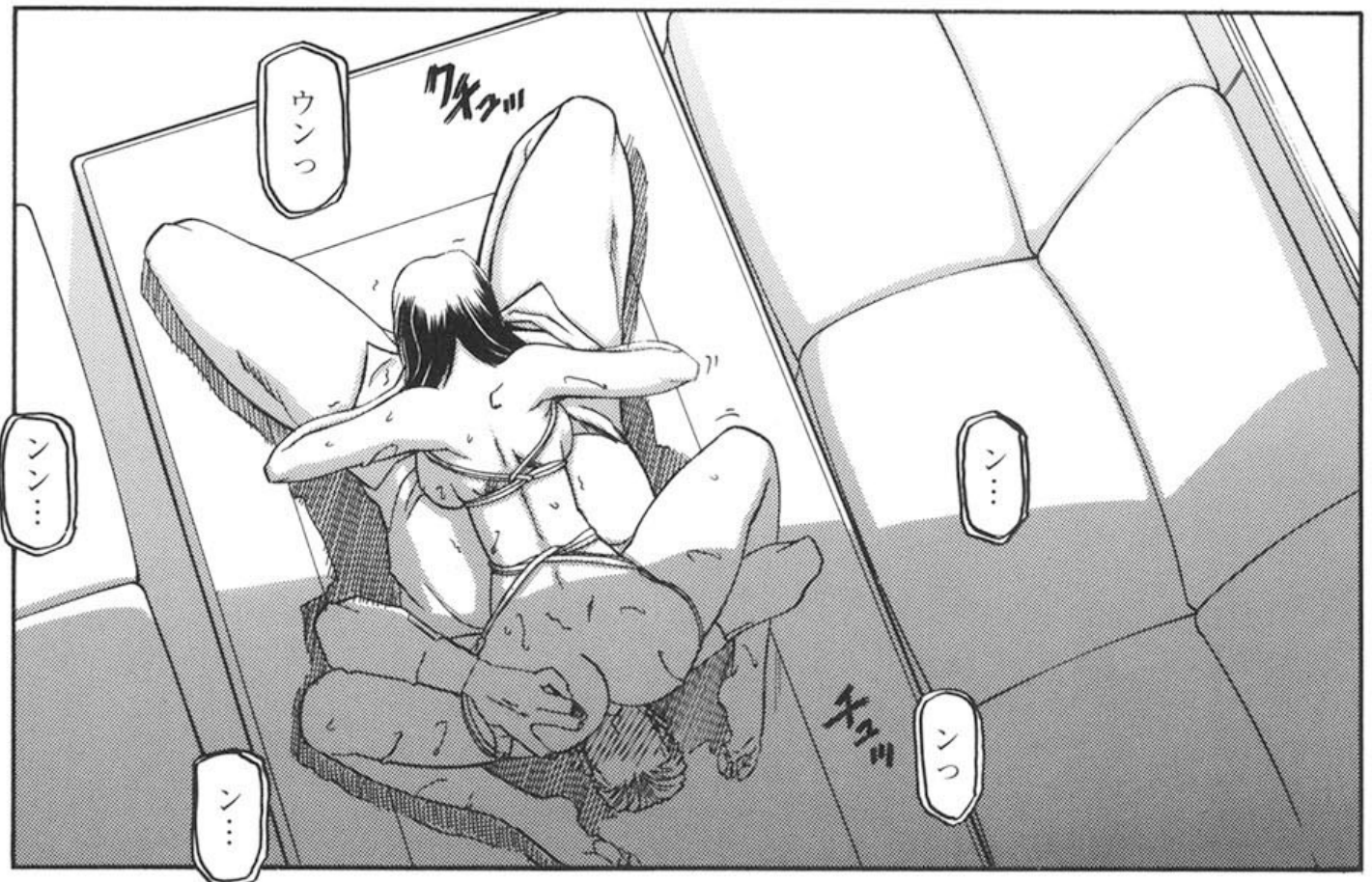
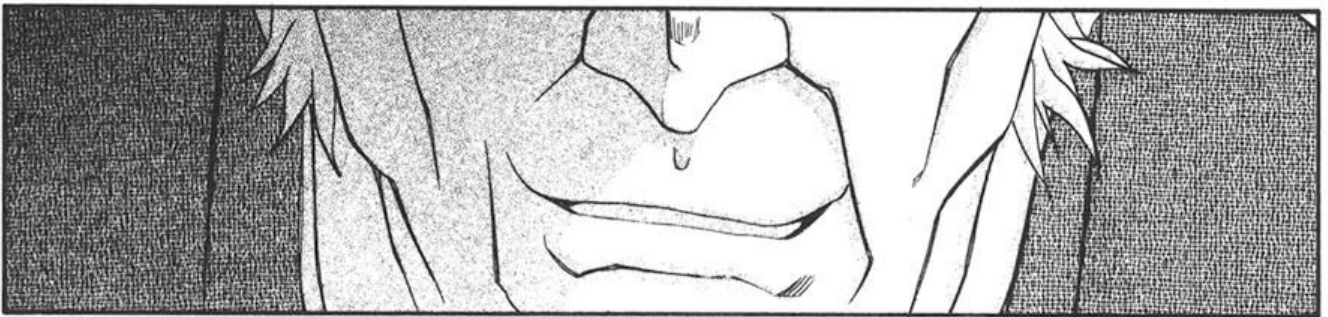
ドキ
ドキ
ドキ

君は
将来性のある
職人だ…

だからきつと
この価値を
わかってくれると
思っていた…

これは君にとっても
すばらしい経験に
なると思うよ…

…あ





ン…

いいい…
いいぞ…

ウン

ン…っ

ここ数日で
ずいぶんと上達
したものだな…

アウ

ん…っ



まったく
いい眺めだ

これを味わった
事のない
お前の亭主は
可哀想だなあ

い…いや…
そんな…事…っ

ソラ
休むな

よく愛撫
するのだ

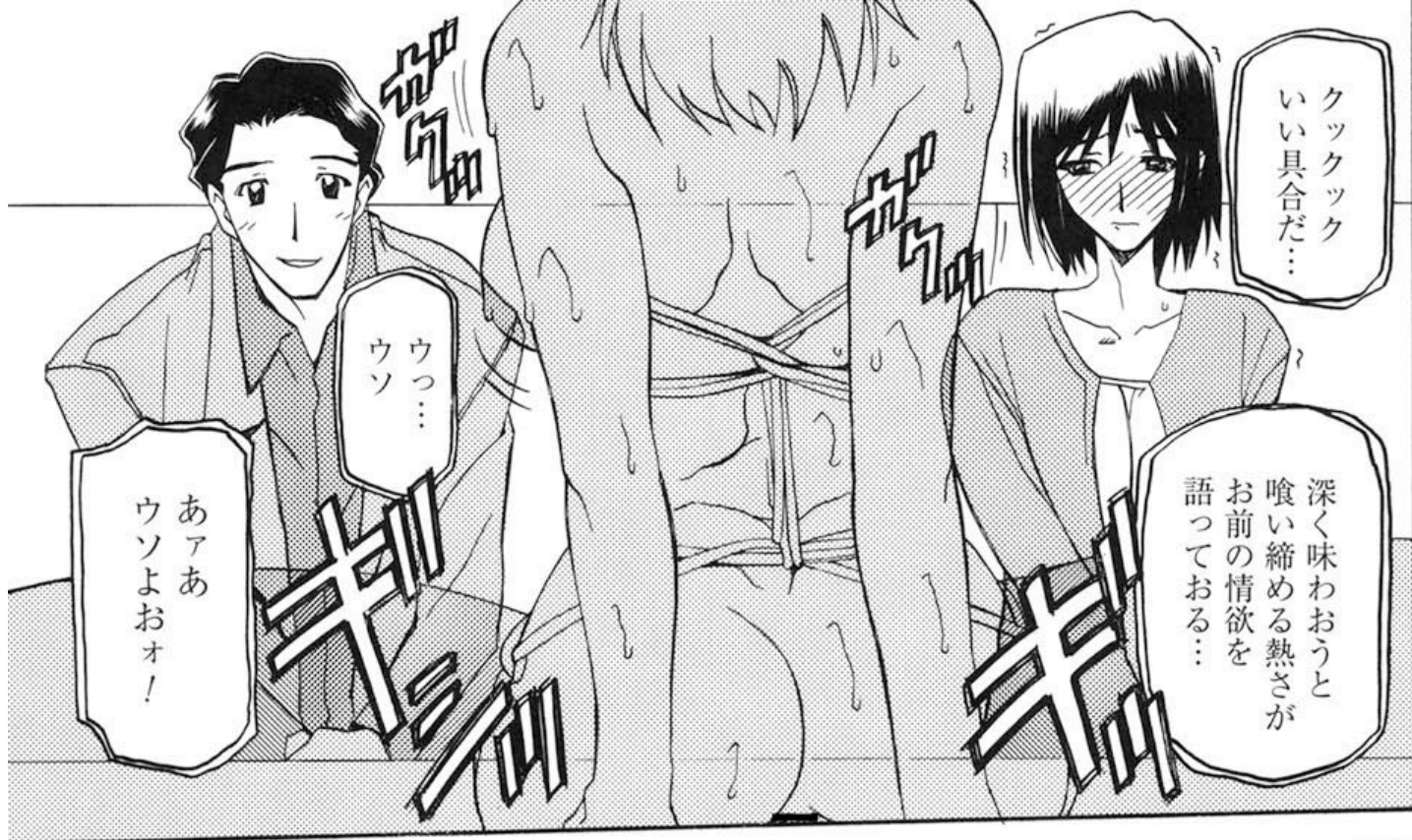
あ…あ



おうんムウ

んムウン
んんっ

おお…そうだ
いいぞお…っ



クツクツク
いい具合だ…

深く味わおうと
喰い締める熱さが
お前の情欲を
語っておる…

ウッ…
ウソ…

あアあ
ウソよおオ!



素直に
なれ!
今のお前は
誰でもない

お前は
なんだ?
言ってみろ
理沙…!

わ…
わた…し…っ

わたし…
は…っ



わたしは…
に…西脇…

豪舟様の…
お…女ですっ

そうだ

それで
いい!

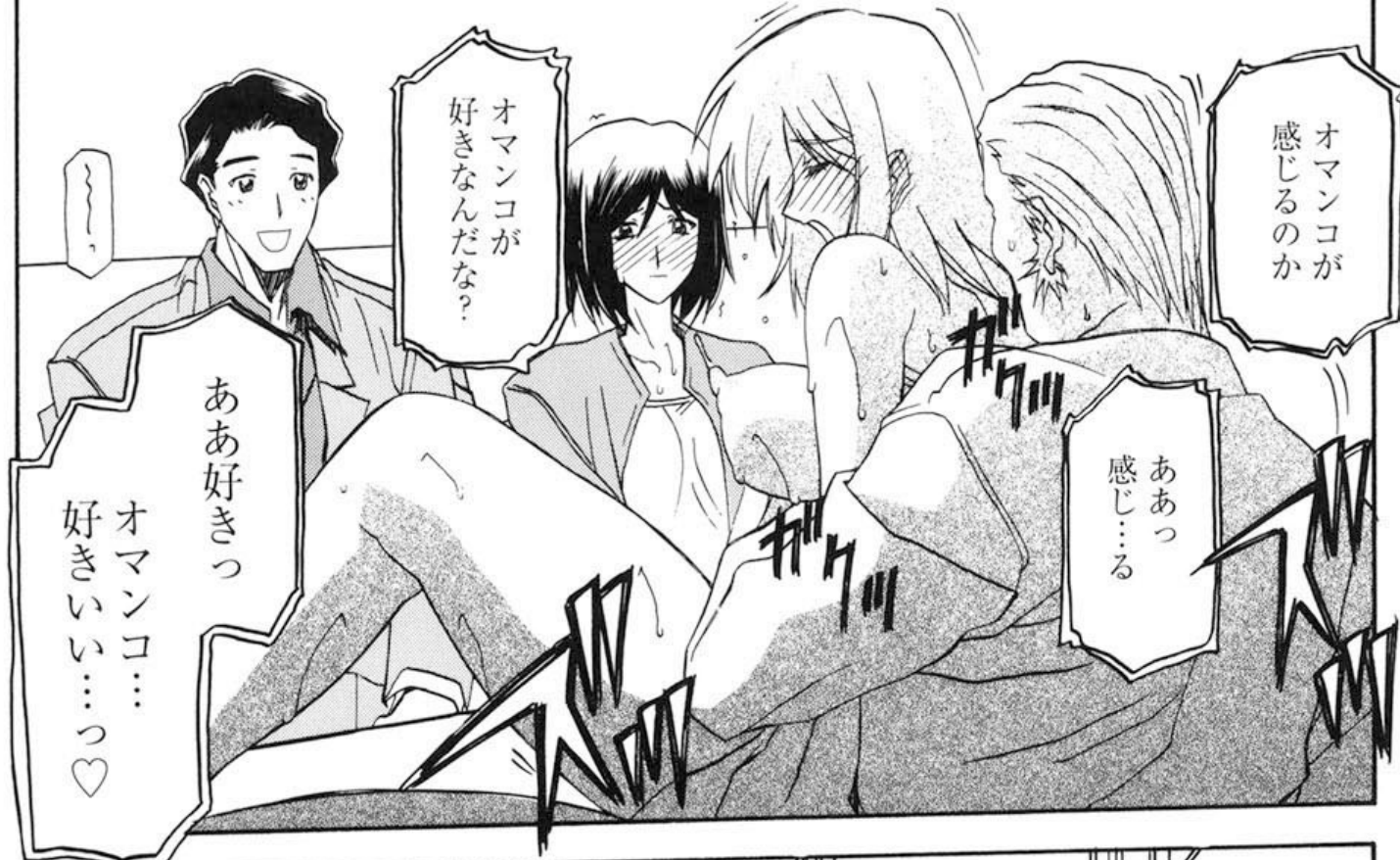
何も考えず
楽しむのだっ

ソラもつと
声を出せっ
教えたように
謳ってみろ!

イ…やつ
そんなっ

あア





なら亭主にも
教えてやれ!

!

今その目の前の
ソファーに座っている
つもりで...

亭主に告白
してみせろ!

はあおおおオ♡

あ...あな
...た...

あつ

あなたああつ

わたし...
イク...のっ

豪舟様の
...でっ

オマンコ...
かきまわ
されてえ

あア
あなたつ

オマンコ
イクわあ!

はああアああ♡



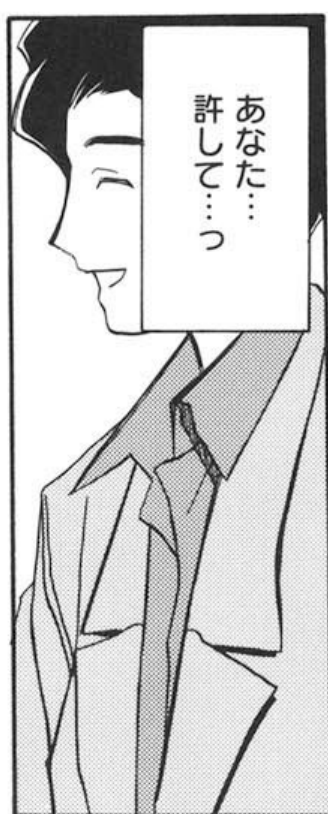
……
……



どうして……
……私……

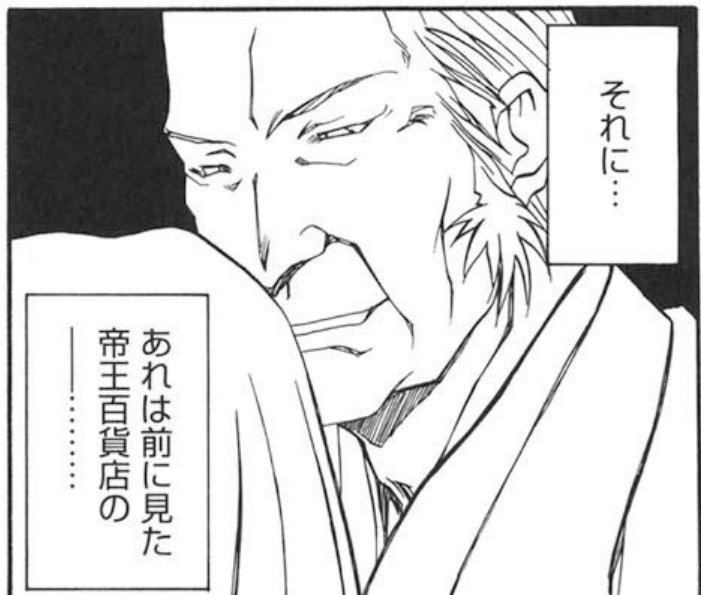
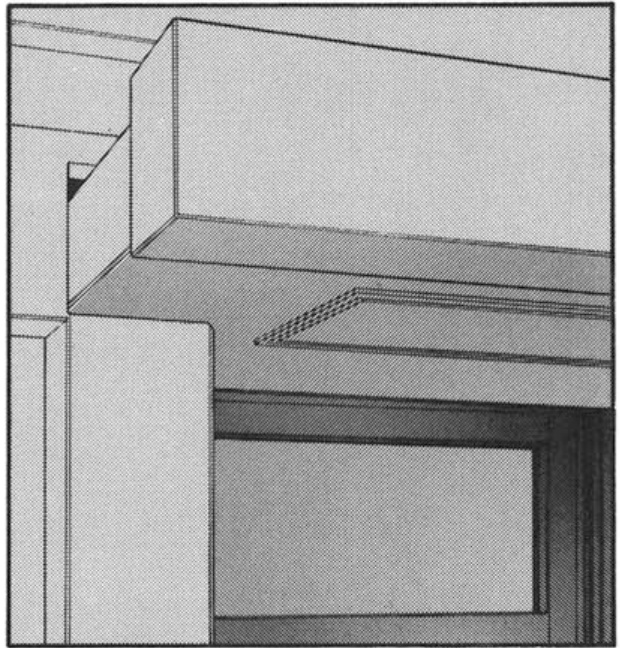


あなた……
許して……



許して……！









ある方がぜひ君に
話がしたいと
おっしゃっているんだ…

一緒に来て
くれないか…

あの…
でも…

え…



君がこの店に
かかる上で

知っておいて損のない
重要な事柄だよ…

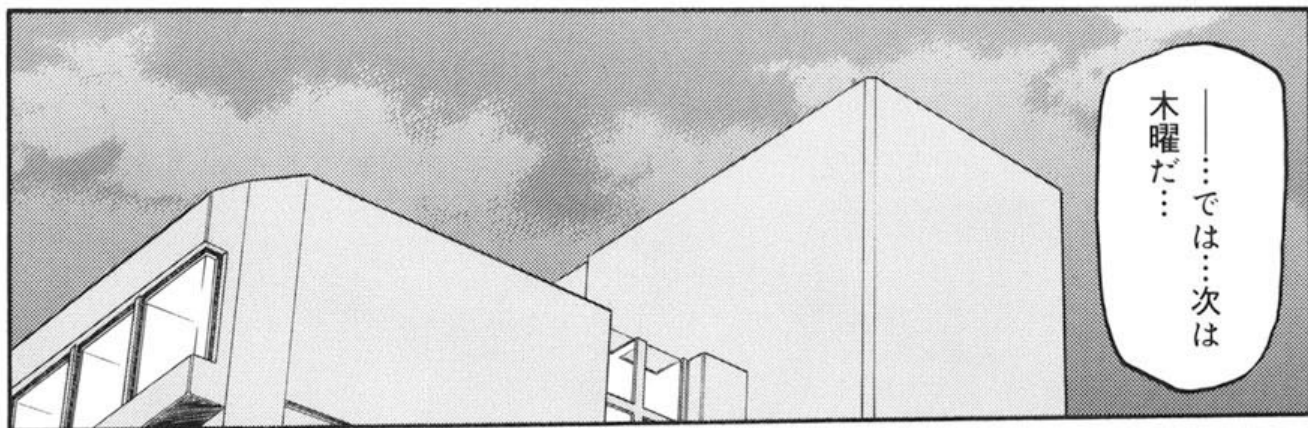
—
…

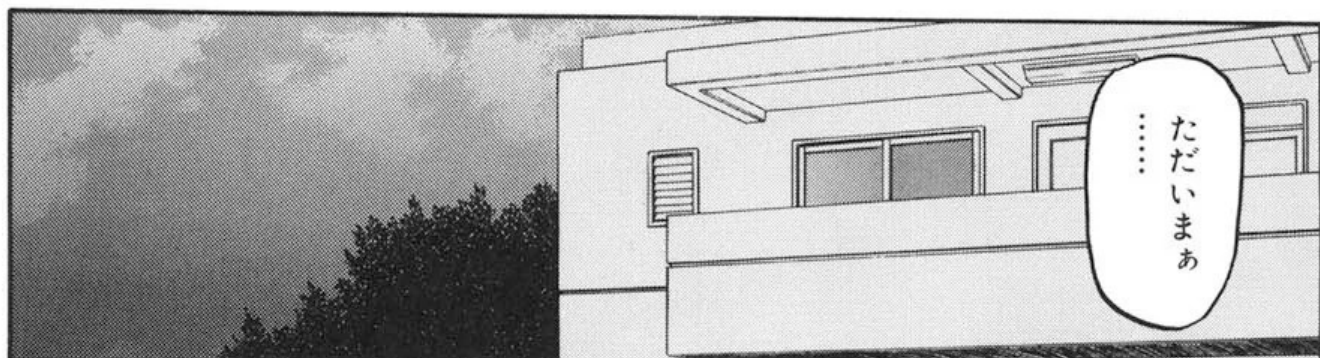
蒼月の季節

KISETSU

SOUGETSUNO

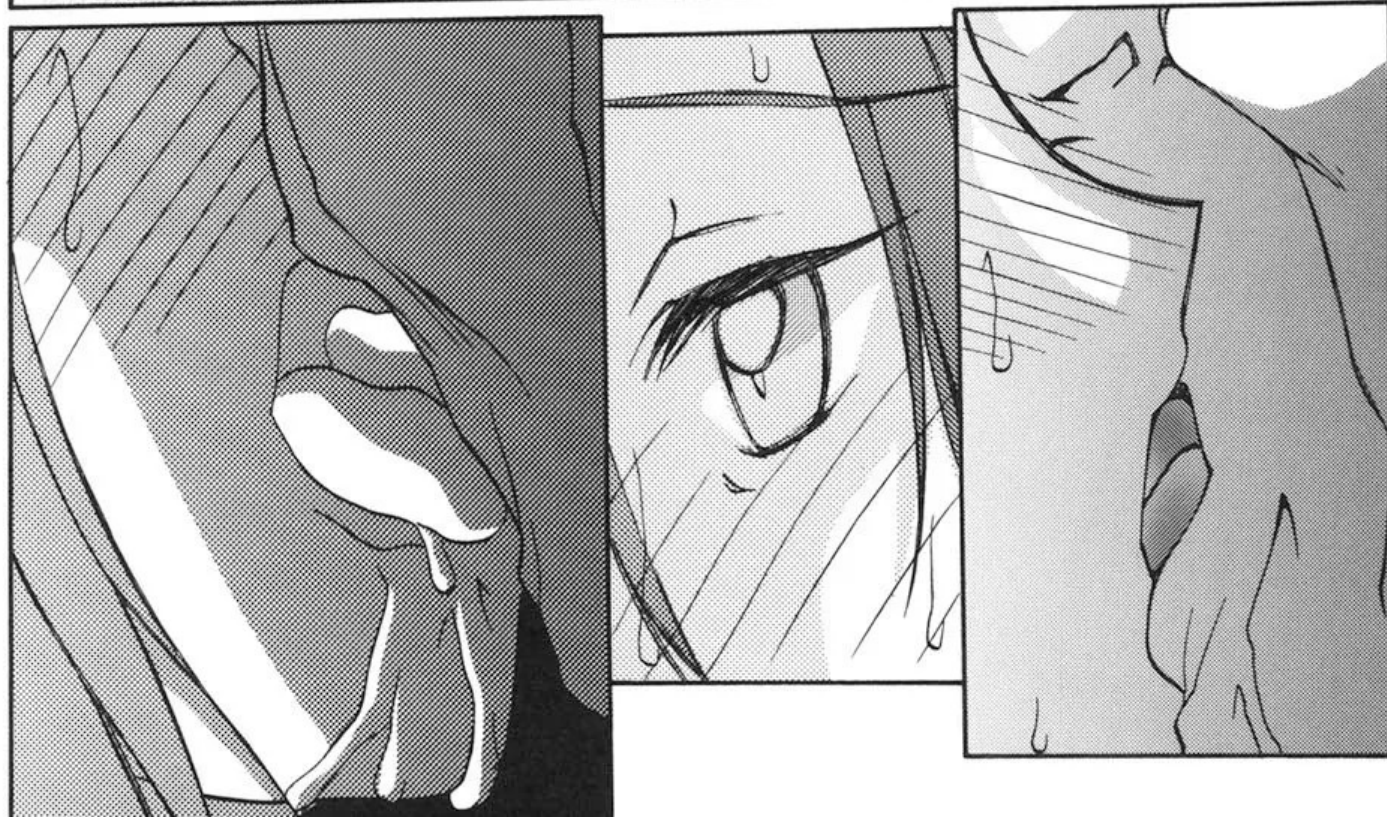
第5話

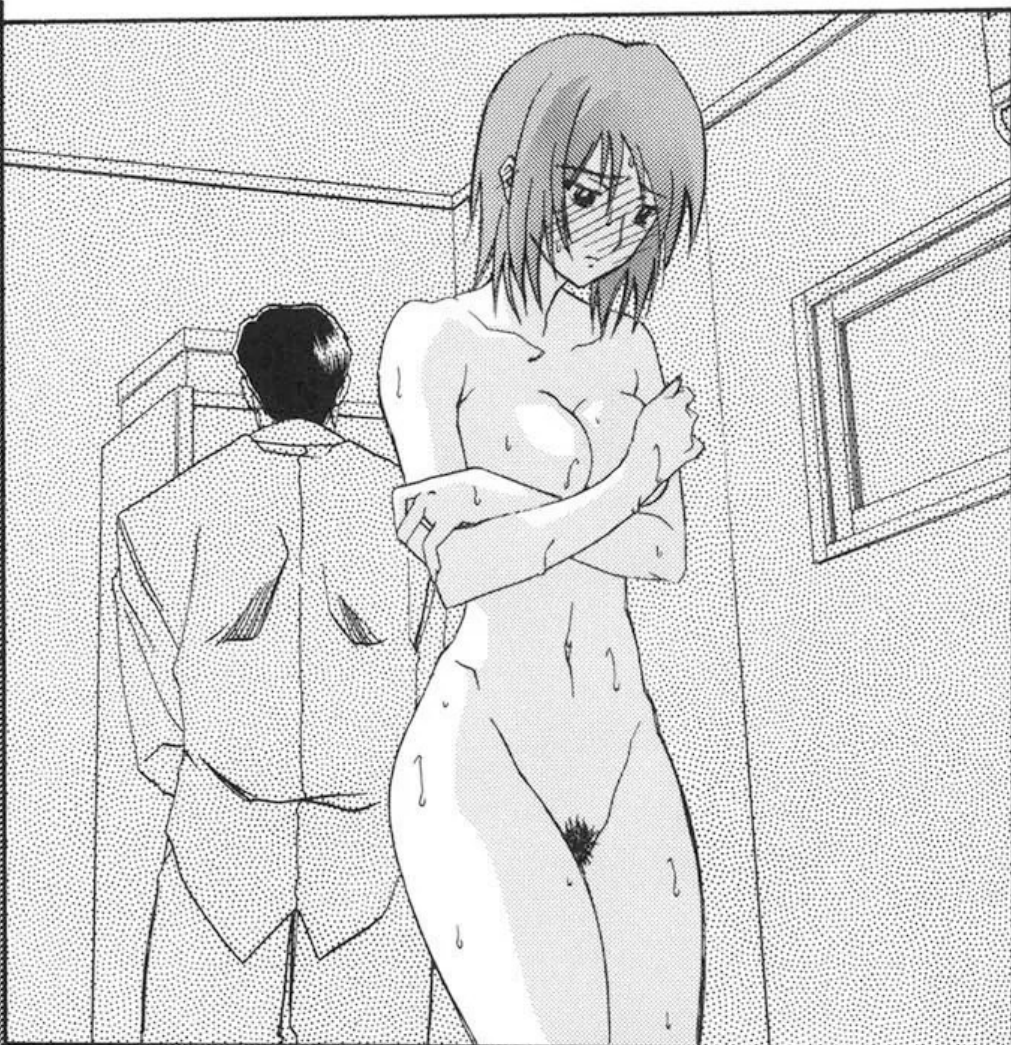












.....え?









……ほお……
思った通り
よく似合うな



……こんな……物
……まで……っ



選んだ甲斐も
あるという物だ
……

……でもっ
……こんな……



大丈夫だ……

素知らぬ振りを
しておれば誰も
気がつかん……

でも……
入ったままなん
……て……



まずは
儀式だ……

案ずるな……

乾杯しよう
……



真壁理沙では
なくこの人の
……

西脇豪舟の
……女に……



……
これを飲めば
……

私は私で
なくなる……



……
どうして
だろう……

……私……あんまり
お酒……好きじゃ
なかったのに……



……さあ……
出かけよう……

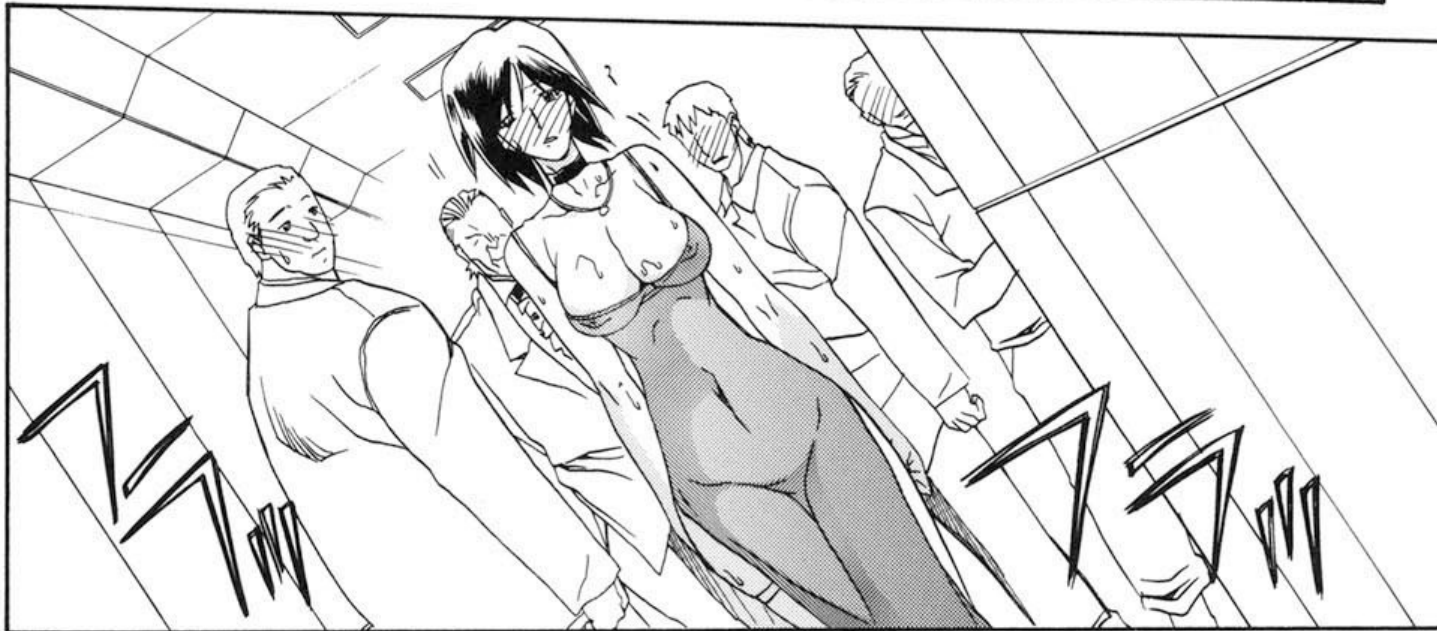
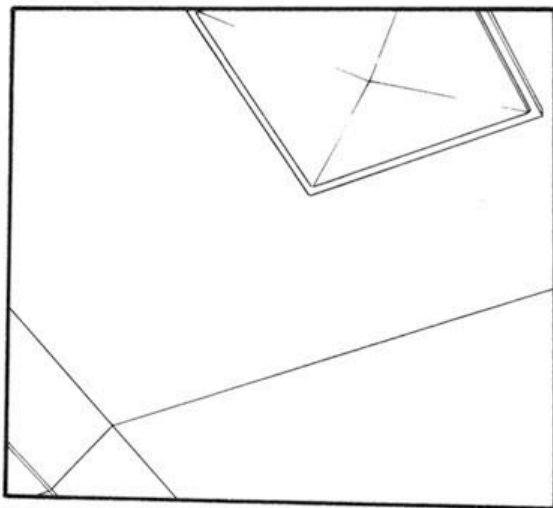


はあううう



これは……

嫌いじゃない……



ホラホラ
気をつけ
なさい…
他のお客様に
御迷惑
だぞ？



めい…
わ…く…？

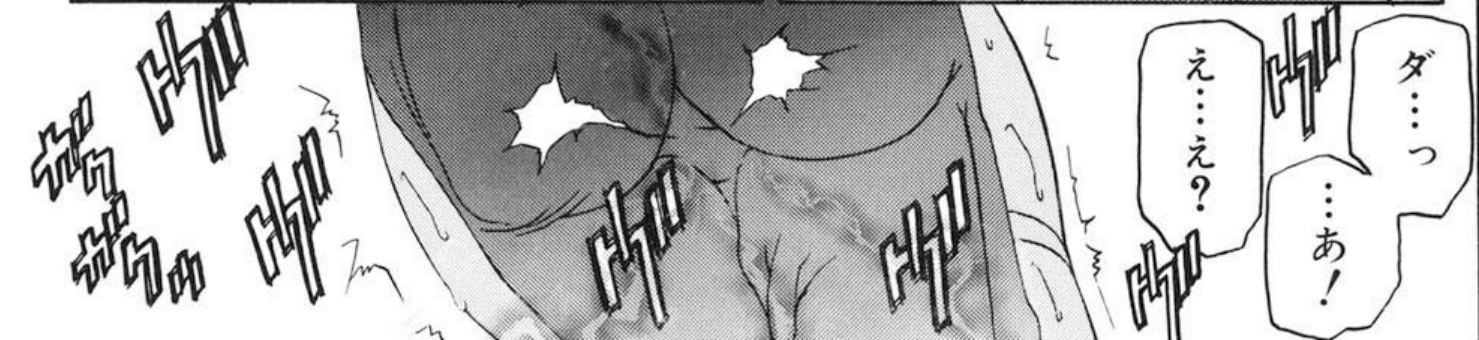
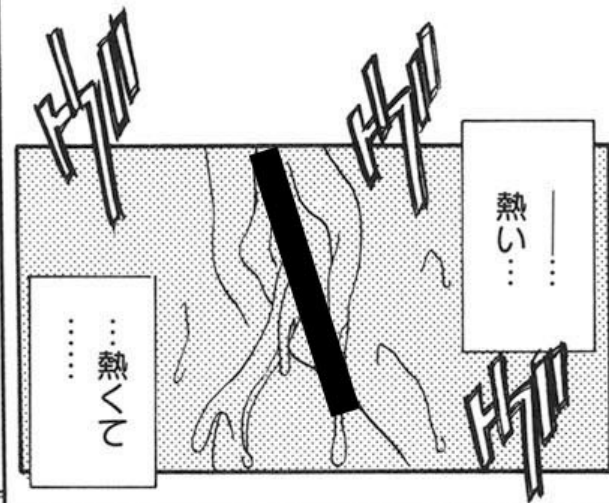


私…
どうして…
こんな…



…今日のお酒
…ちよつと強かった
気がする…

それに…
この機械…









……大勢の人が
行き交うあんな
廊下で……

私……激しく
絶頂って
しまった……



憎んでいる
ハズなのに……

ガキヤ



こんな姿を
もしあの人が
見たら……

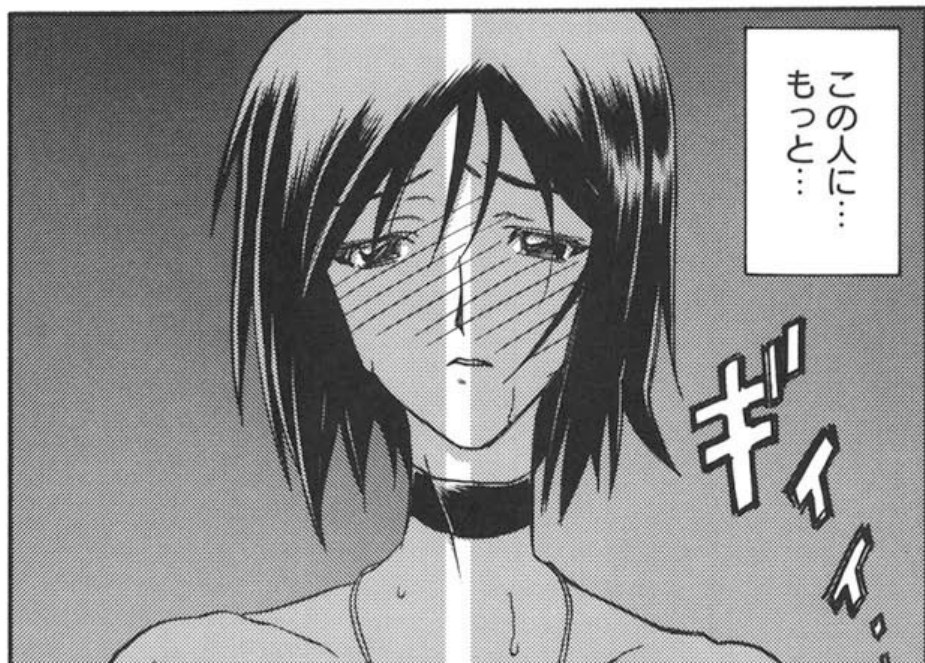
理沙……



恥ずかしい
のに……

頭の芯が
甘くしびれて
とろけて……

気持ちよくて
何も考え
られない……



この人に……
もっと……

ギイ

もっと……

蒼月の季節

KISETSU
SOUGETSUNO

第 6 話





訳あって
素性の明かせぬ
人妻ですが…

愉しみを
教えてる所
でしてね…

ああわかって
おるよ

むしろその方が
趣がある…

必要なのは
誰であるかではなく
何を求めるか
じやろう

そう云う
事だ

しかしそのような
卑猥な玩具を
忍ばせて表を
歩くとは…

さぞ表の男たちを
楽しませたろうなあ

わかりやすい程
いやらしい肉質を
しておるわい

はあっ

思った通り
好色な質を
しておる…

困り顔をして
体裁をつくろい
ながら

乳首だけは
しっかり勃て
おって…

何を期待
しておる

この好き者
が…

は…

あ…!



……
理沙さん……



うわーっ
今回の新作も
美味いっすよ
理沙さん

ホント？
ありがとう
谷崎クン



今回ののは
4つかな

帰って
食べる分と
夜の分と……

フフフ……
谷崎クンって
ホント甘い物が
好きなのね

大好き

大歓迎よ



男で甘い物
好きなヤツって
嫌いですか？

まさか
まさか





下さー…

抱いて…

…だ…
…抱いて…



私は…女…

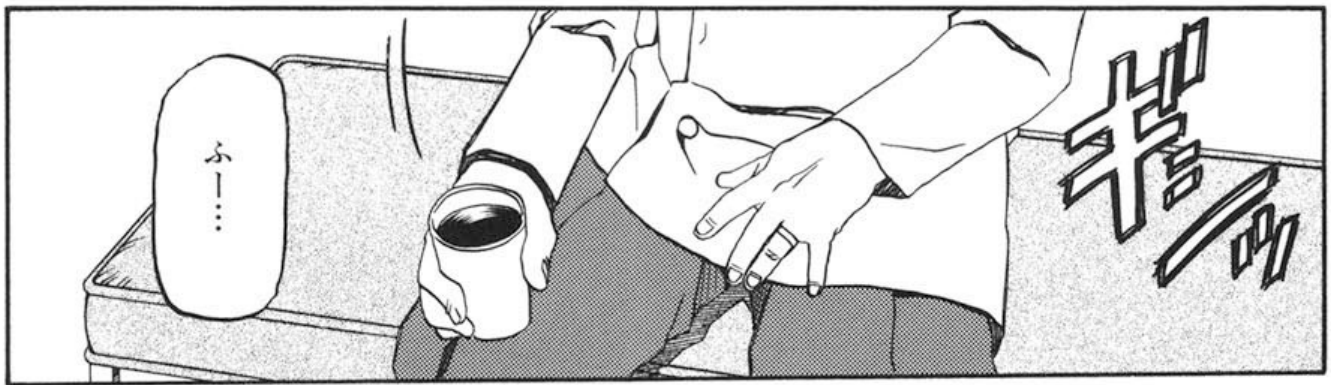
誰でもない…
ただの好色な…

女…



思うより先に…

考える先に
言葉が出て
いました…







クックック

吸い上げて
熱心に
すすりおる…

イチモツを
しゃぶるのが
大好きな
ようじやなア



躊躇なく
根元まで
くわえ込み
おって…

ムウン

男の味を
よく知って
おるようだわい
……

こちらも
よい塩梅
じゃぞ

うむんっ

うむムン
ン…♡



ヒクヒクと
ふるえ

肉芽もガチガチに
して興奮しておる

むあえ
あ…

まったくスケベな
人妻じゃわい

さてはここに
来るまでの間に

玩具での羞恥
プレイですでに
気をやって
おったな？





そおれ
新しいチンポ
だぞお

あ...あア
チン...ポ

チンポ
入れてえ!



案ずるな

まだまだ
これからよ

あ...

ああア...



あはあ
ああア!!



どうだ
いいか?

きやア
イイ!

新しいのは
さらにイイか?

はあア
イイっ

あつうい!



はああアあ



どうれ…では
ワシはこちらに

いや…そ…
こは…!

あっ



オムううン

ンひッ

ンッ

うむうっ



おっ

おオオ!

おオオっ!

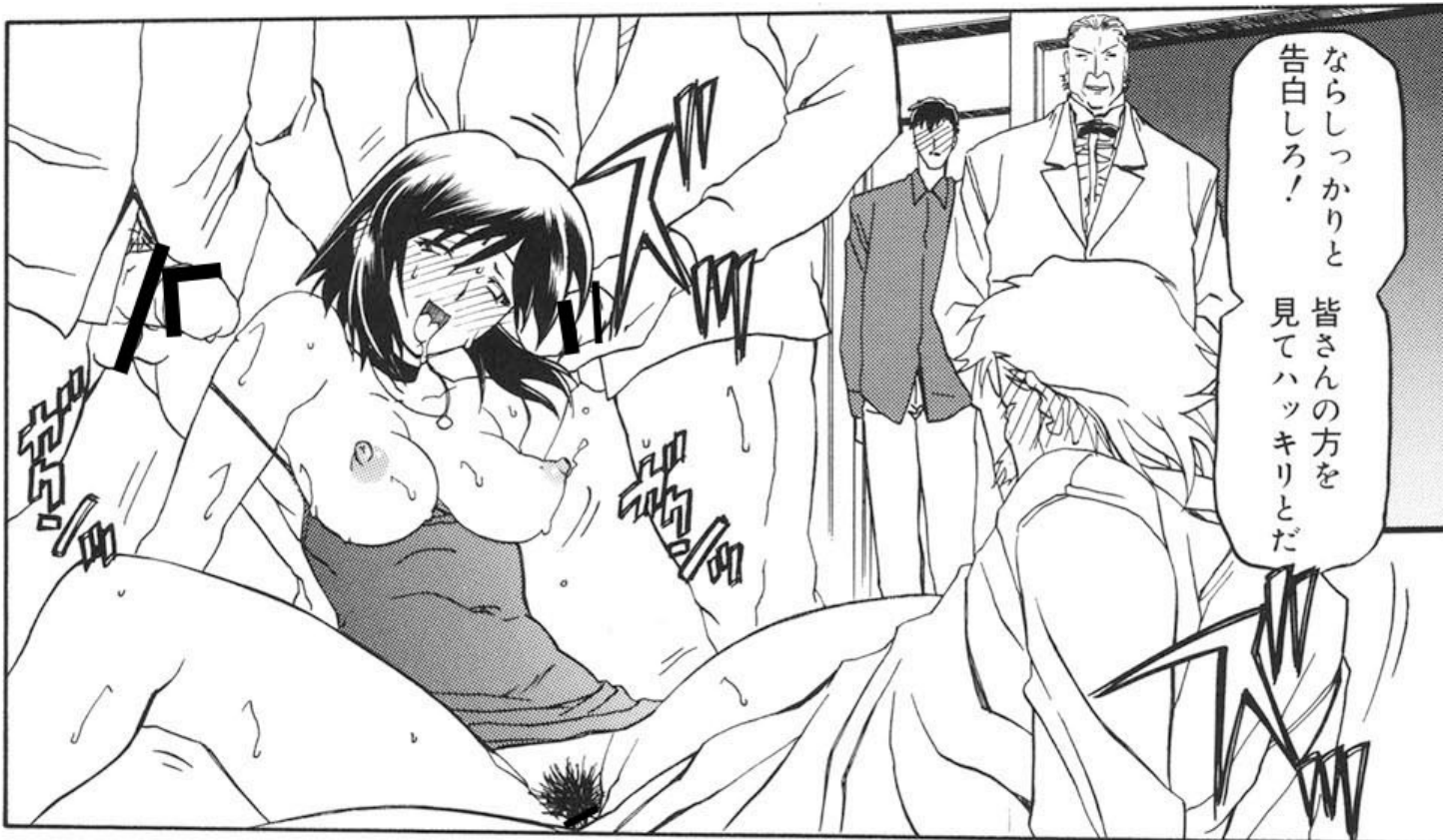


あはア
わたひあ!

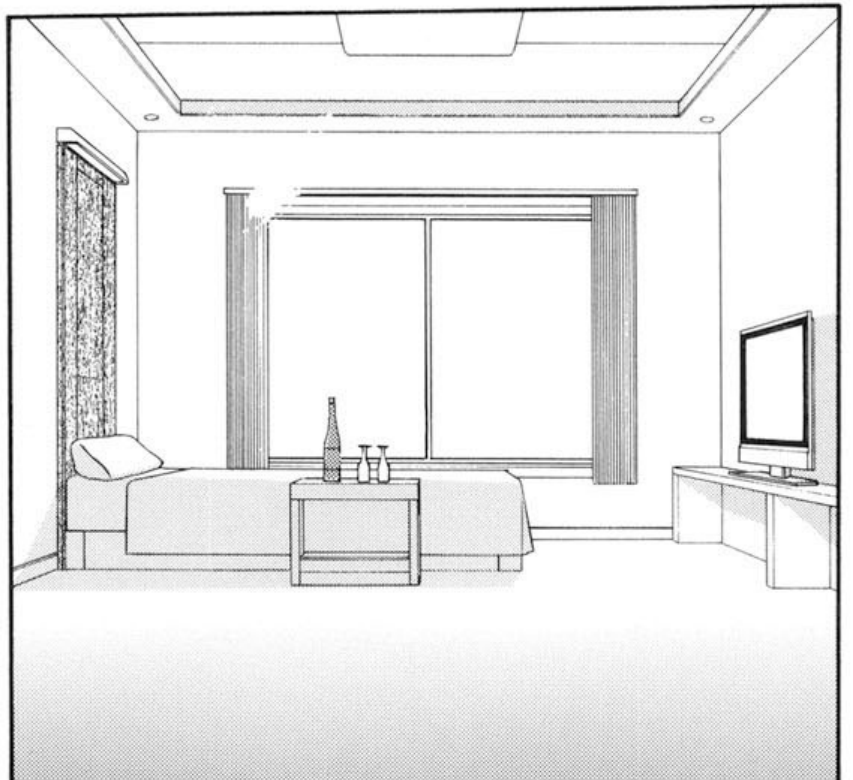
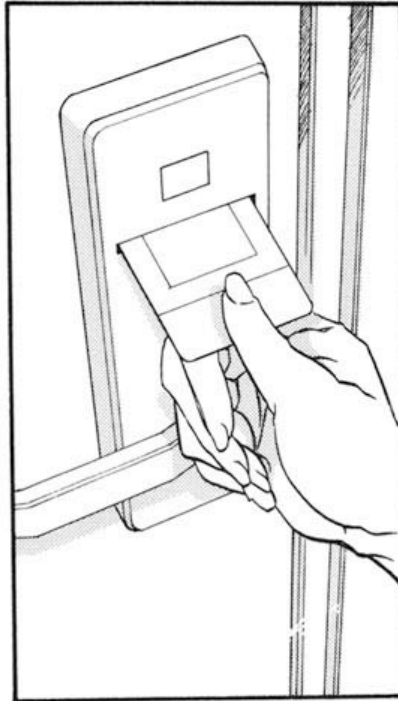
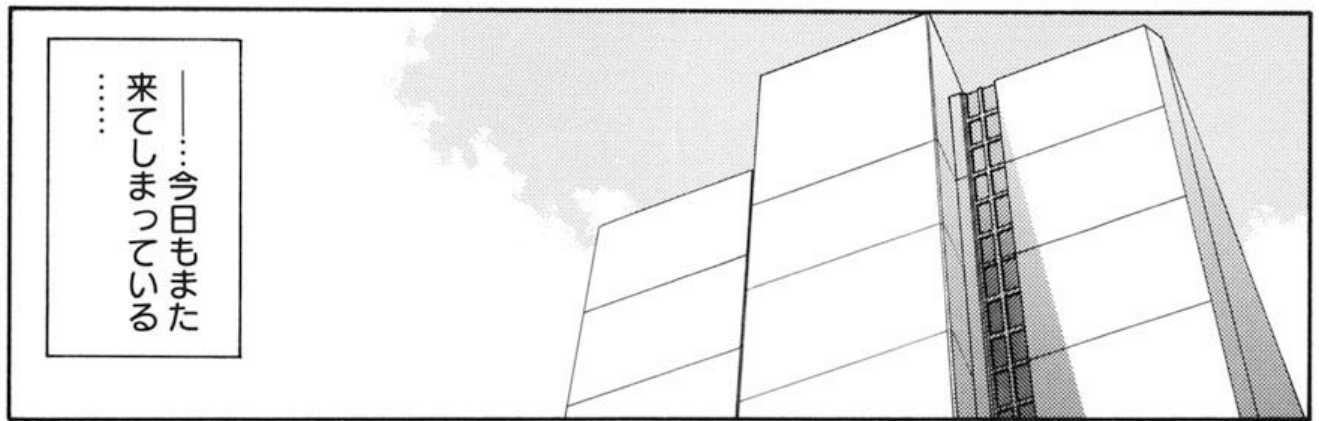
あへあア

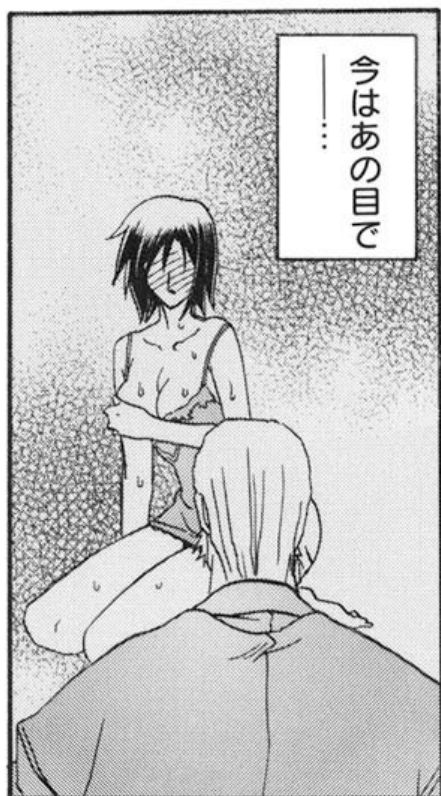
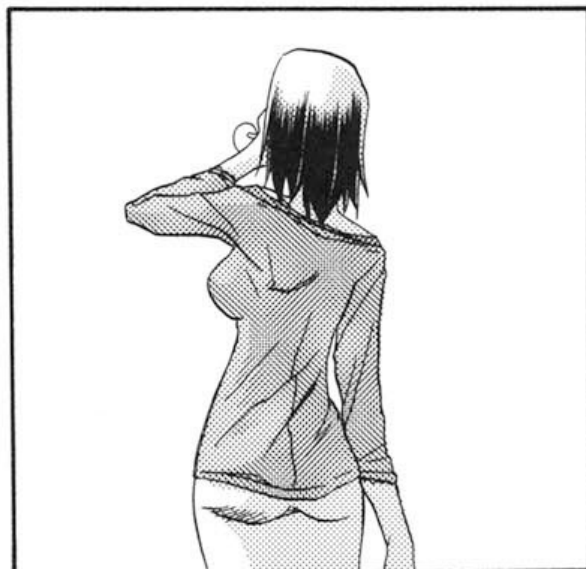
いひい

あなたあ









蒼月の季節

KISETSU
SOUGETSUNO

第7話





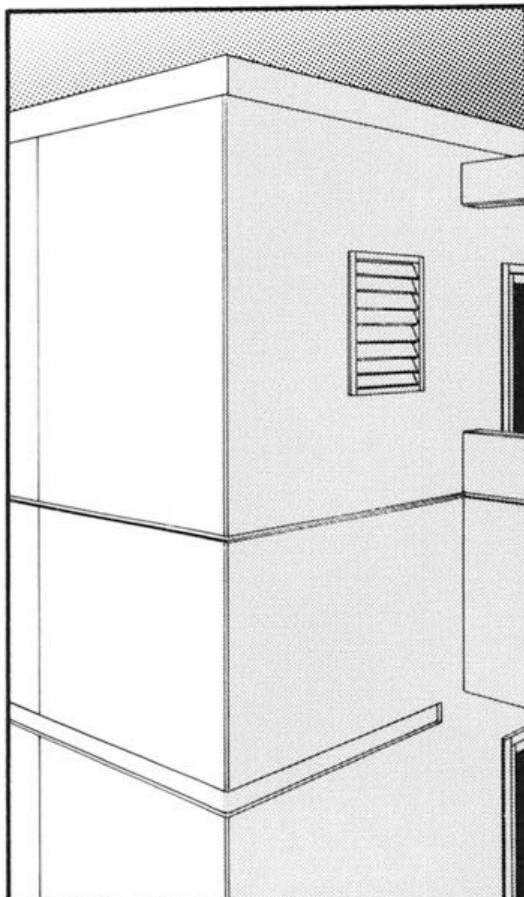


本日の御予定を
キャンセルするようにと
豪舟様から託^{こたく}かって
おります…



—…申し訳
ありません…

実は帝王グループの
急な視察が
決まりました



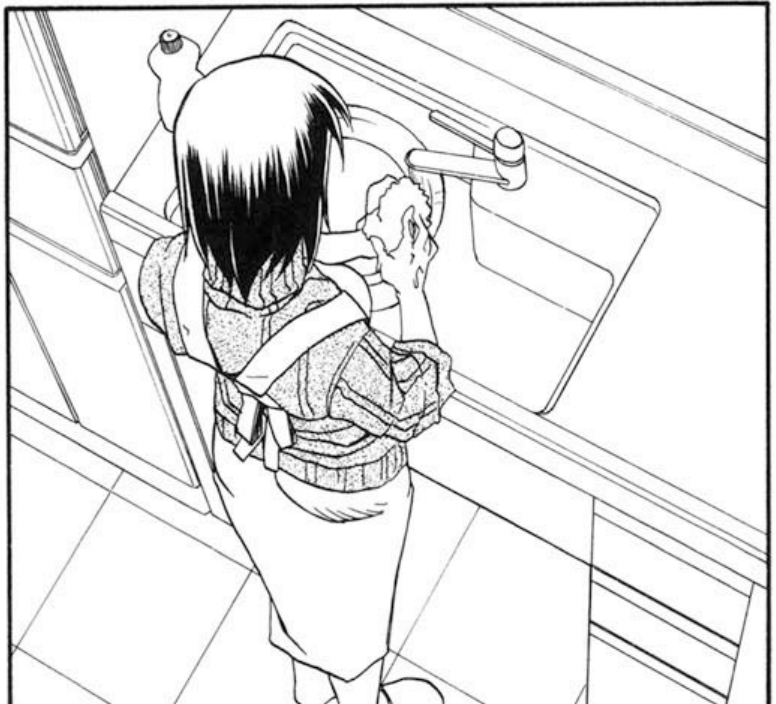
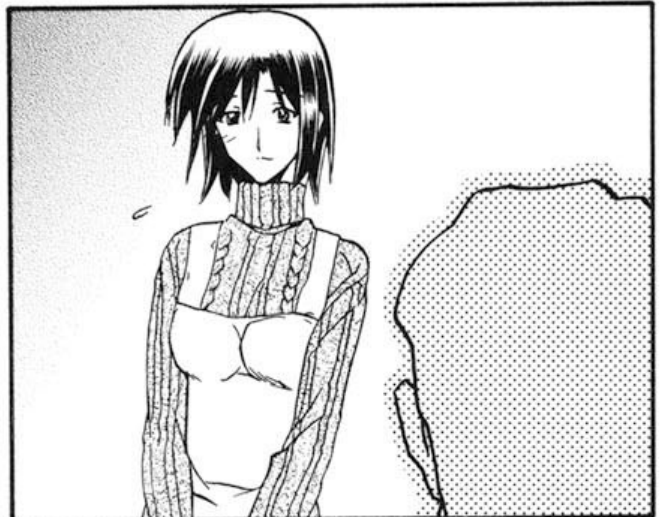
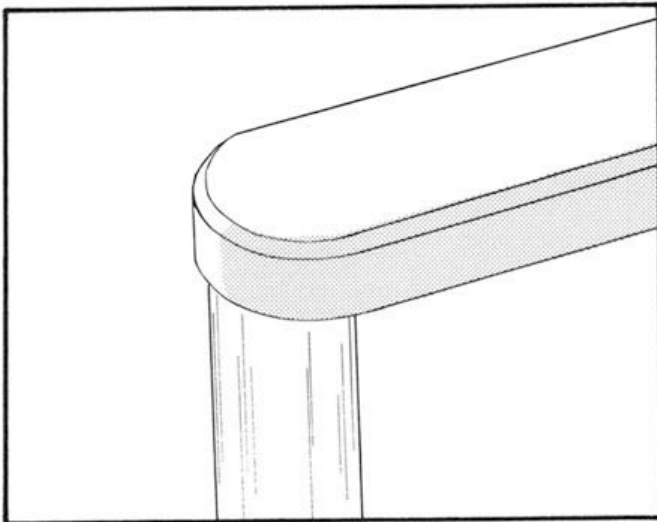
豪舟様は
しばらく出張が
続く事に
なりますので

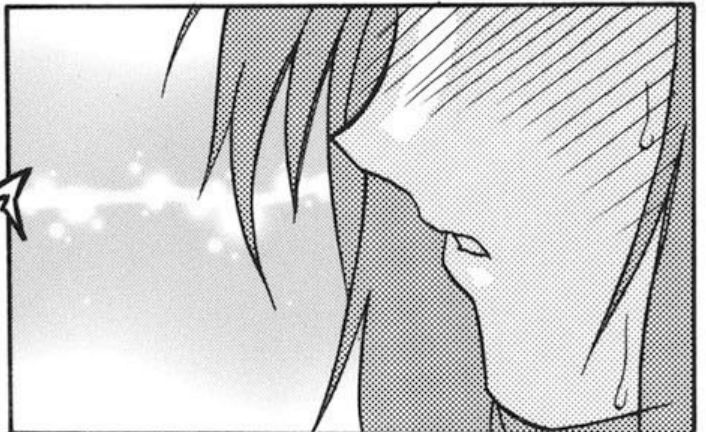
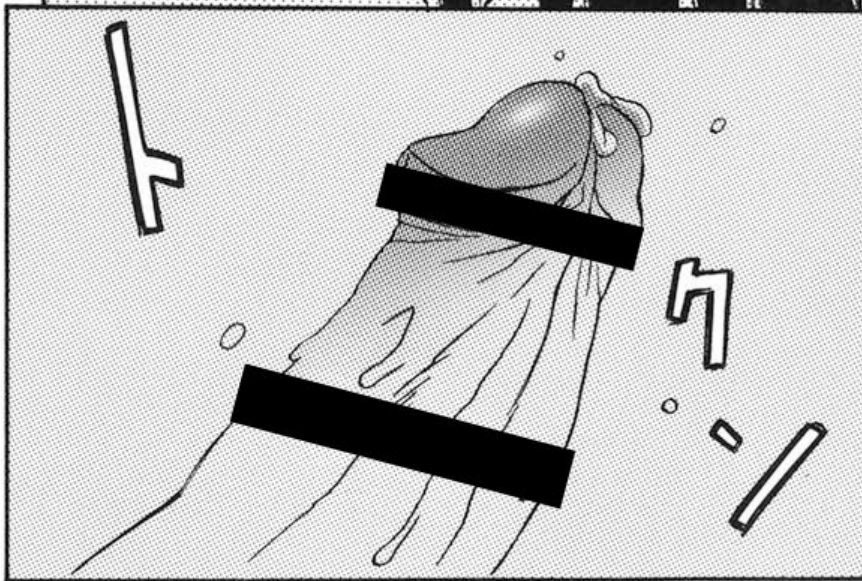
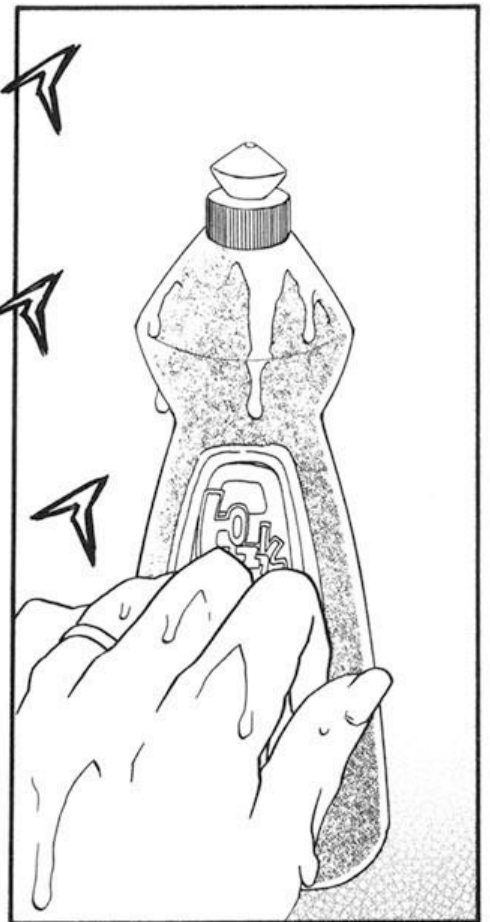
以降の予定は
すべてキャンセル
……



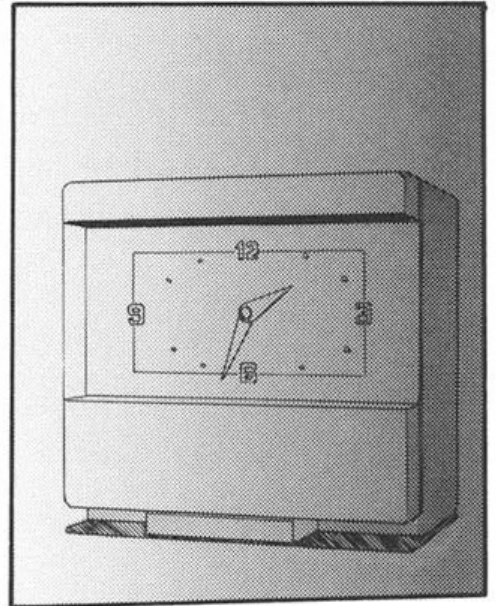
今後については
いづれ連絡を
入れる…と…

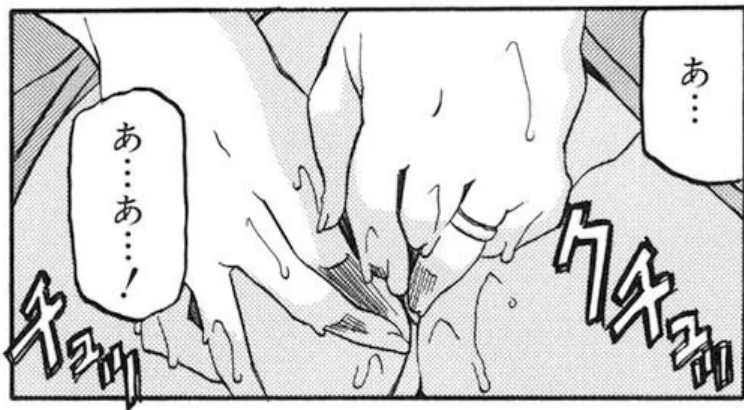


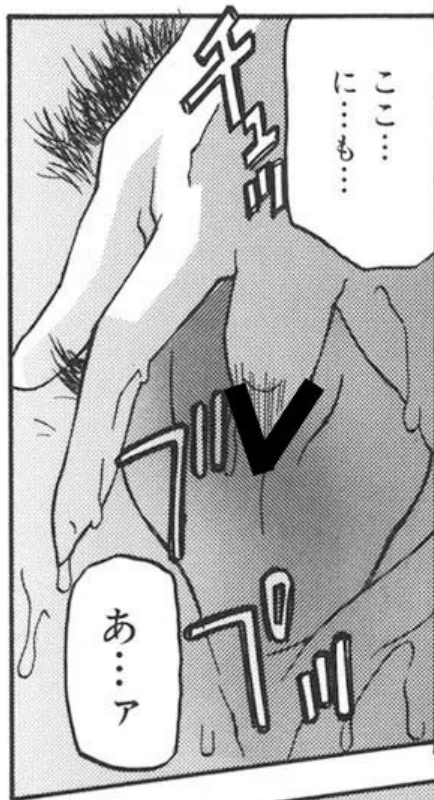






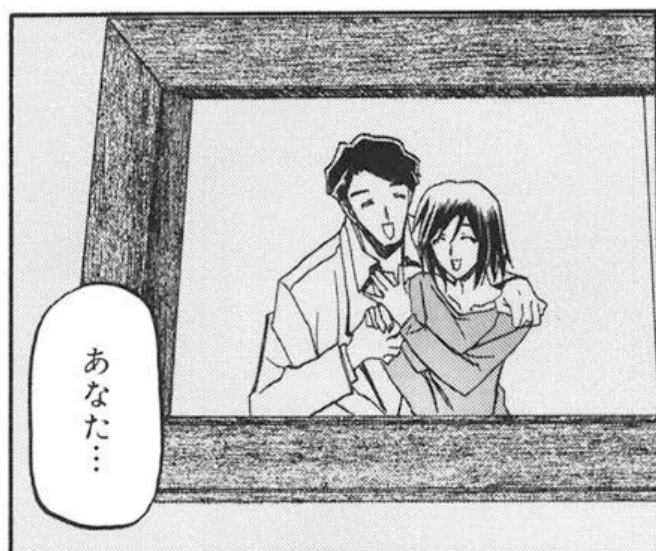
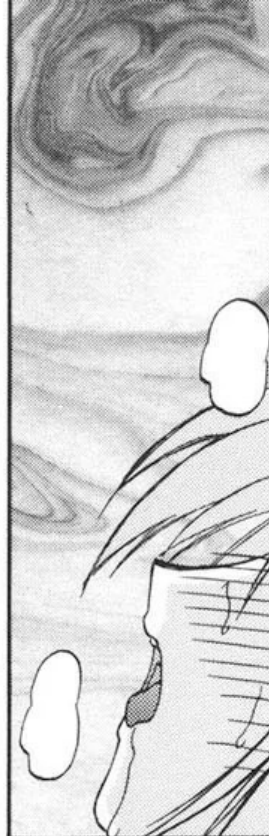
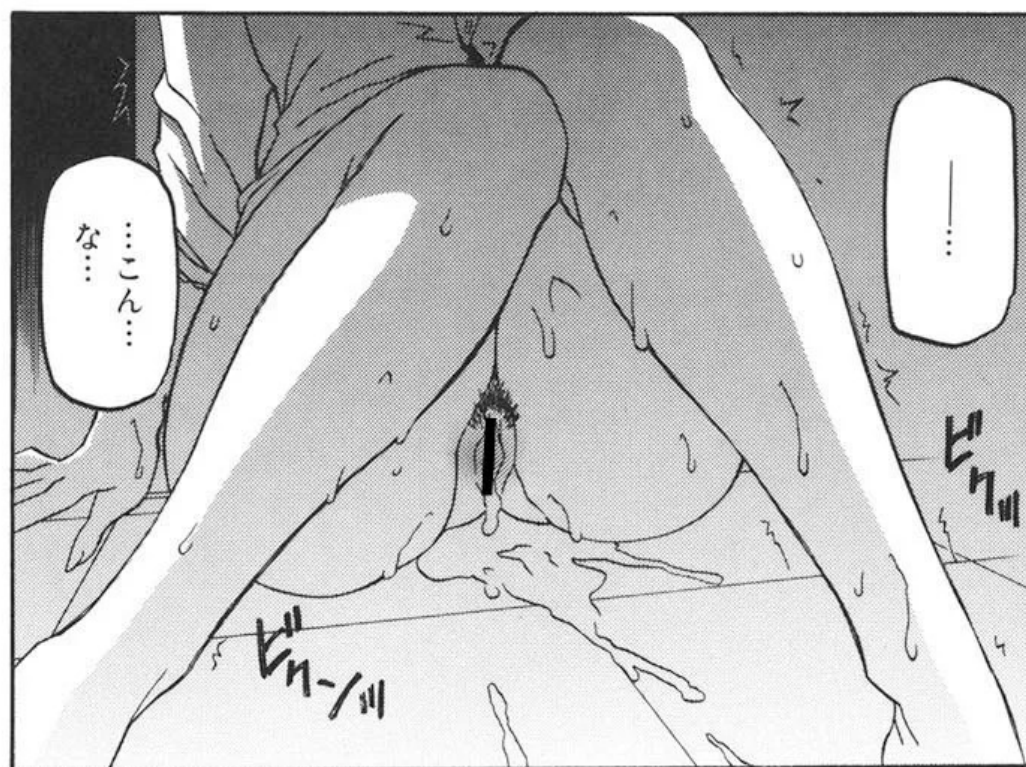


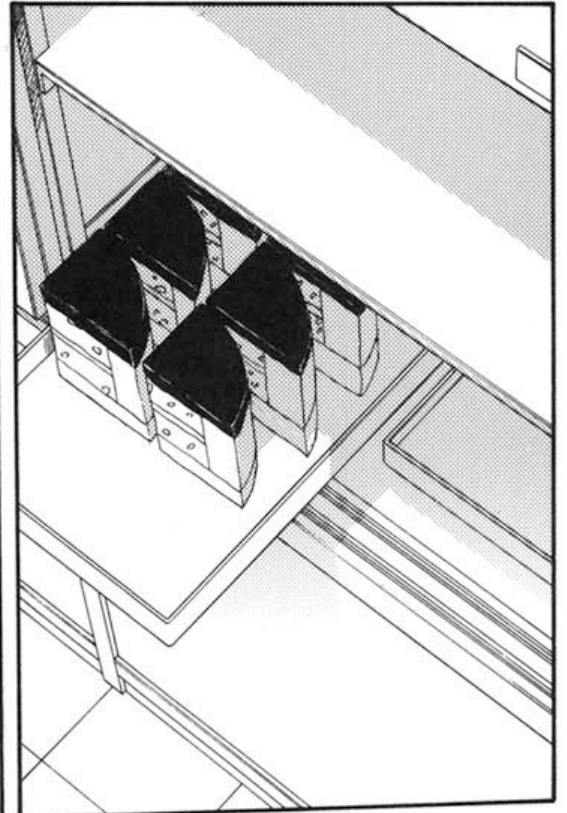










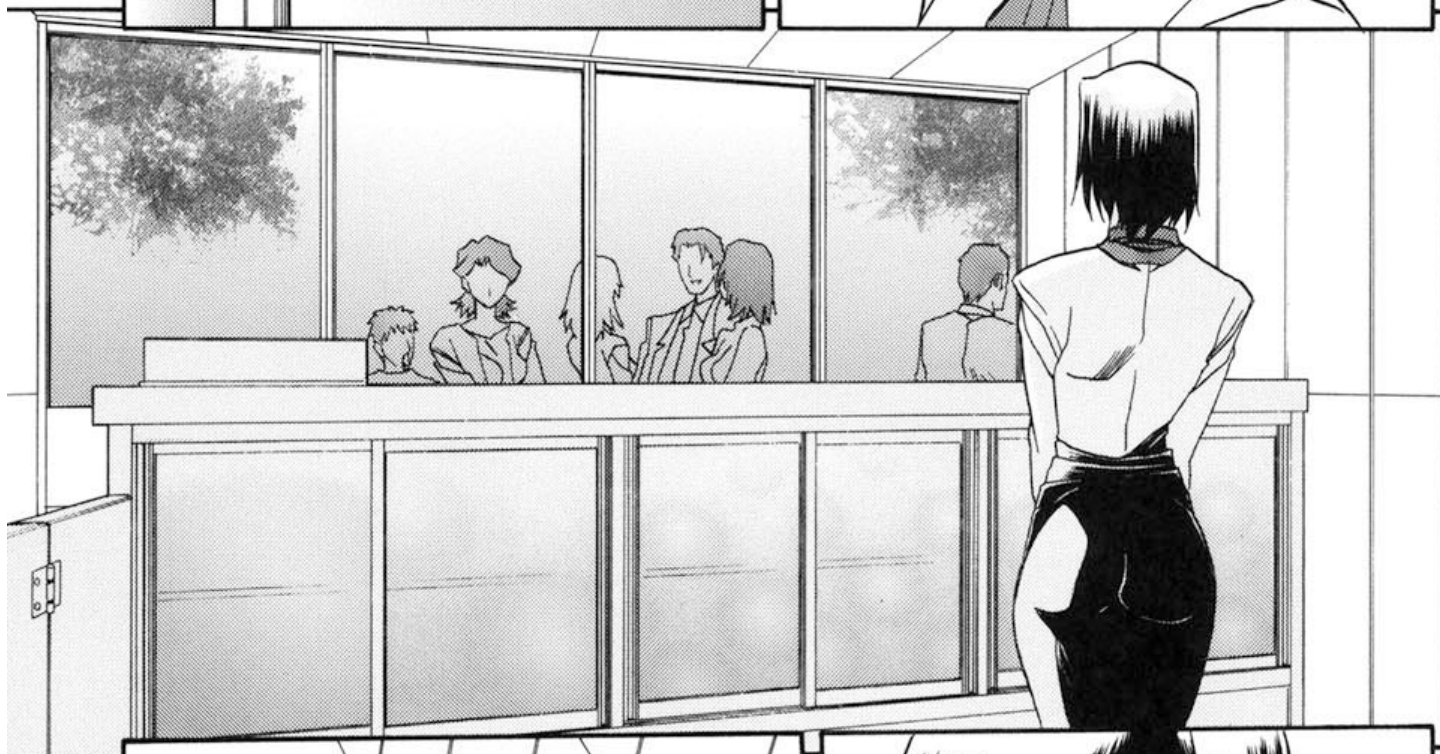
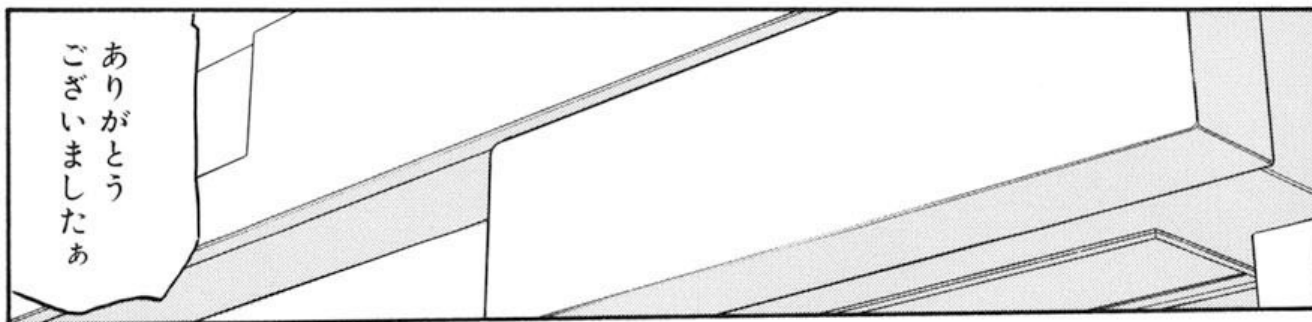


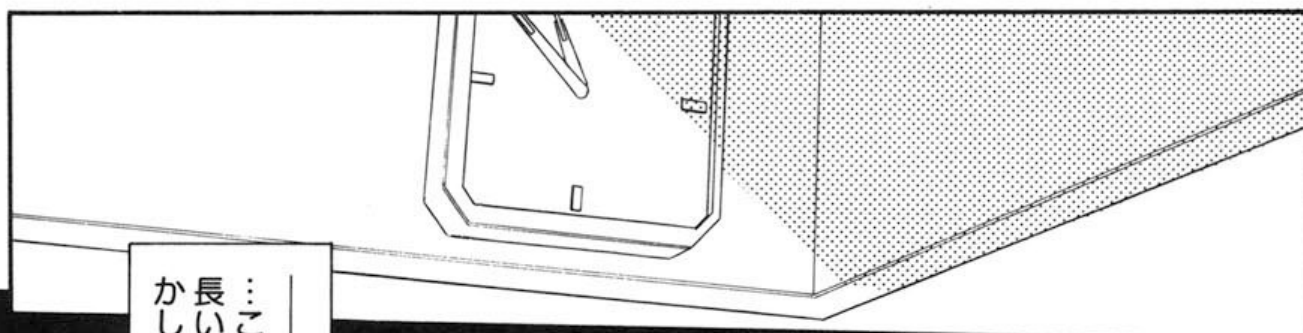
蒼月の季節

KISETSU
SOUGETSUNO

第 8 話







——…午前つて
…こんな
長い物だった
かしら…



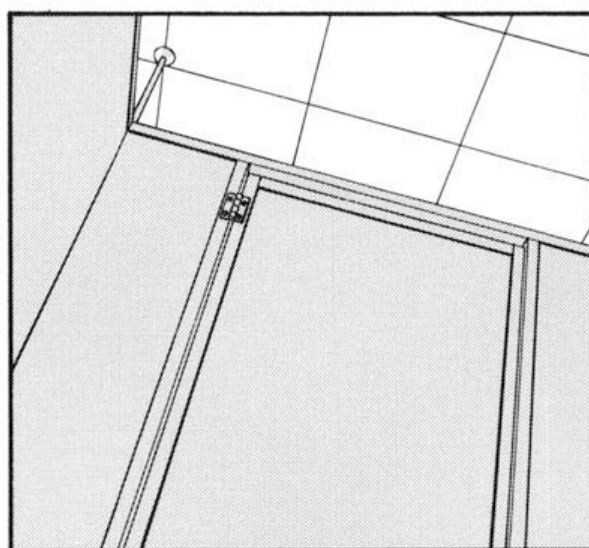
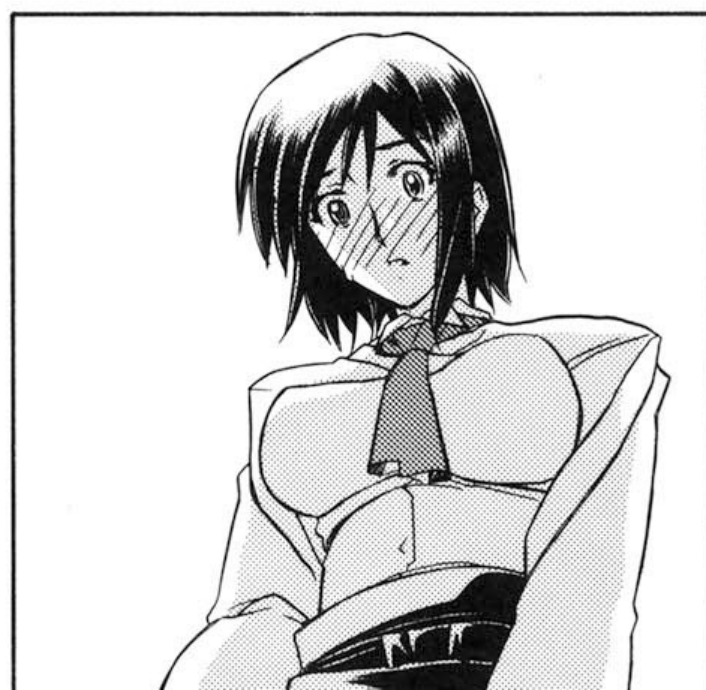
お届け物
です…

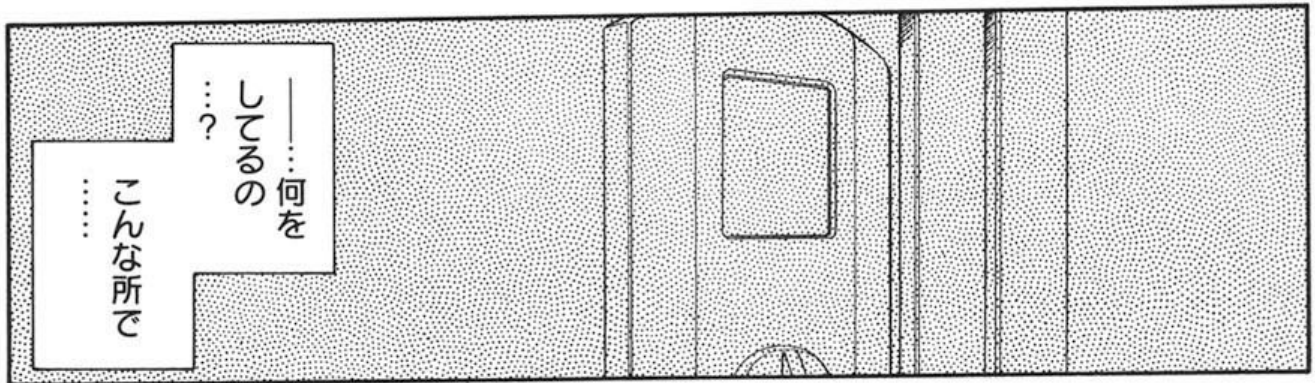


え？

コレ

理沙さん





—…何を
してるの
…?

こんな所で
……



大切な場所で
……

私
……



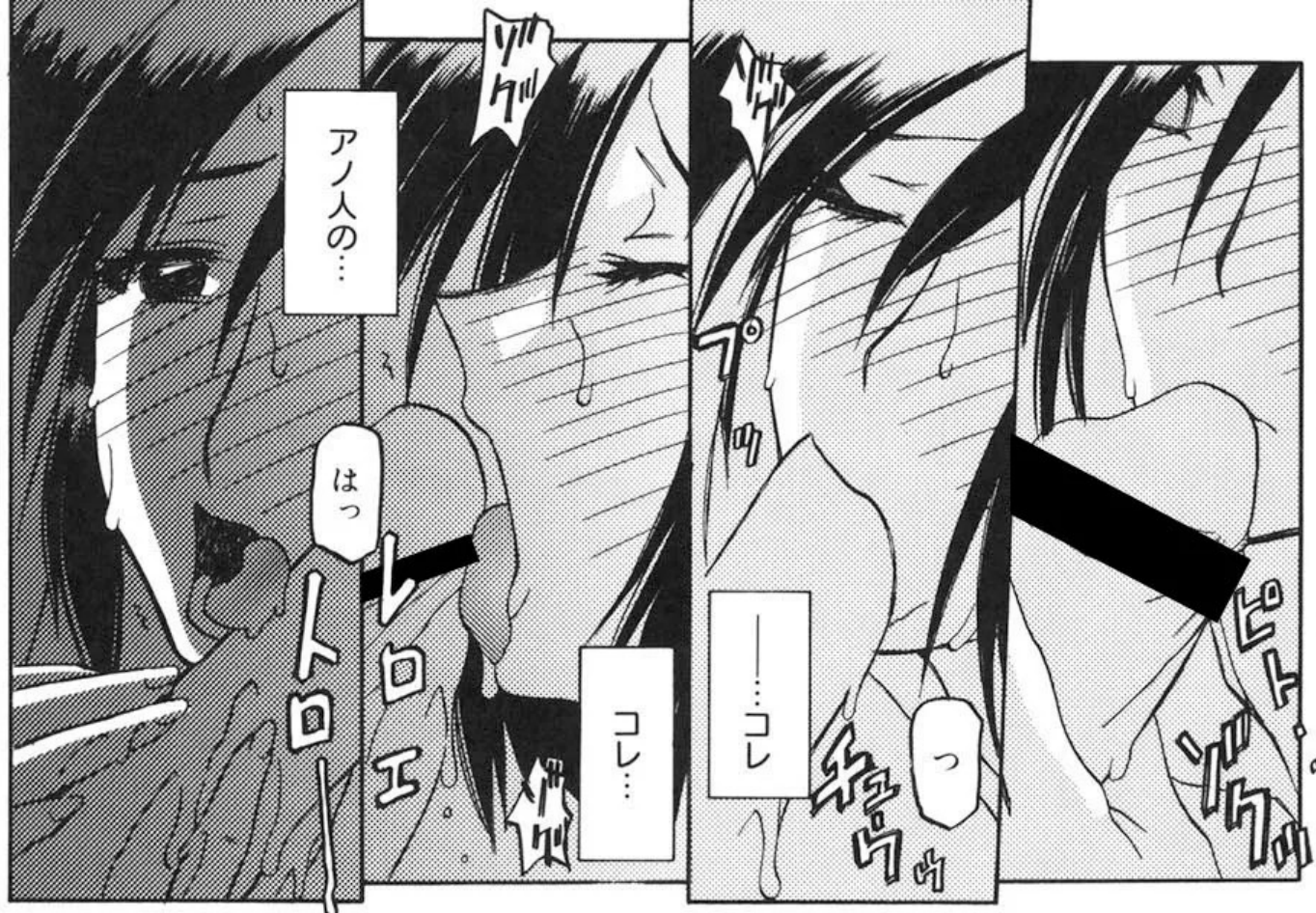
2人でやっと
手に入れた…

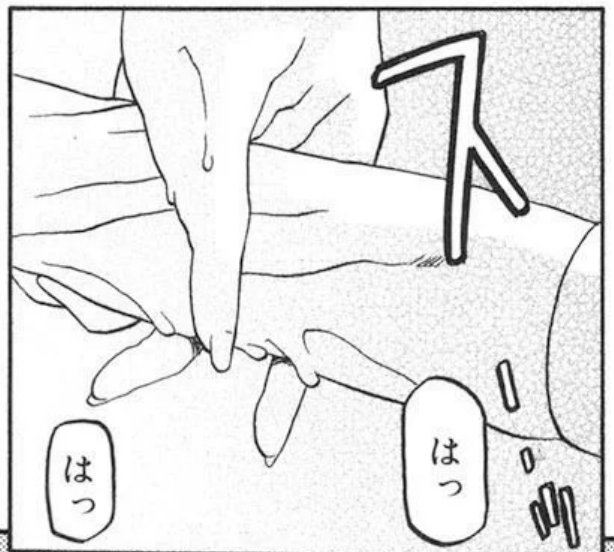
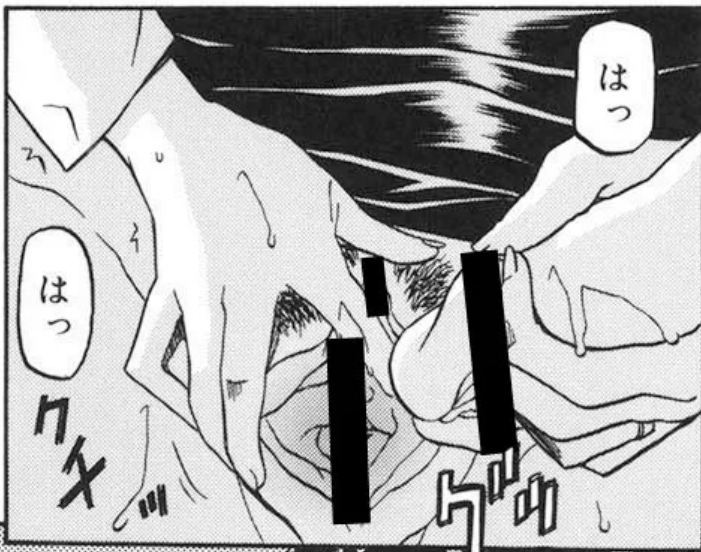
雅一さん
のお城で…



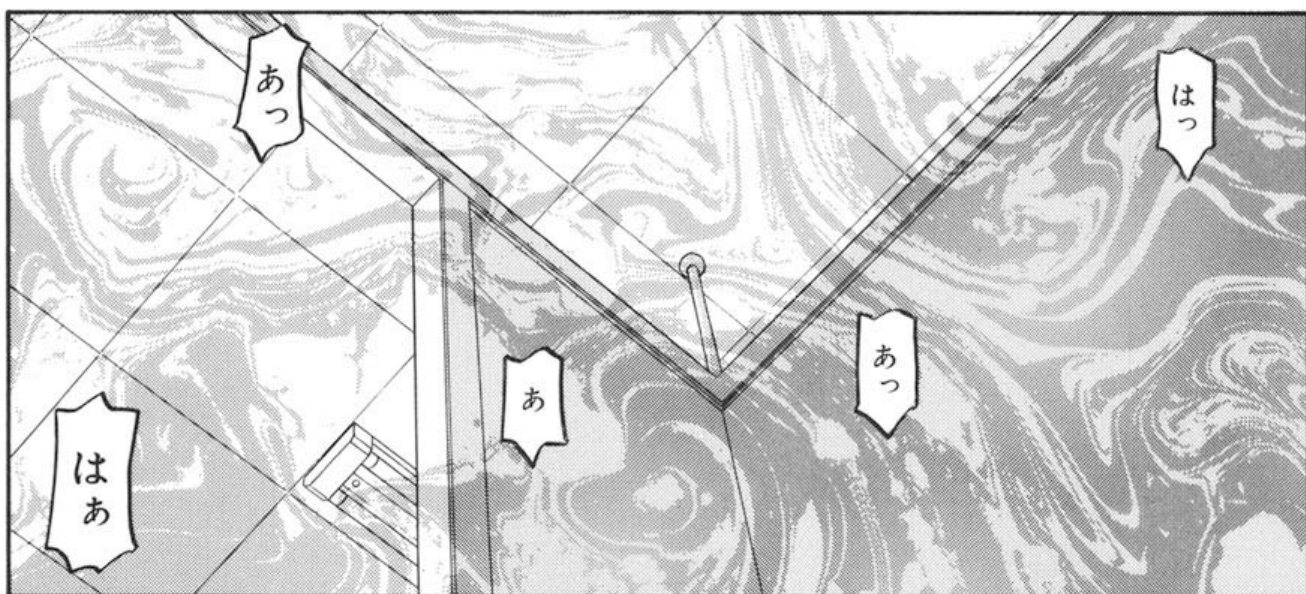
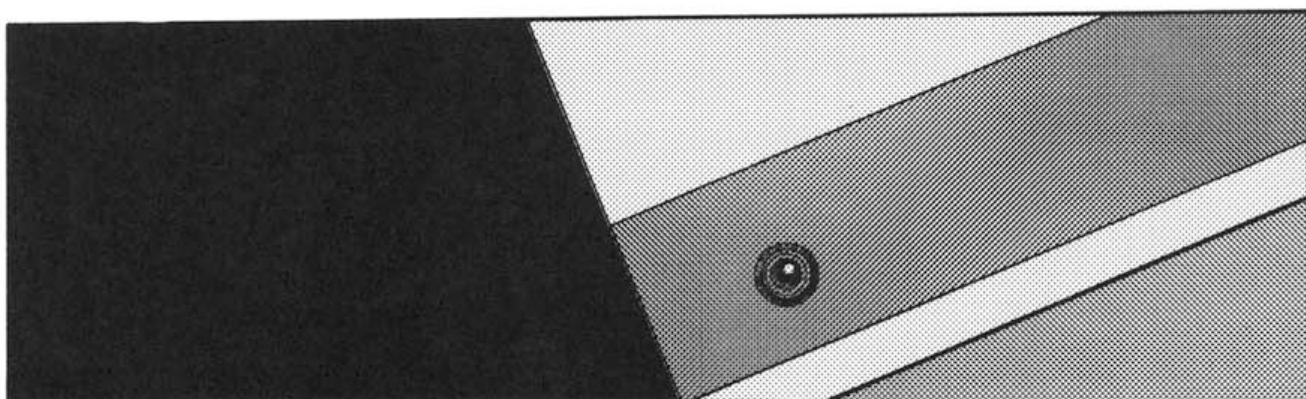
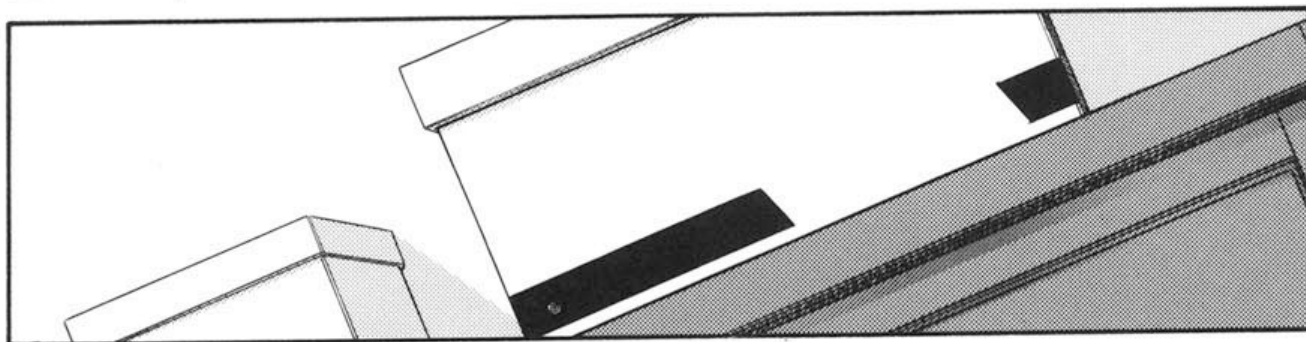
お店なのよ…

仕事中に…













知
つ
て
る
ん
で
す
よ
俺……

理沙さんが
あの西脇って
帝王の男と



ふ……不倫
してるの……

……!!



や……
ち……
ちがうっ

ちがうの
ソレ……

私……
脅されて……!

何が違うん
ですか!



自分から悦んで
抱かれてる
クセに……

悦んで
なんか……

あっ

私……はっ



違うもんかっ

今だって
そんな物
贈られて

悦んですぐ
つつこんでた
じゃないか!

それ……
は……っ!



あっ







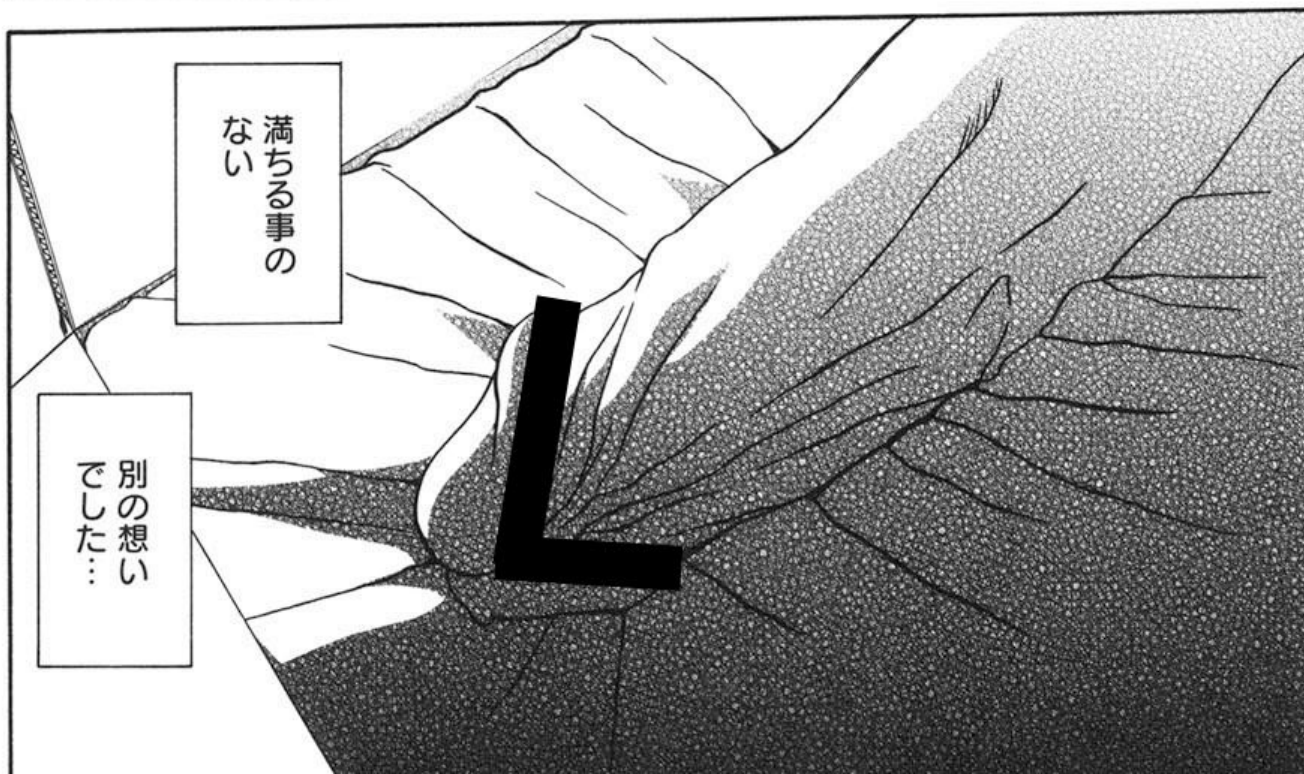


—…その時
私の心に去来
したのは…

後悔とも
罪悪感とも
違う…



じゅ…
じゅ…



満ちる事
ない

別の想
い
でした…

蒼月の季節

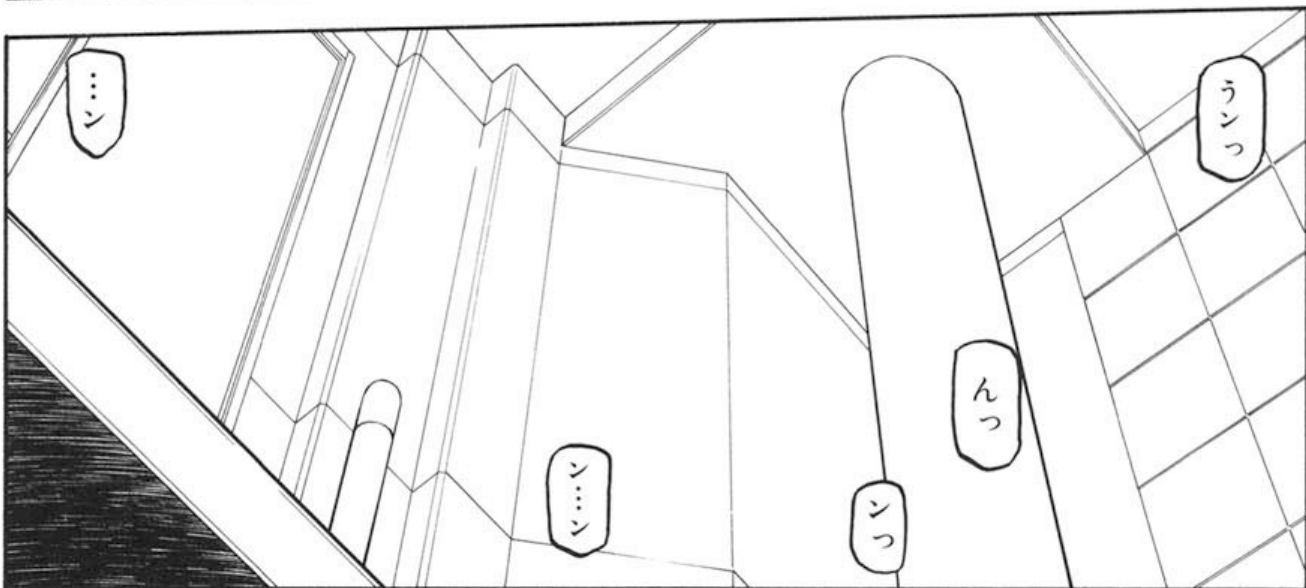
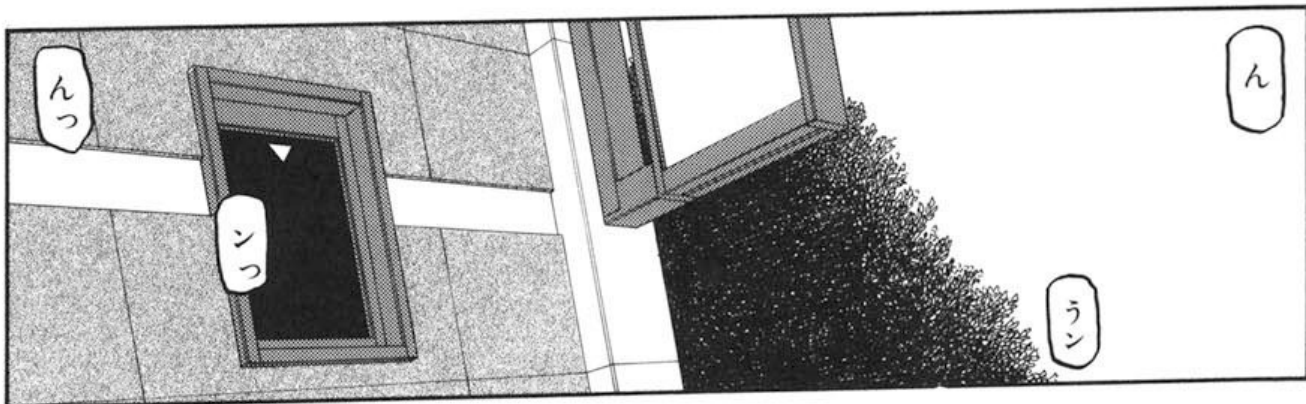
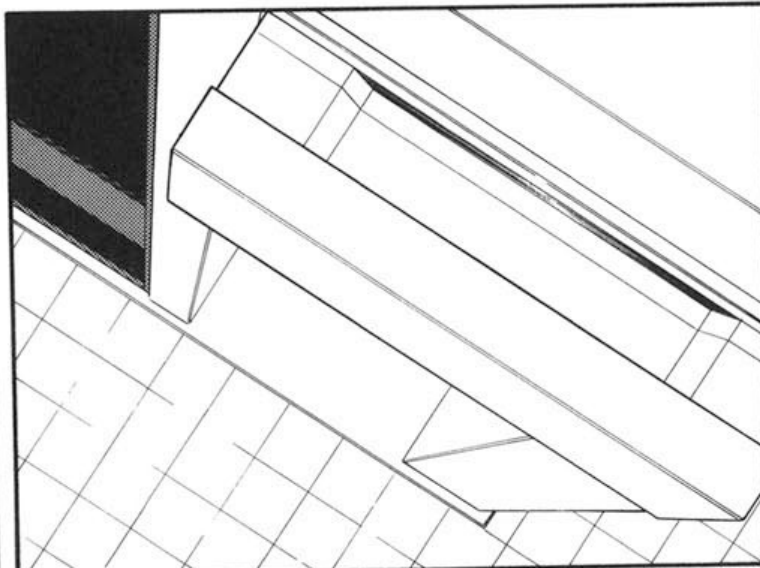
KISETSU
SOUGETSUNO

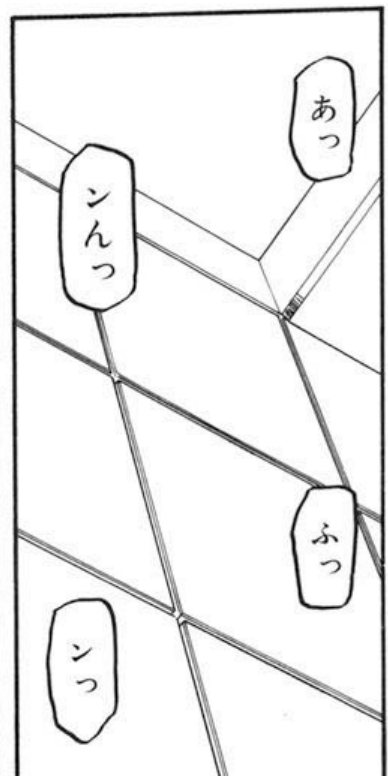
第9話





一流……







いやらしい肢体に
なったものだな……

…… まったく……



腰の方は
自ら牡を
迎え入れようと
ばかりに
突き出しおって

拒絶の素振りなど
見せながらどうだ

膣の奥底まで
トロけておるぞ
……？

この好きモノが
……！



なんと淫らで
浅ましい
牝なんだお前は

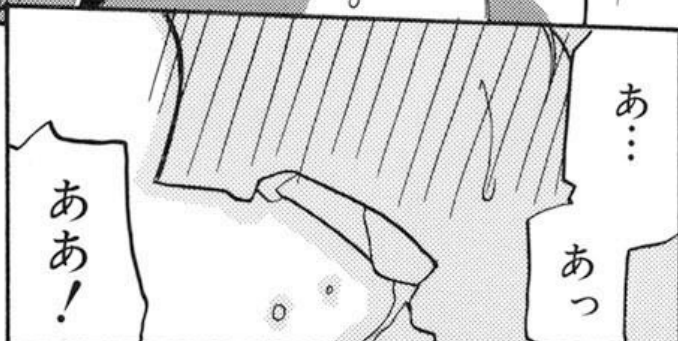
はっ

あアッ



亭主よりも
儂を好いて
おるのだろうが
……！

あ……あア
ああ！！







これじゃ…
もう…私…

あっ

ああ



あっ

んあ

あ



は…

…あ

ん…



プルルルル



プルルルル



あっ

私…！

あ

は

クキッ

クキッ



…え

—…豪舟
…さまが…



明日…
お会いしたいと

…ええ

会社の方で
…



ええ…
そうです

西脇様から
…



会う—
…

会える—
…



あの人に
…

また—
…





君と一緒に育てて
いく事が夢
なんだ…



俺の夢は
君と二人で
この店を大きく
していく事だ



ああ…

なんて…
愚かなんだろう
……

ああ…
私…



愛してるよ

理沙…



こんなにも
愛しているのに
……

こんなにも
愛しいのに
……

雅一さんを…
彼を裏切る
なんて…

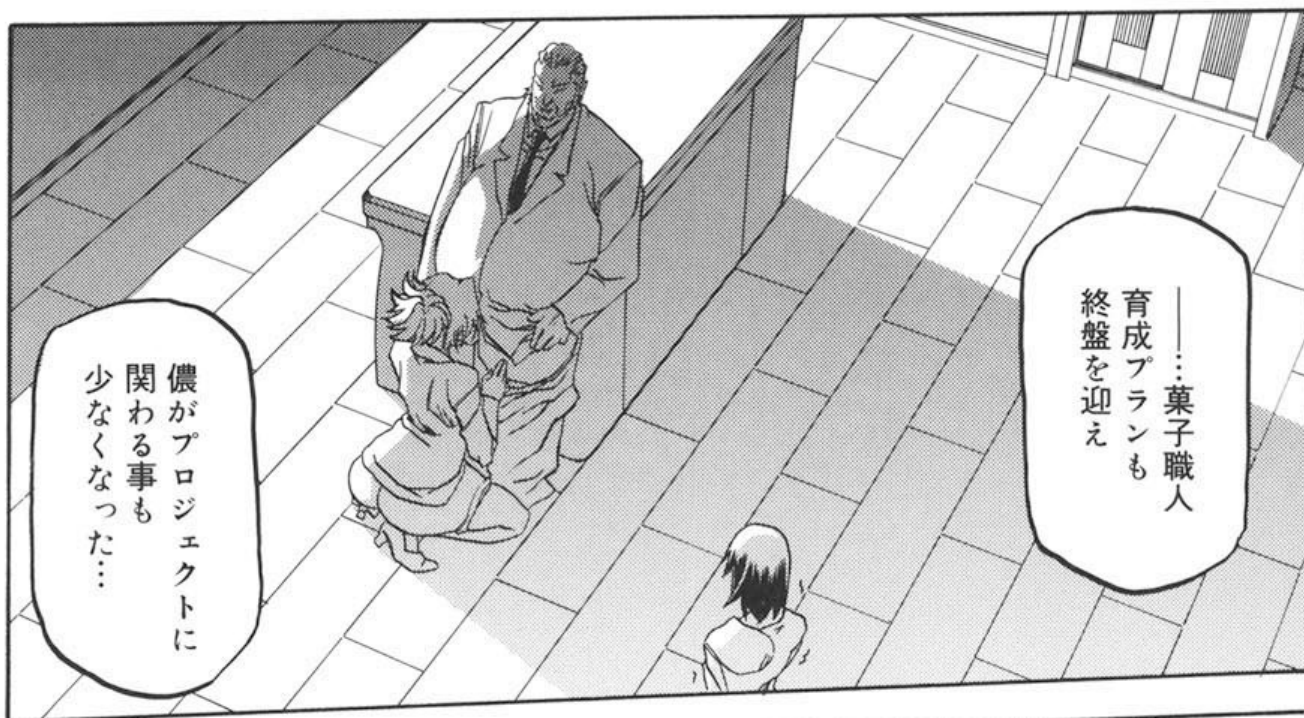
どうかして
いたんだろう…

一時でもこの想いを
忘れていたなんて
……











~~~~~  
今までの献身への  
褒美といった所だ  
……



夫の事はもう  
心配せずとも  
よい

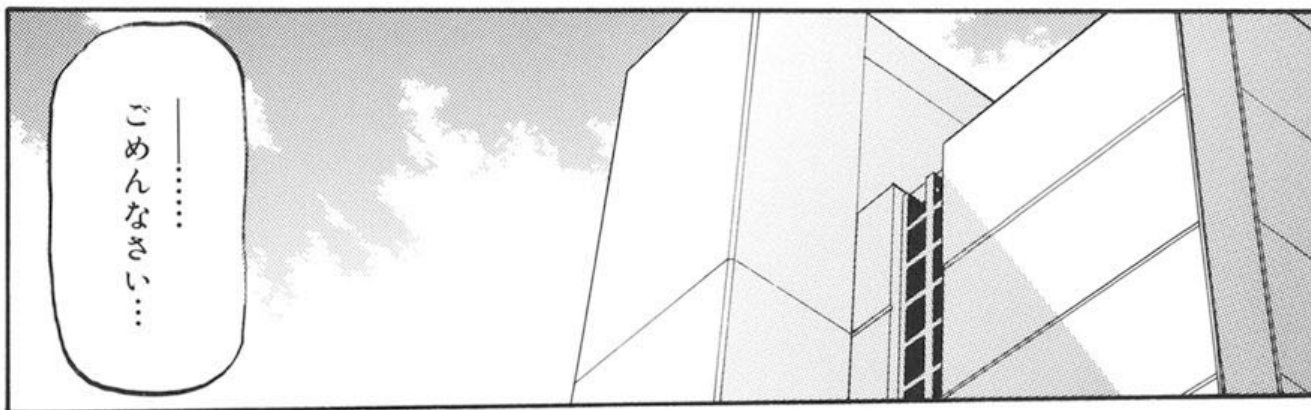
お前との契約抜きに  
正式に我がグループの  
職人と認める  
事にした……



理沙……  
お前との契約だけを

白紙に戻して  
やろう……





# 蒼月の季節

KISETSU  
SOUGETSUNO

## 第10話

あの人に  
抱かれた時とじゃ  
……

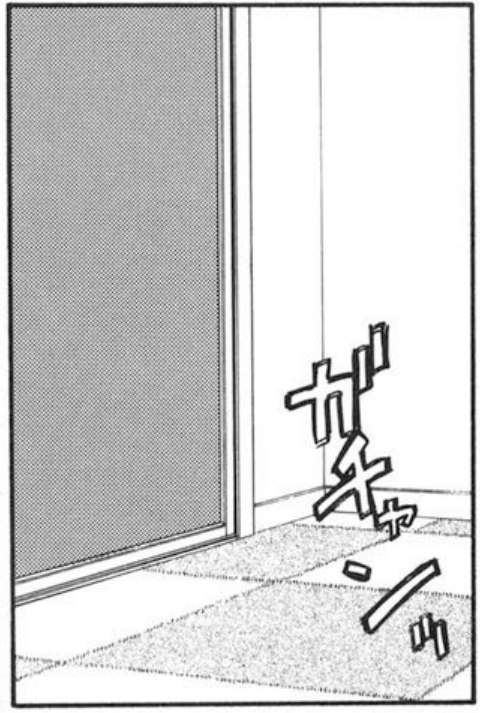
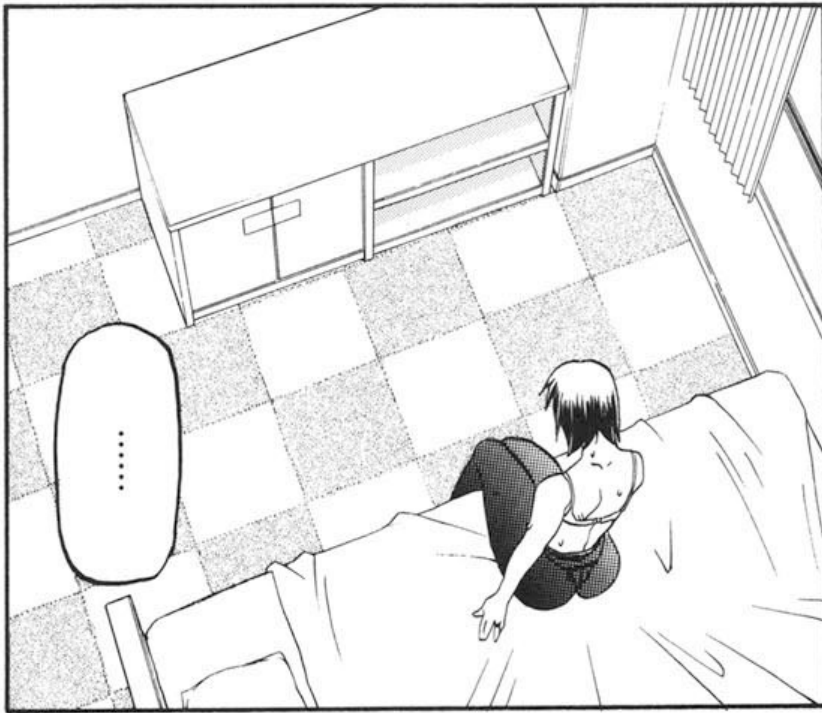
比べものに  
ならないの……

体中……  
たくさん  
愛された……

オマニコも……  
アナルも……  
両方感じるの  
……







ヒドイ女…

最低の女  
……



これでいい…



谷崎くん…

いい人を見つけてね…



でも…だから  
忘れて欲しい  
……

これで……





約束の物だ  
……

ま……  
賭けに負けても  
金が入る……

どのみち俺は  
損ナシだよ

早く忘れろ

お前の  
ためだ……

言われなくても  
そうするサ

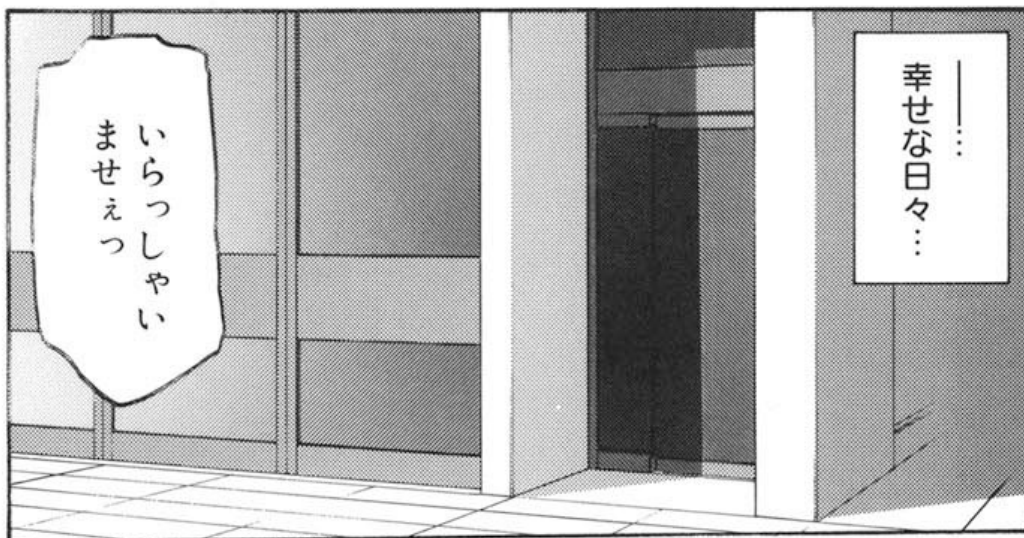
あ……

……  
さよなら……

理沙さん……

これで全部  
おしまいだ……





夫のこれからの事は  
心配はせずとも  
よい……

今までの献身への  
褒美といった所だ  
……

はあ

はあ

はあ

はあ

お前との  
契約だけを

白紙に戻して  
やろう……

はあ

はあっ

はあ

はっ

はあ

はあ





…いや  
…っ



い…  
や…



は  
っ

私…の



へあ

私…



ん

こっ…は



は  
っ

こっ…

は  
っ

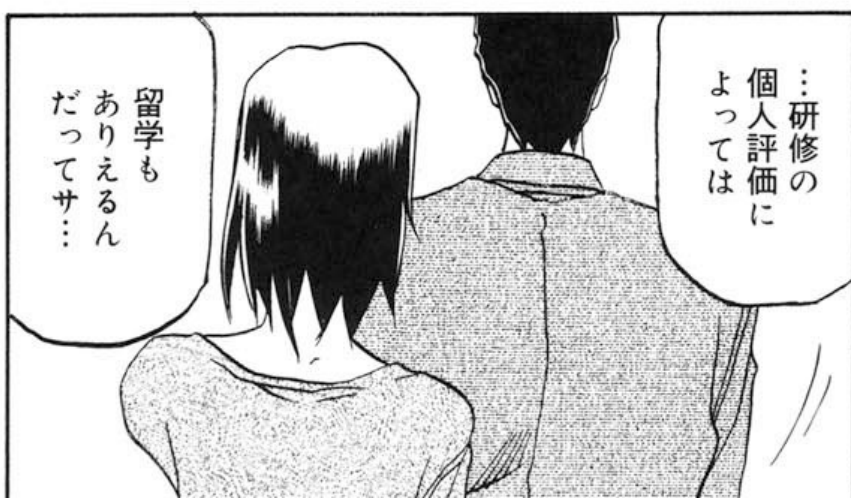


はあ

はあ

はっ

…





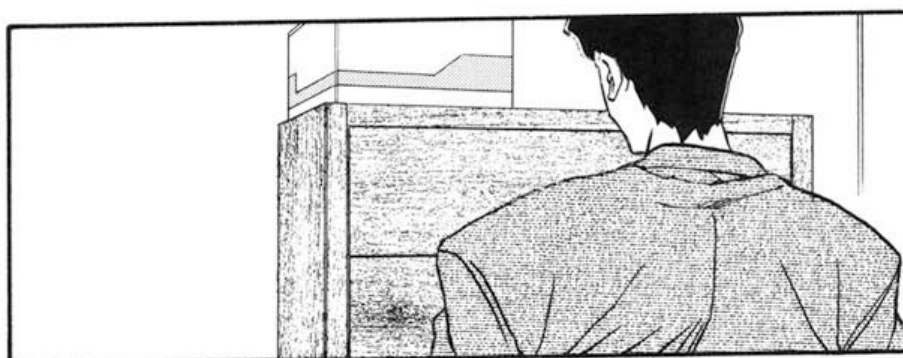


マリアージュ・ミュロでの  
本格的な修業  
……

講師をしてくれた  
フェリツチ氏の  
フランスの菓子店  
パティスリー



……  
留…学…？



名店へのキップが  
もらえるって  
……

パティスリエ  
菓子職人には  
あこがれの…



……

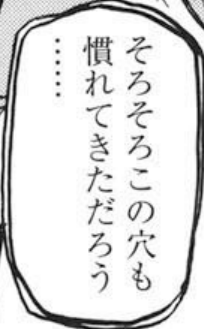
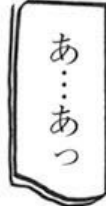
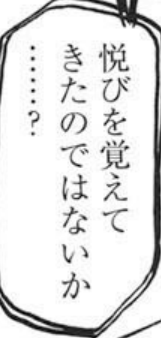
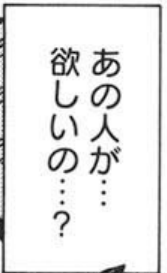
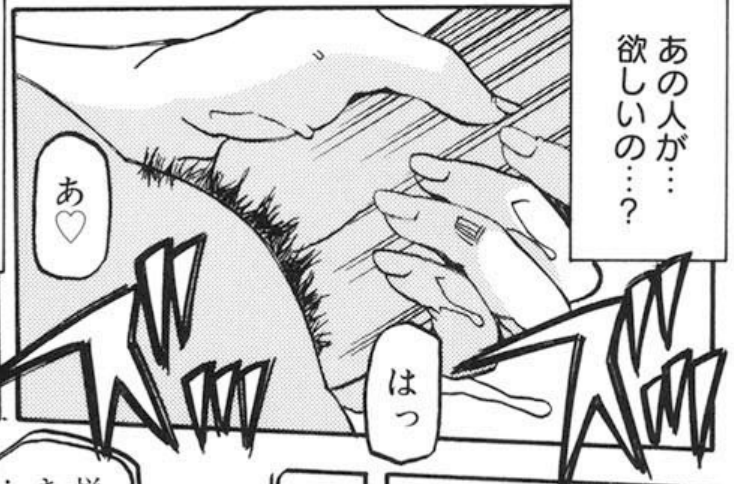


あっ

はあっ

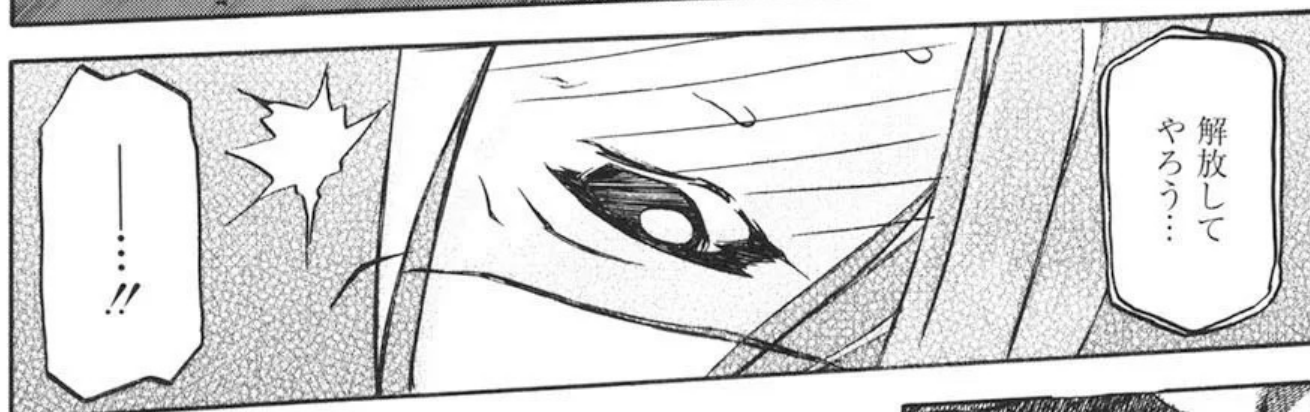
あっ

あっ



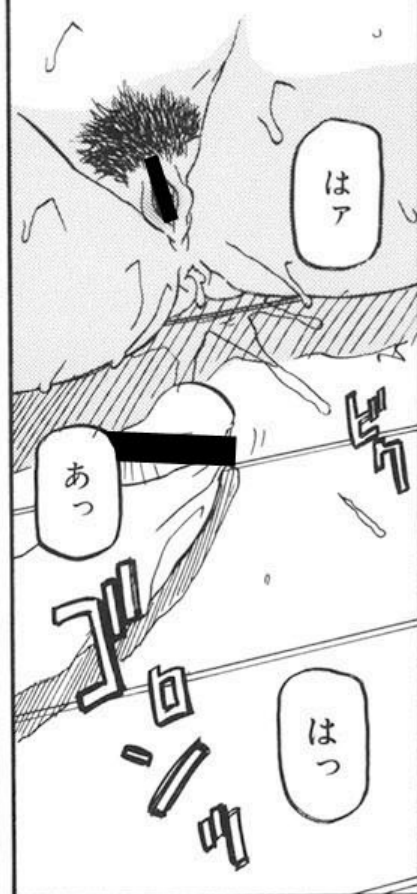
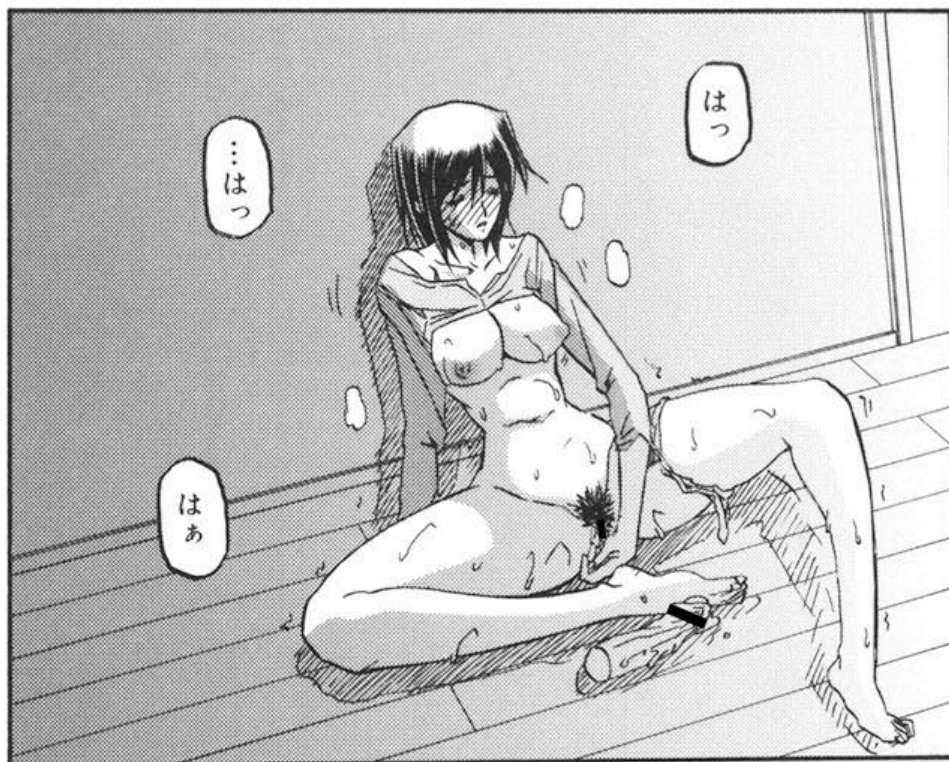




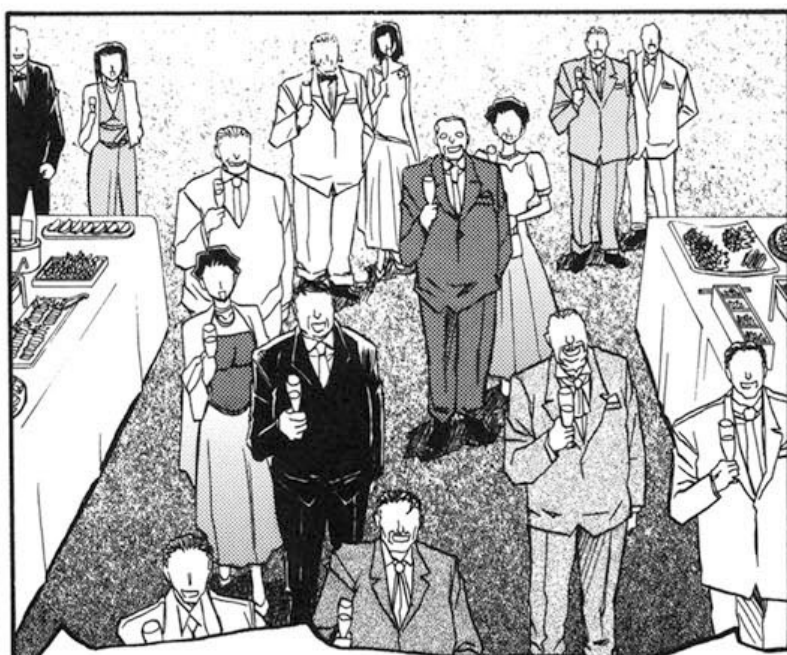
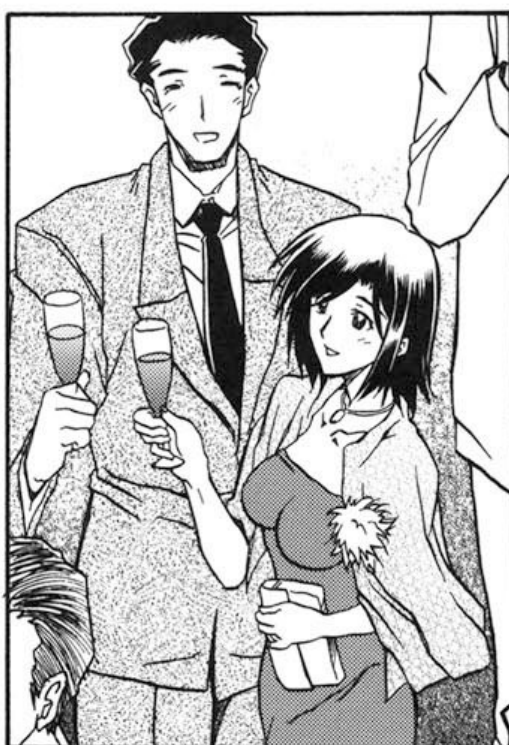
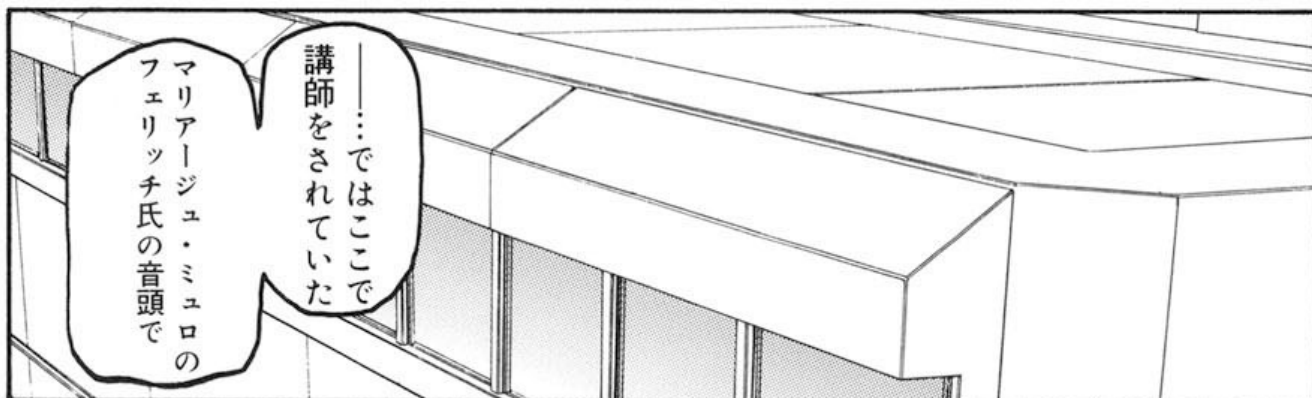










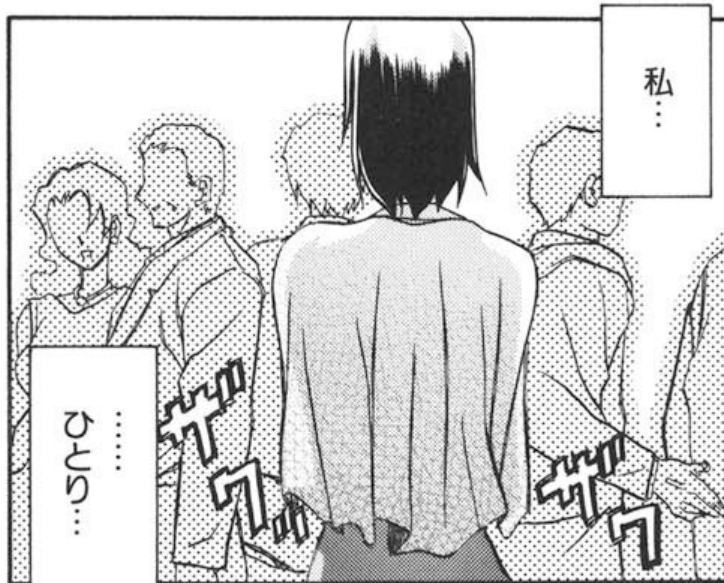
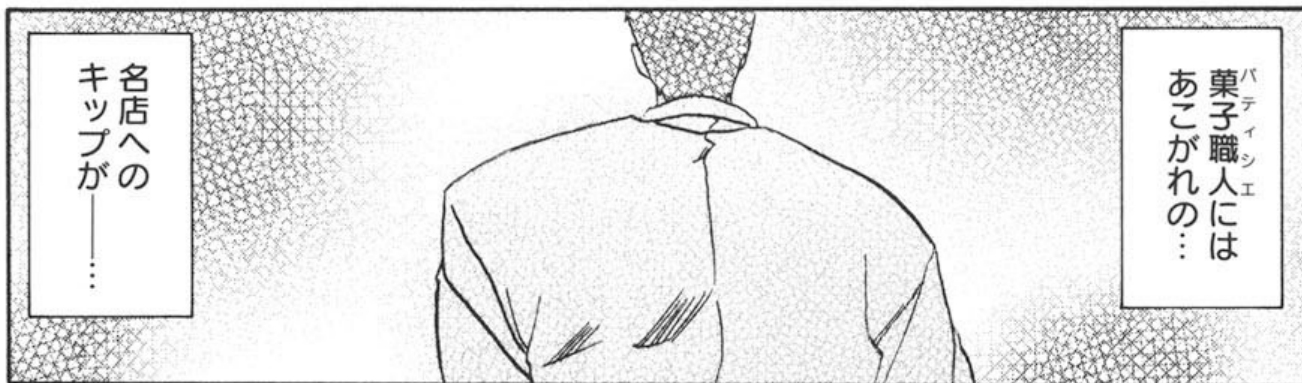


**A Votre sante!**







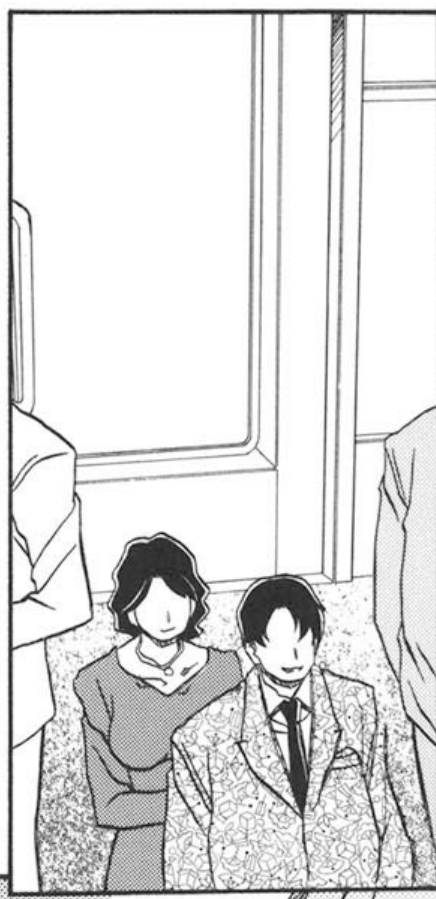
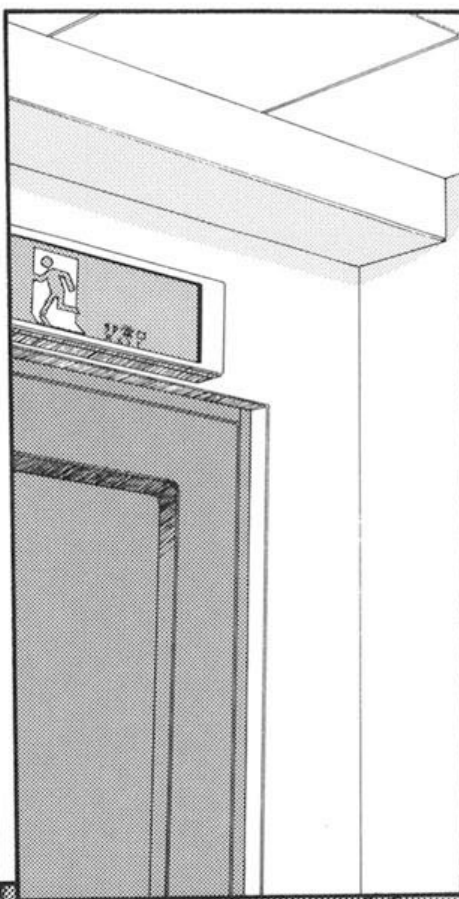
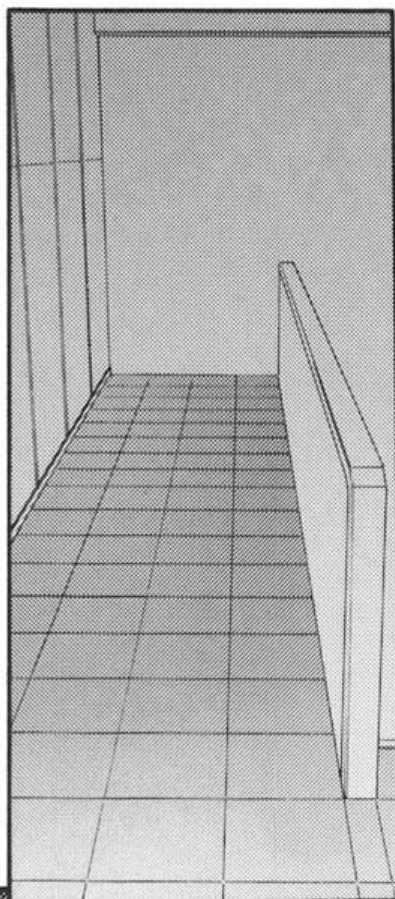














あ……ああ



あ……



ど……どう……  
して……

なぜ……  
今……頃……っ



あの女性<sup>ひと</sup>は  
……

あなたは  
新しい女性<sup>ひと</sup>を  
……！



責めて  
いるのか？  
わしを……

あれほど  
逃げたかった……  
忘れたい  
このわしを……



……あ

……！



安心しろ…  
あれはあの日の  
老人達の女だ…

…安心

わたし…

理沙…  
お前にわしが  
必要のように

わしにもお前が  
必要なのだ…

…必  
要…

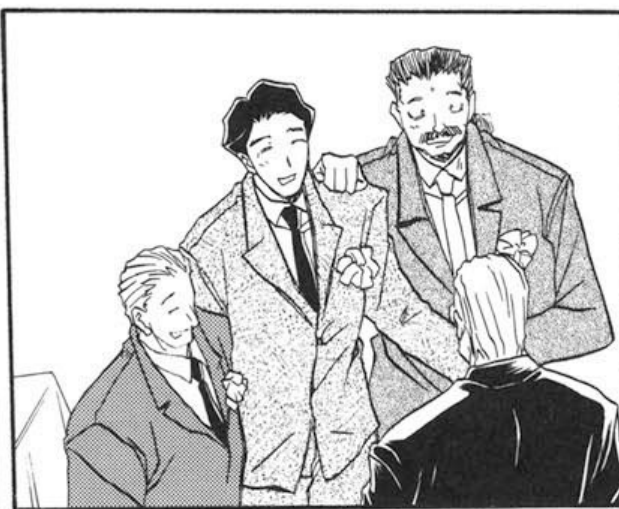
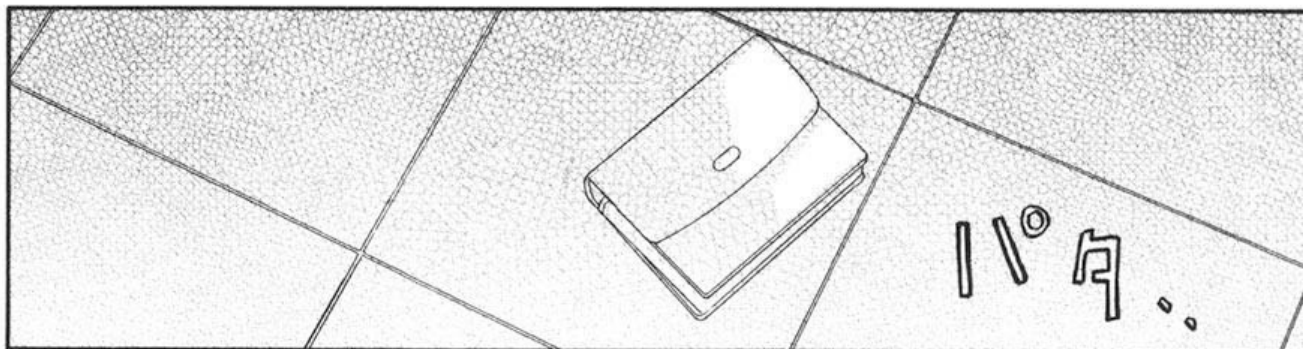
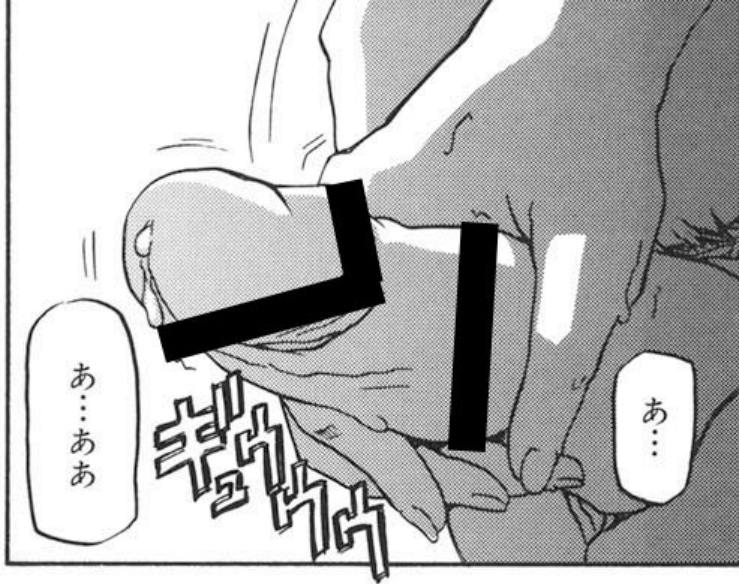
足りないのかを  
……

もうお前にも  
わかってる  
ハズだ…

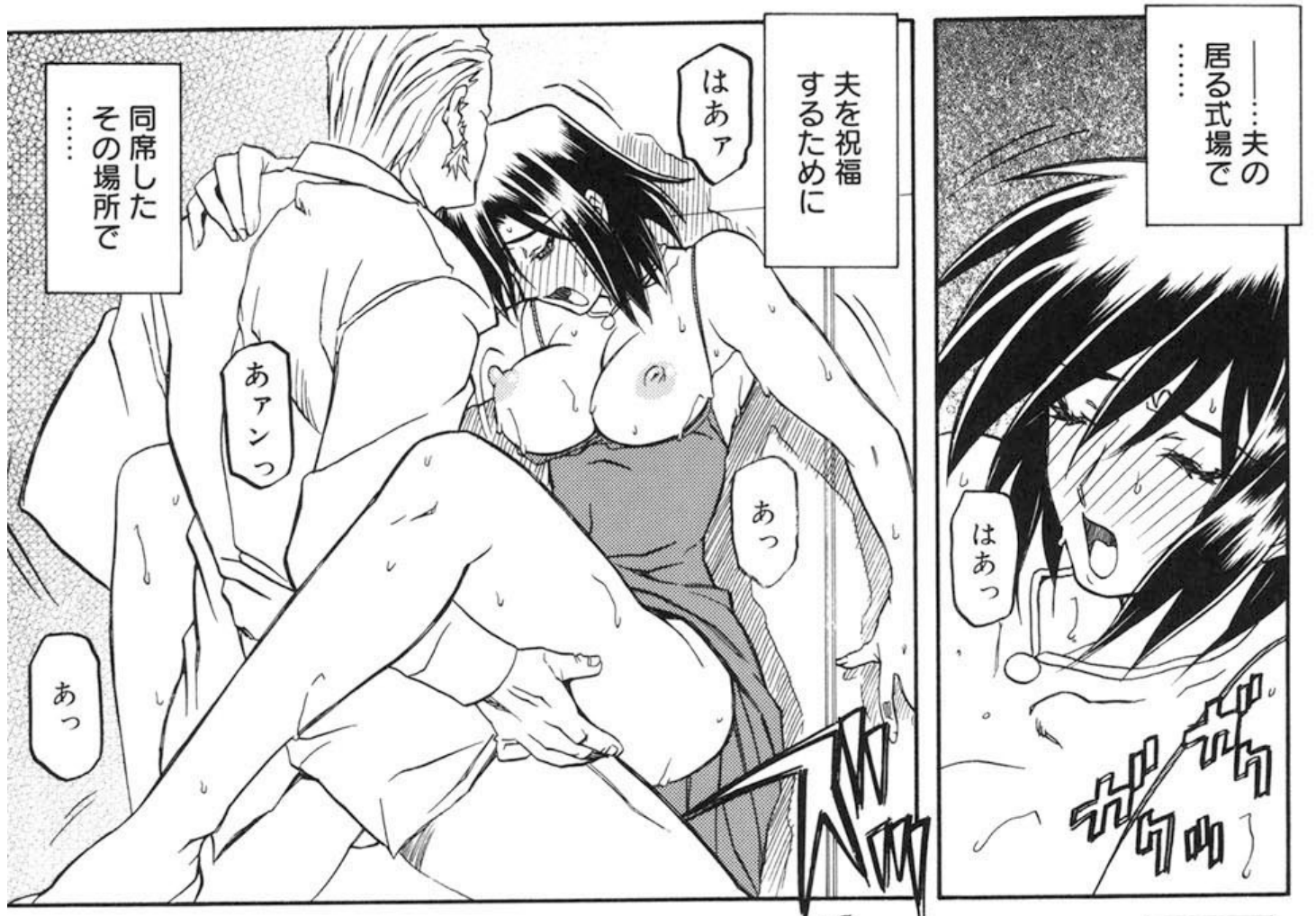
あっ

お前に何が  
必要かを…















お前は  
とっくの昔に

身も心もわしのモノに  
なっておったのだよ

あ…ああア♡

バクバク

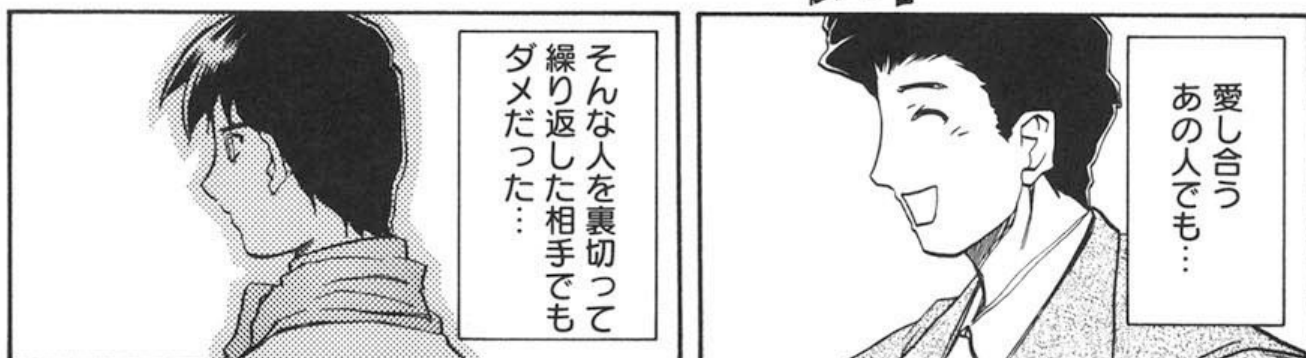


そ…そう…  
なの…?

わた…し  
とっくに…っ

バクバク

バクバク



愛し合う  
あの人でも…

そんな人を裏切って  
繰り返した相手でも  
ダメだった…



満足…

できなかった  
……



コレ…  
なの…っ

あなたア…!



わたし…

これえ…っ



コレを  
知ってから…っ

はあっ

はあア!

この男性に  
抱かれて  
しまつてから…!

あっ  
♡

あ  
♡

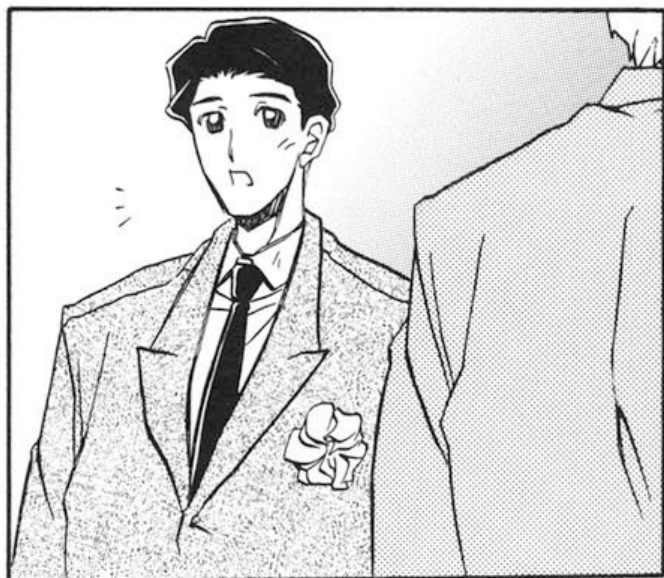


これがないと  
……っ

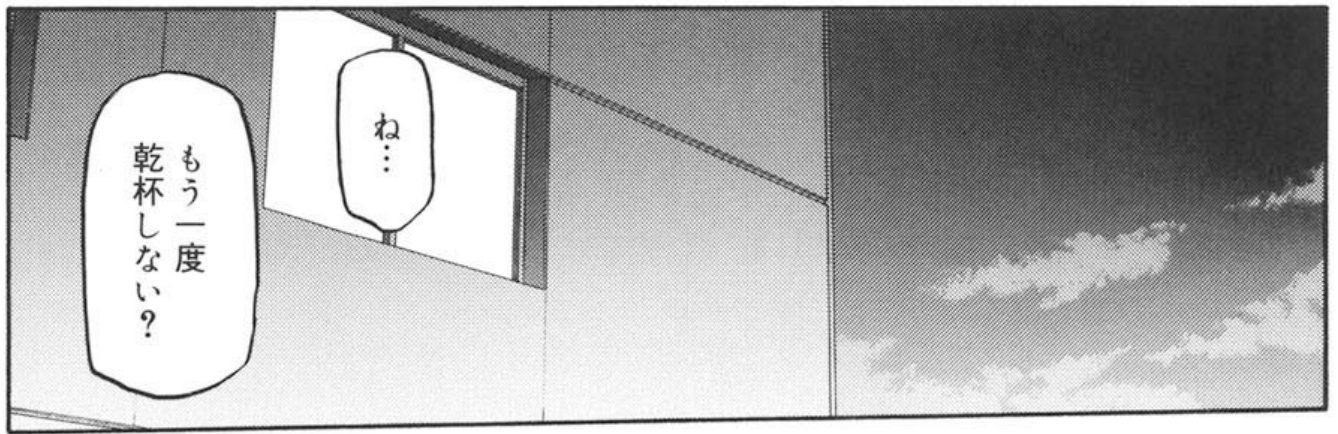
もう…  
生きていけない!!











もう一度  
乾杯しない？

ね…



2人の…  
だろ？



あなたの  
未来に…

じゃあ…  
研修の無事  
終了に…



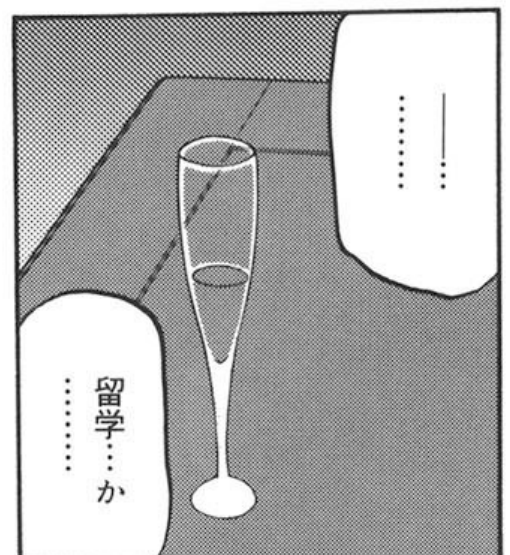
……  
そうね…



……  
選ばれた…

私が…？

ああ  
そうだ



……  
……

……  
留学…か





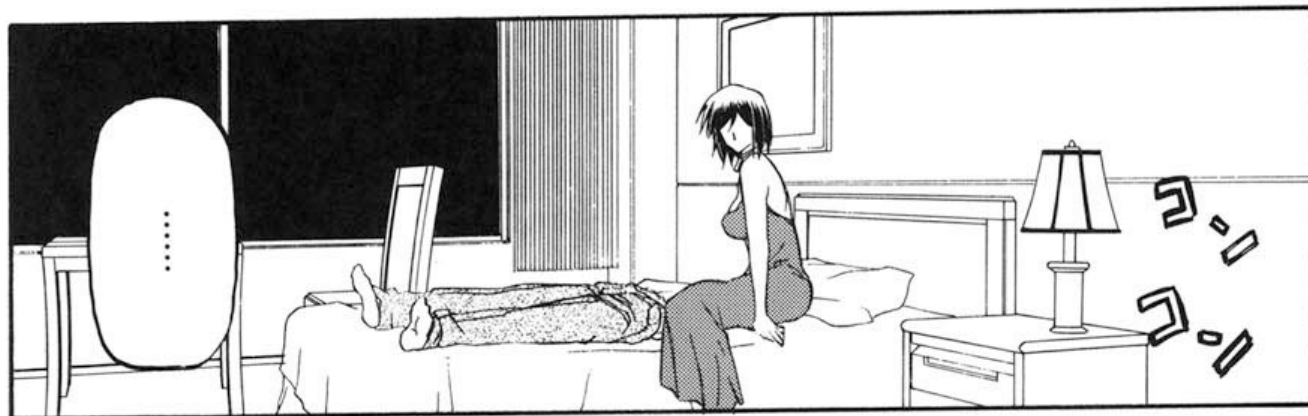
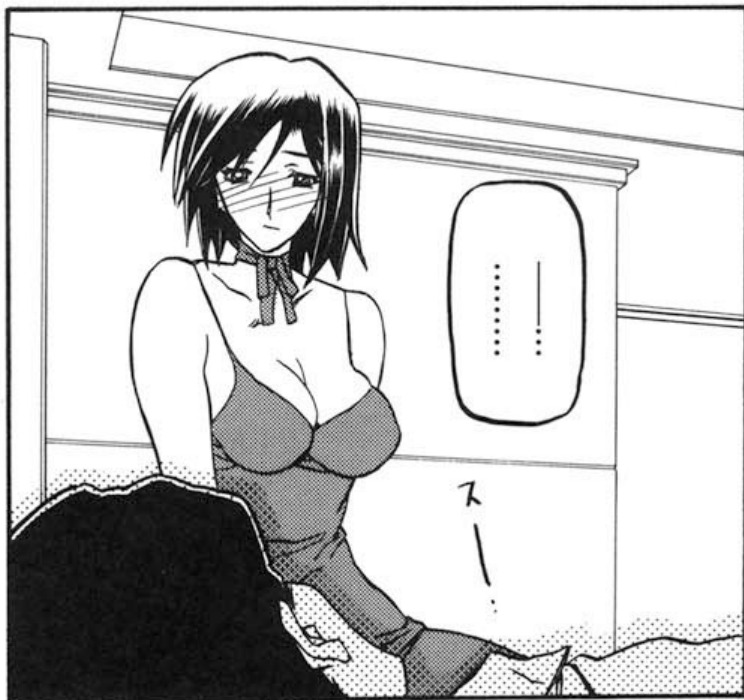
# 蒼月の季節

KISETSU  
SOUGETSUNO

## 第12話



……私……  
しあわせよ  
……









選ばれた夫は  
海外に…

お前は僕との  
新しい生活を  
始める…

今まで通り  
何も変わらん…



…変わらん  
が

すぐに…



すでに身も心も  
牝の性奴となった  
お前は—

夫への愛も  
完全に失って  
しまっただろうがな  
………



心配するな…  
亭主の飲んだ薬は  
医療用の強力な  
睡眠薬だ…

何をされようと  
目は醒めんよ  
………



…では  
約束通り

お前の  
服従の誓い  
見せて  
もらうと  
するか…





そう…  
何をされようと  
……なア…



……あ  
な…

……た

はっ

はっ

はっ



あなたに  
ずっと前から  
……

言えなかった  
事があるの…



あなた…  
き聞こえる…?

……私

……私  
……ね



私…

私…ホントは  
もうずっと前  
から…



あなた以外の  
男性と…

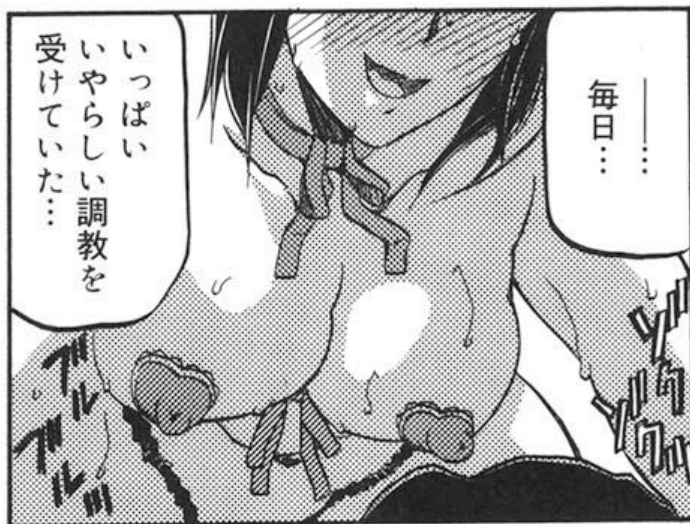
セックスを…  
楽しんでいたの  
……♡



…あなたが  
毎日…

なんにも知らずに  
お仕事している  
間に……

あ……あ……私……  
なんて事……っ



……  
毎日……

いっぱい  
いやらしい調教を  
受けていた……



笑って  
出かけた……

……  
すぐ後に



……けど  
……御主人様に  
出会って……  
たくさん苛めて  
頂いて……



で……でも……  
愛してるって  
思えてたから  
満たされてた  
……あの頃は……



あ……あまり  
か……感じなかったの  
……っ

ダメ……え……

……本当は  
私……あなたの  
では……





イカせて  
下さるのお...!!

イカせて...っ

太くて...  
たくましくって  
...っ

いっぱい...  
いっぱいオマ...っ  
...オマンコ...っ



...わかったの  
...っ

ダメえ...  
言っちゃ  
ダメえ...っ!



あの男性  
のは...

あなたとは  
くらべものに  
ならないって...



ああア  
...あ♡

あ...  
あ...  
っ



ズボズボして  
頂かないと  
いられないの...っ

毎日...御主人様の  
太いので...っ

オ...オマンコが  
大好きで...っ

あな...たあっ  
わ...私の  
肢体...今  
とっても...  
いやらしいのっ

ああああ  
豪舟様あ  
……っ！

理沙は……っ  
理沙は御主人様  
だけのものです  
……っ！

カッカッ

御主人様だけに  
……っ

身も心も  
捧げた  
牝犬ですっ！

理沙の  
すべては……っ

御主人様の  
所有物ですう  
……っ！！

クックック  
……

お前は僕の女  
なのだな……  
理沙……

ハ……ハイツ 私は  
真壁理沙は  
御主人様の虜  
ですっ

この哀れな  
亭主より

今ではこの僕を  
愛していると  
云うのだな？







ハ♡

ずっと…  
豪舟様…っ

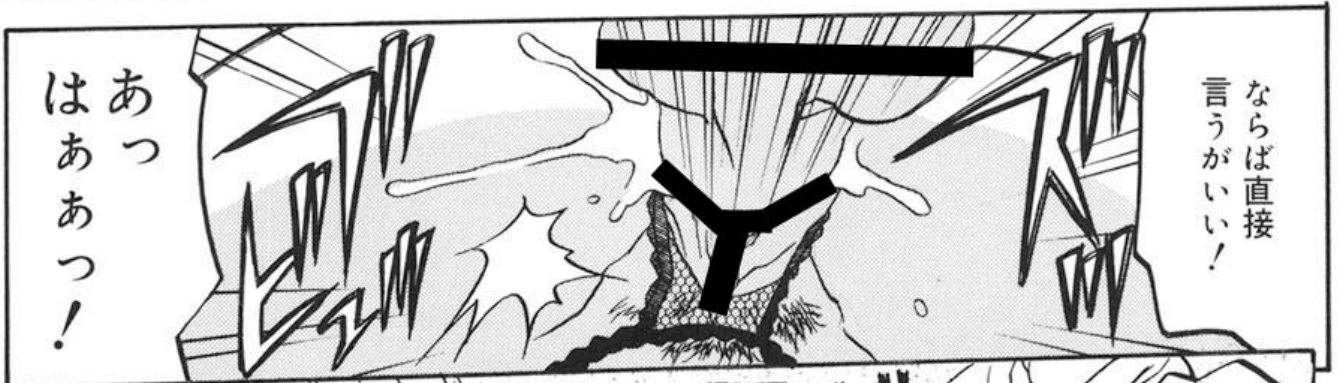
——…夫…  
より…も…

ハッ



——…  
…ハイっ

愛して…  
いま…す



ならば直接  
言うがいい！

あっ  
はああっ！



お前の素直な  
心情を…っ

あはッ

隠してきた  
本心を…！

あっ  
豪舟様っ

あはあア  
豪舟様あ！



あっ  
あア！

あな…たっ

あなたっ  
聞こえた！



私…  
わたしい…

…今は…  
御主人様を  
…っ

愛して  
いるのお…っ！

あっ



もう…あなた  
…よりも…っ  
御主人様の方が  
…っ

ずっと…ずうっと  
大切…なの…っ

い…  
愛しいのお  
…♡

もう…私っ  
御主人様以外  
愛せない…っ

御主人様に  
沢山愛して  
頂いて…っ

私…  
変わったの  
…っ！



ああああ  
ご…御主人様あ  
…っ！

理沙はア

ハッ

ハッ

もう御主人様が  
いないと…っ  
生きていけませんッ！

も…

ああああ  
…ダメっ

わたし…っ  
もおう…っ！

欲しいのか

ならば  
しっかり亭主に  
断っておけい！





お…  
オマンコ…  
捧げてるの…っ

あなた…わっ  
私…今  
御主人様に…っ

…あ…  
あな…た…っ



あなたの…  
なんて…っ  
くらべモノに  
ならないくらいっ

か…  
カタくてっ

太くて…っ  
たくましいのっ

お奥まで  
気持ち…いいのお♡



…わっ  
私…これから…っ

あなたの精液は  
…っ



もう一滴だって  
注がせたりは  
しないわ…っ



御主人様の  
強い精子を  
オマンコに…っ

し…子宮に  
注いで頂くわ  
…♡

だって…  
だって私の  
オマンコ…はっ  
もうずっと  
前から豪舟様  
専用で…っ



あなたが挿入  
していい場所じゃ

なくなっていたん  
ですもの…っ♡



だから…  
ああんっ

あなた…っ  
見て…っ！

私が…  
豪舟様に…っ

な…<sup>ナカ</sup>膣出しされて  
イクところ…っ！



あはあ  
豪舟様あ！

<sup>ナカ</sup>  
膣内にイ

豪舟様の  
熱くて強い  
オスの精液を  
……！

理沙の  
スケベな  
子宮にイ！



牝奴隷として  
…激しく…っっ

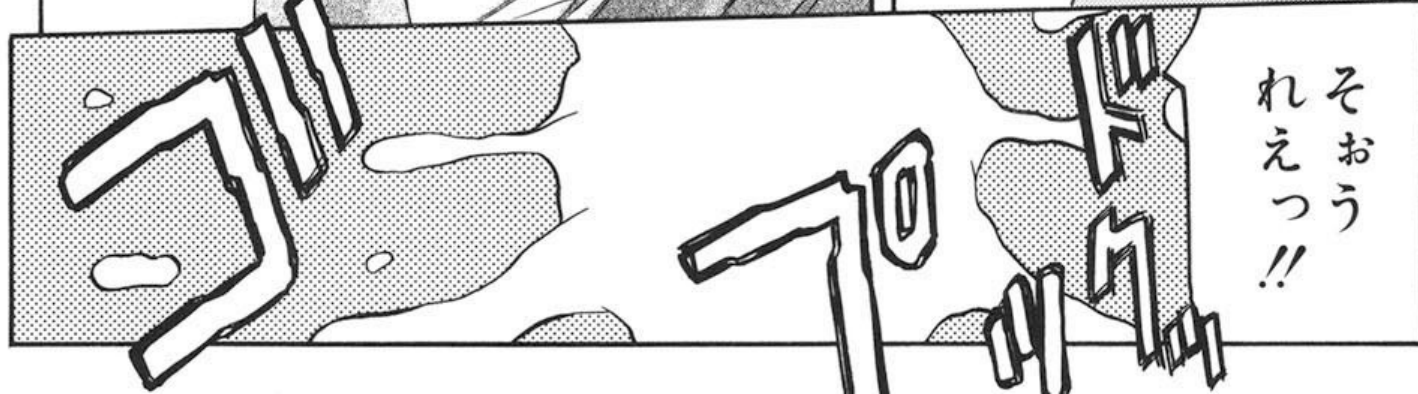
注がれて  
イっちやうトコ

見て…♡  
…見てえ！！



この人の  
目の前で  
理沙をイカせて  
……っ

とどめを刺して  
下さあい！！



そおう  
れえっ！！







しばし  
夫の胸で  
眠るがいい…

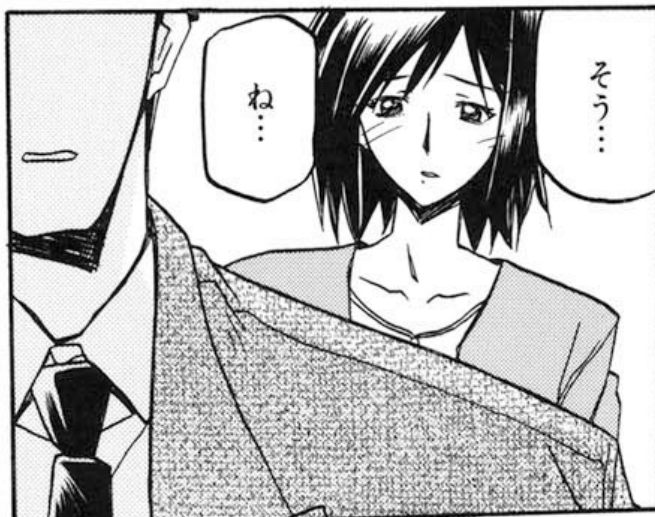
フフフフ  
……



恐らくは  
もう二度と  
得る事のない

最後の温もり  
だろうからなあ…







ああ：  
そうだ

どんなに  
離れてたって

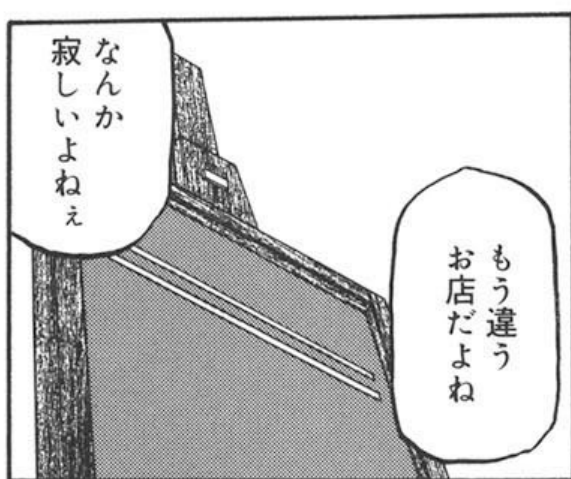
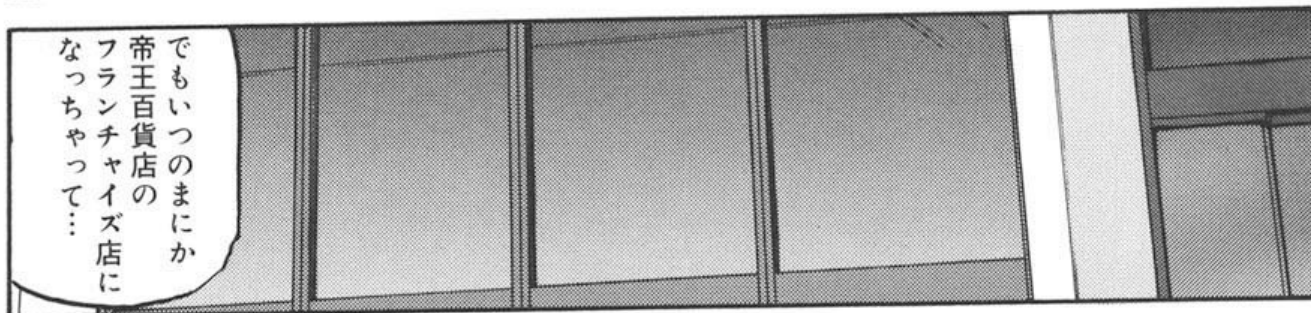
心はいつも  
一緒だから…



KISETSU  
**蒼月の季節**  
SOUGETSUNO

**最終話**











ずいぶんと  
磨きがかかった  
のお...っ

おお！

いい仕上がりだ  
.....

申し分  
ありませんなあ  
これは...っ

この方が...  
豪舟様が...

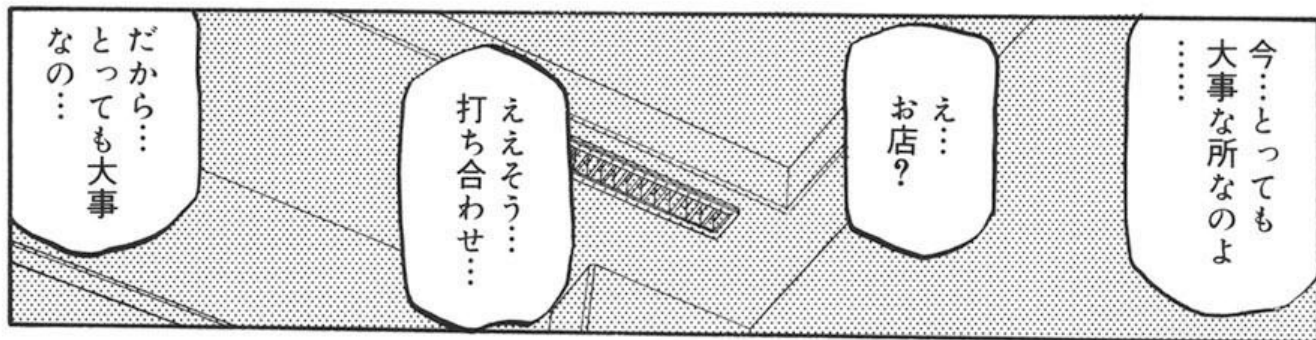
はっ

愛おしくて  
たまらない...

あっ

誰よりも  
.....

雅一<sup>夫</sup>さんよりも  
.....！









…でも  
そこに  
豪舟様が  
現れて…

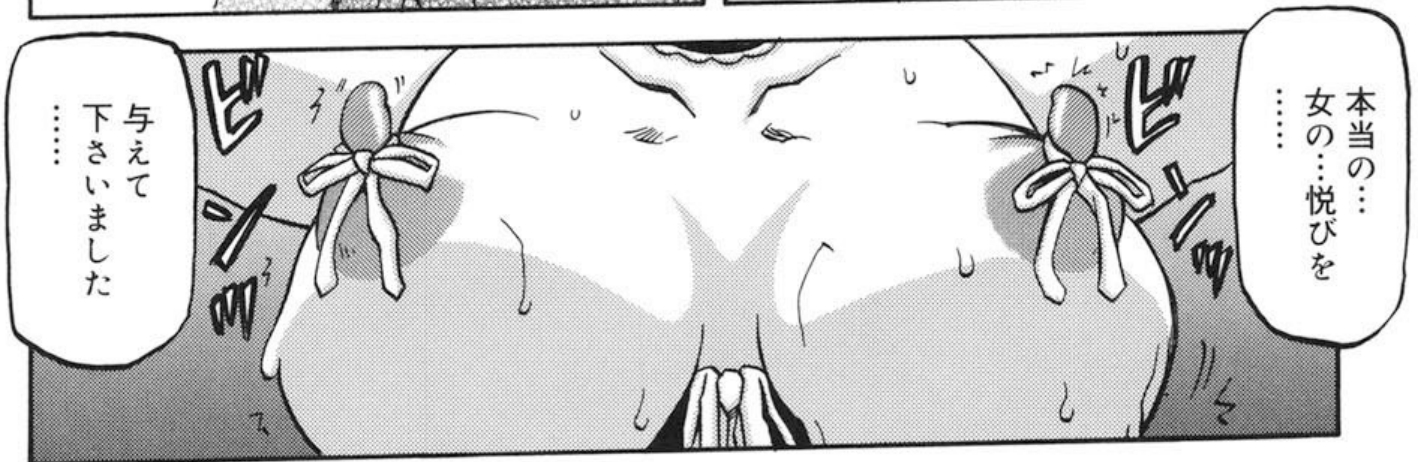
すべてを…  
変えてしまった  
…



夫との会話が  
…

あの小さな世界  
だけがすべてだと  
思いこんで…

それを幸せだと  
錯覚していたん  
です…



本当の…  
女の…悦びを  
…

与えて  
下さいました  
…



お店や…  
夫への操なんて  
…っ



—…お前は  
死ぬ程抵抗し  
…

儂を卑怯で  
汚い人間だと  
罵ったな

あ…  
ああっ

申し訳  
ありません  
…っ





どうかして  
いました…♡



そんな…っ  
「つまらない」事に  
固執していた…

分別つかない  
愚かな女  
でした…っ



あ…っ  
あ！

あはア♡

ああいっ  
豪舟様あ！



や…あひイ  
はあア

ごめんなさい  
…わ…私イっ

また  
イってっ

イって  
しまいますう！



もう夫の事なんて  
愛していません  
…っ

理沙は…  
豪舟様の女  
ですう！

あ…っ あんな人っ  
もう理沙にはなんの  
価値もない人間  
ですう！！

いいっ  
いいっ  
いですう

愛して  
います  
御主人様あ

あはあ  
御主人様ア♡

あ……っ  
あア!?

ガッ  
ガッ  
ガッ

あ♡  
あっうい!

あ……くら  
……っ!  
イ……っ!

イクっ

イクうう♡

ああああアあ……♡

——……もともと  
移動販売でこの  
帝王グループにまで  
売り込みに来る様な  
男だ……





それはいずれ  
大いなる野心へと  
変わるだろう…



あんな才気溢れた  
職人が手にする  
栄光と自信…



—  
だから…



君の才覚から  
来る身勝手な  
欲望も…



修行の終わりには  
プレゼントを  
贈ろう…

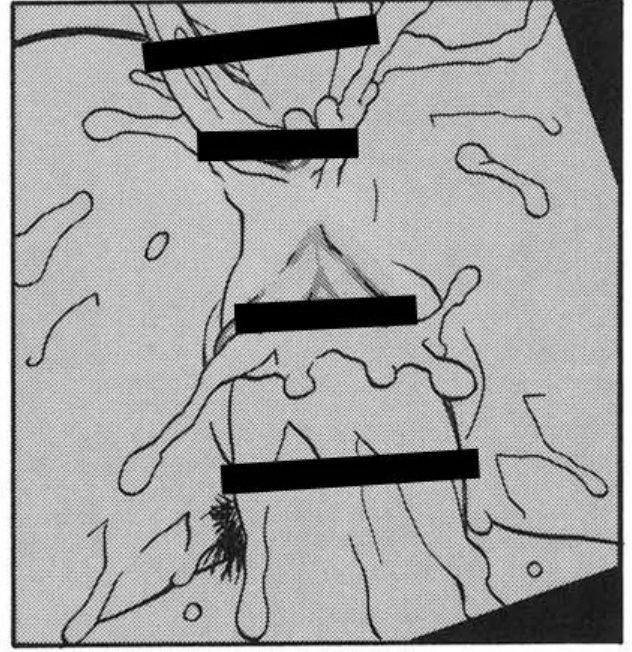
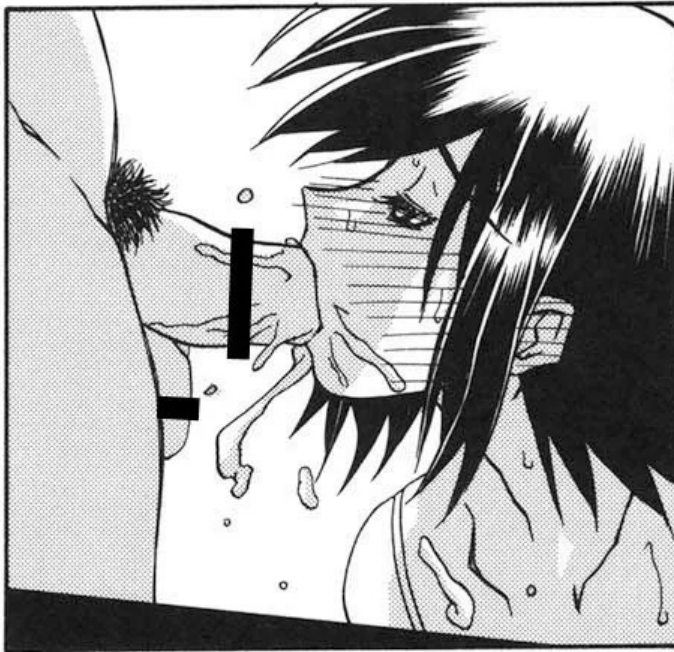


たちどころに  
自制できる  
贈り物だ…













ただ…  
君を救い

# 浮気調査報告書

受理沙

依頼された  
浮気現  
写真  
ある

店舗アルバイトであ  
谷崎良彦（23歳）以  
複数の交遊関係との  
常習的に

忠実であれば  
いいのだ…



手を差しのべる  
組織に…

—…理沙が  
失踪したのは

それから  
しばらく経った  
後だった…

愛が冷めた事…  
新しい愛に生きる事が  
描かれたその置き手紙  
には…

なんのためらいも  
後ろめたさも  
読み取る事は  
できなかった…

夫の成功のためと  
その身を差し出した筈の  
理沙の心に

雅一の居場所  
もう存在しな  
く  
なっていた…

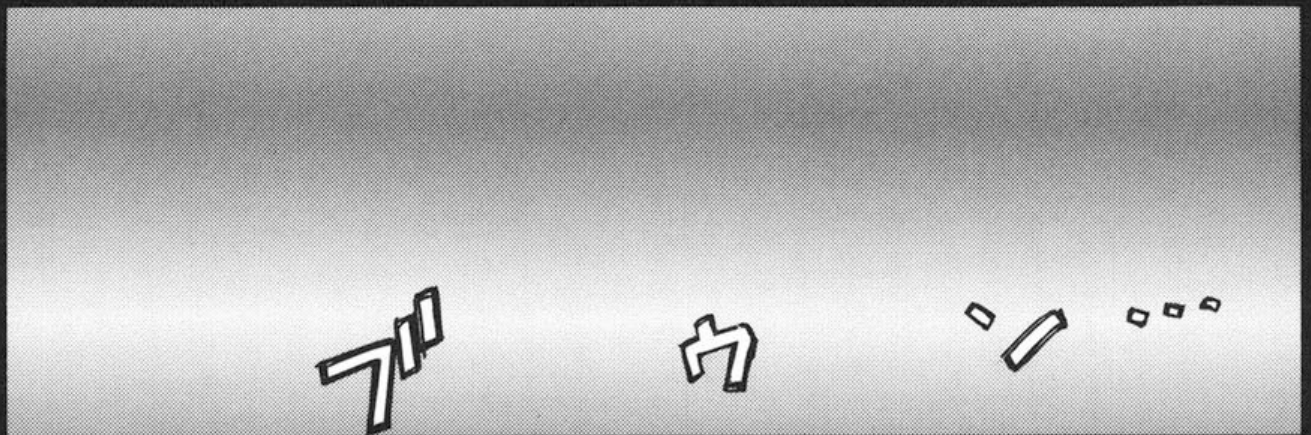
そこに居るのは  
絶対的な心服を  
寄せる

あの男の  
存在のみ  
……

愛しています  
豪舟様…

もう他に  
何もいない…♡















無理矢理にでも  
理沙を…奪って  
下さった事…っ

目覚めさせて  
下さった事…っ

あ♡  
本当に感謝  
致しておりますっ！

お嬢様…  
本物の深い…  
セックスを  
教えて頂いてえっ

理沙は本当のっ  
女のしあわせをっ  
知りましたあ！

ふあっ

お嬢様の  
女にして下さって  
……っ

あア

はっ

……  
ありがとお

ござい…  
ましたあ♡

ああオンっ

ほおああア

ふかしい♡

おオン  
深いイン♡

ああ…っ  
真壁さあんっ

わたし…  
今…っ

しあわせ…っ  
しあわせですう♡

お様につ  
愛して頂けてっ

最高に…っ  
しあわせっ  
なんですう♡

あはああ！  
も…イクう！

お様あ！

理沙の  
御主人様あ♡

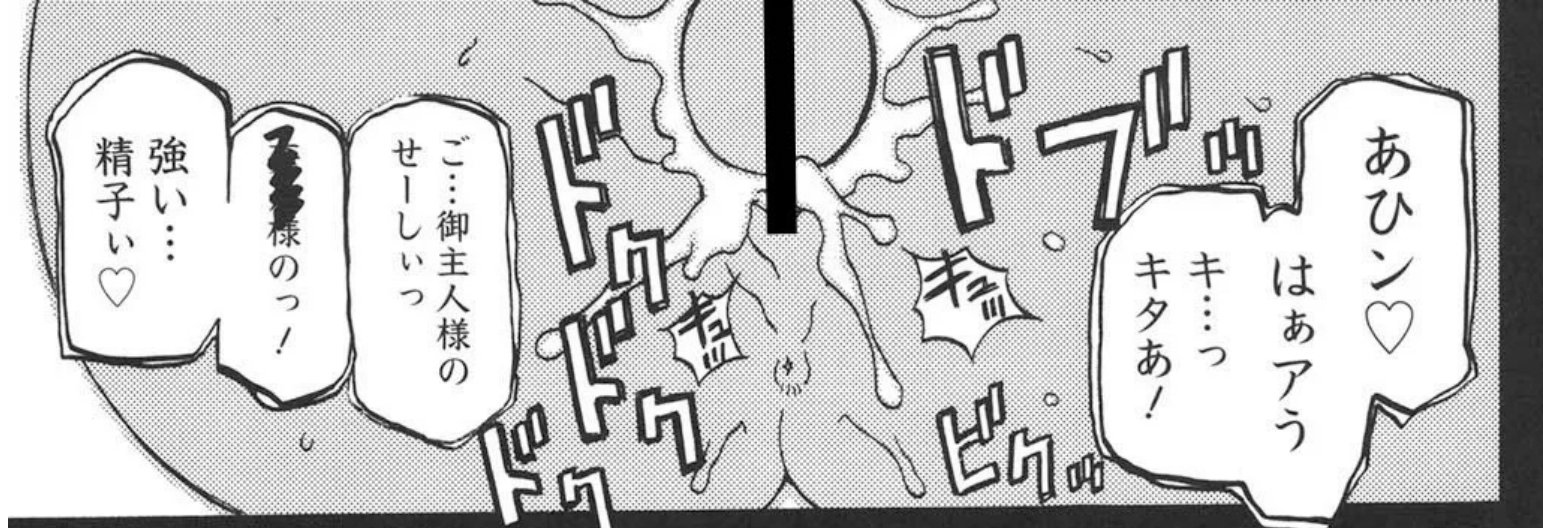
ぜんぶ…  
捧げますっ

身も心も…  
ぜんぶ…っ

理沙は  
ぜんぶ…

御主人様の  
モノですう♡





あひん♡

はあアう

キ…っ  
キタあ！

ギョ

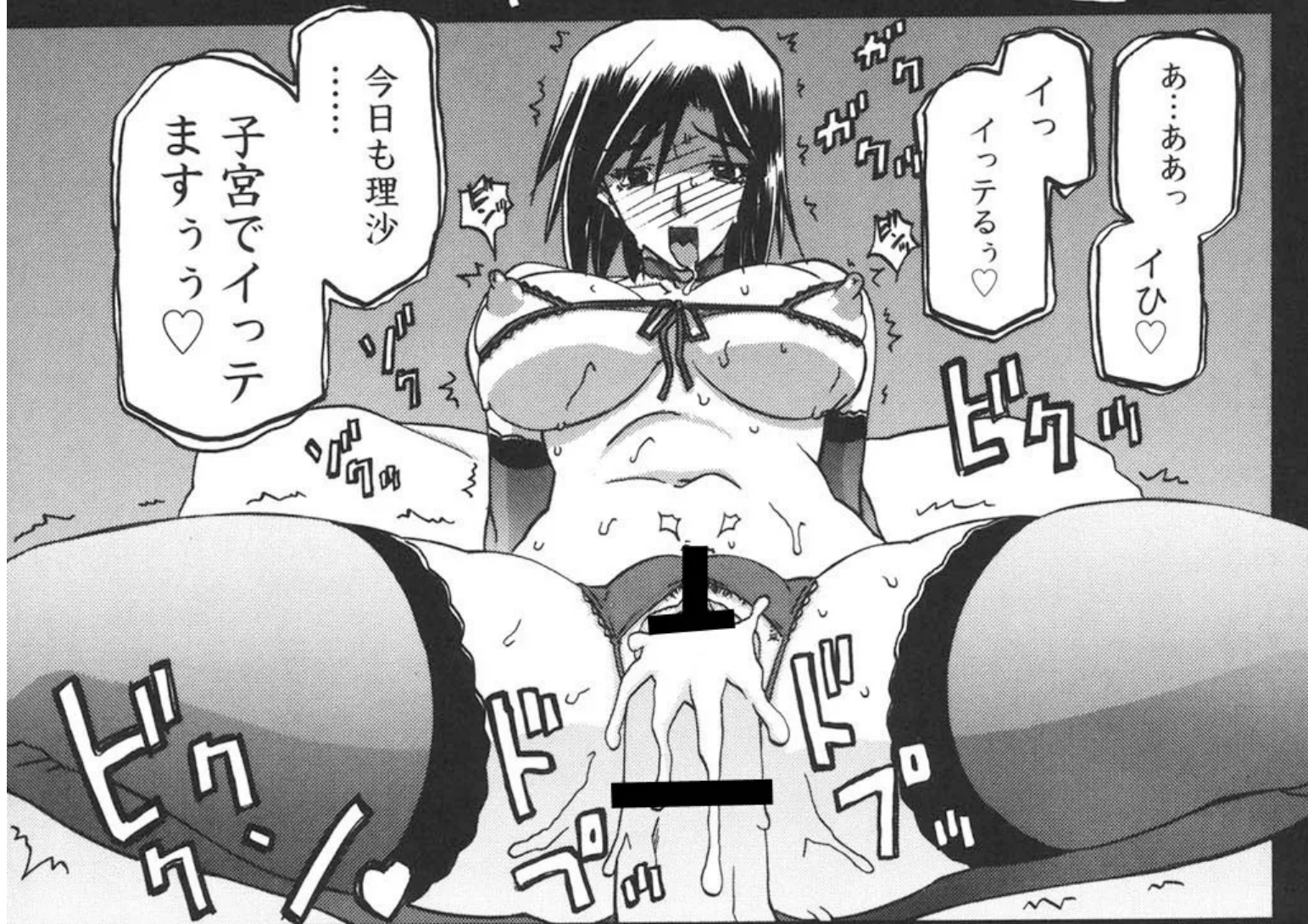
ビクッ

ドクドク  
ドクドク  
ドクドク

ご…御主人様の  
せーしいっ

…様のっ！

強い…  
精子い♡



あ…ああっ

イひ♡

イッ

イッテるう♡

ビクッ

今日も理沙  
……

子宮でイッテ  
ますうう♡



ああ…

あな…た  
…っ

はー



はー

…真壁  
…さん♡



…  
楽しんで

いっ

頂けました  
……

か？





蒼月の季節/完

遅れてしまい

申し訳ないです...

もっと作業がはやく

出来れば良いの

ですが...

有無5ひ





あしがき

麻薬中毒にされて墮とされてゆく人妻...  
借金のカタに取られ水商売から風俗へと身をやつてゆく人妻...  
子供の頃の刑罰物とかに時々混ざってたあの題材...  
昔はこう云うドラマが結構多くやっていた印象があります  
当時は子供心にドキドキしていた不健全な子供でした...っ  
「最近...」と云うか今はドラマの傾向が変わって「明るい」「悲しい」系の話はあっても  
「後ろ暗い」系は少なくなった昨今、規制問題も含めて本当に見なくなった気がします  
まあ自分も不幸になってゆくのが好きなのではなく、自分を奪った情夫とかヒモみたいな  
悪い男に糾かれて家族下りその男との生活に傾倒してってしまう風情とか...  
他者の介入による「心変わりする様」に興奮すると言う事なんですか...  
客観的に書くと偏ってますね...自分...っし  
今日の蒼月はとにかくそんなお話です、  
結婚を愛を育む誠実な妻が

今日、蒼月はとにかくそんなお話です、  
夢を追う夫との生活に純粋な愛を育む誠実な妻が  
男女の情欲によって価値観を変えられ...  
愛をこめゆく物語...

本作を子供の居ない若い夫婦にしたのは母でなく妻  
 そんな立ち位置での籍終を描えたかったから  
 でした... 個人的には母と妻のバグトルの差で  
 あたりするのですが... 分かりづらいですわね... っ

とにもかくにも今回も様々な所に御迷惑を  
お掛けしてしましまして...本当にスミセン  
でした...  
みなさんに感謝を込めて...

園、て下したみなさんに感謝を込めて...  
 年にとり、て下した方々が有意義な時間を  
 過せましたように...

\*はじめは 帝主 視点だった  
描き出し 部位 だった...

山文翰



この度は、山文京伝作品集[蒼月の季節]をお買い上げ頂きありがとうございました。  
この作品を読まれた御感想・御意見がありましたら、次の住所までお送り下さい。  
〒171-0033 東京都豊島区高田3-29-3-6F (株)コアマガジン  
[蒼月の季節]係まで。皆様のお便り心よりお待ちしております。



ホットミルクコミックスシリーズ<sup>280</sup>

そうげつ きせつ  
**蒼月の季節**

2009年1月10日初版第1刷発行  
2010年2月3日 第3刷発行

著 者 <sup>さんぶんきょうでん</sup>山文京伝 ©SANBUN KYODEN 2009

装 丁 長谷川事務所

発行人 中沢慎一

編集人 山崎鉄夫

印刷／製版 三共グラフィック株式会社

発行所 〒171-8553 東京都豊島区高田3-7-11  
電話 (03) 5950-5100

株式会社 コアマガジン

無断複写・複製・転載を禁じます。  
乱丁・落丁本はおとりかえします。

この物語はフィクションです。日本の法律では、同意があっても  
13歳未満の者と性行為をすれば強姦罪に問われ、18歳未満の者と  
性行為をすれば都道府県の淫行処罰規定に該当します。